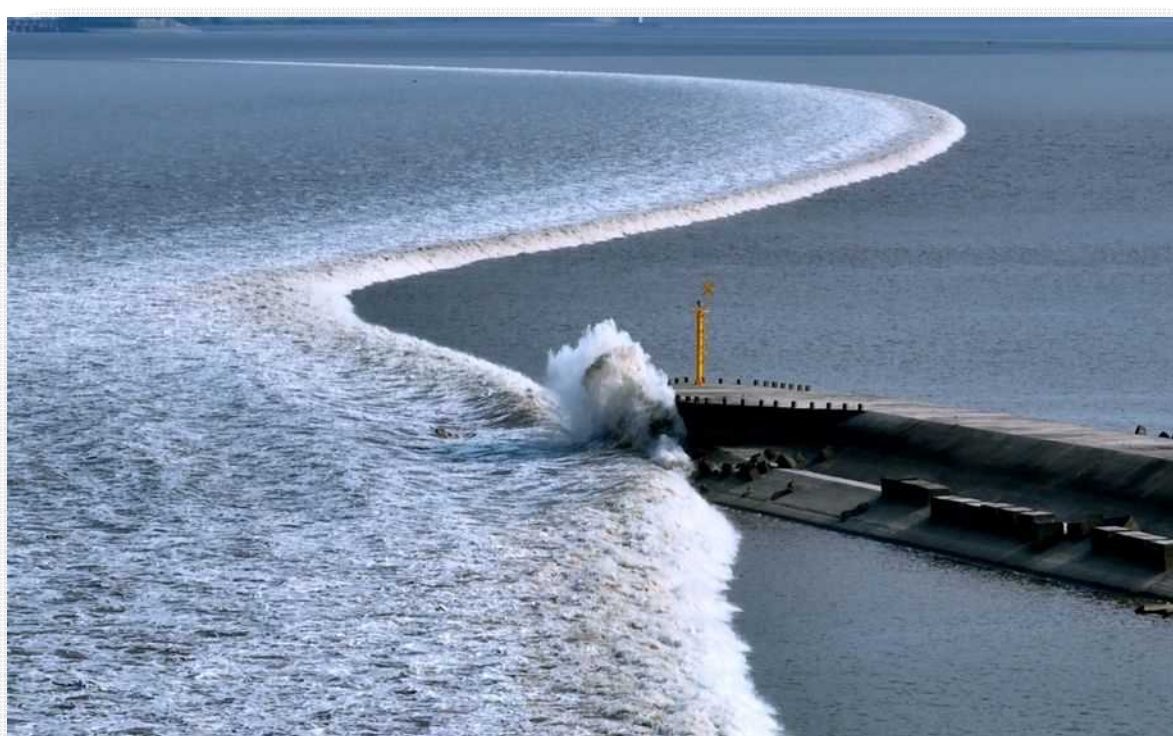


浙江省經濟・投資環境調査報告書



錢塘江の大逆流

静岡県

表紙の写真

浙江省の主流河川・钱塘江の下流域は、その河口から上流にかけてラッパの口の形に似て急激に川幅が狭まることから、太陽・月の引力の作用によって、満潮時(毎年旧暦8月19日最大)に川の流れが逆流を起こす現象が起こることで国内外で広く知られている。

古来、中国では「南船北馬」と言われるように、中国北方の交通は馬、陸路が主体であり、南方の交通は船、水路が主体である。隋代に開削された京杭大運河とも連結し、南北間の主要な物資・商品の流通経路としても重要な位置を占めていた。钱塘江の水域は、浙江省の水運に今も大きな役割を果たしている。

(写真：浙江省政府提供)

はじめに

1982年に、本県は中国浙江省と友好関係を結び、40年の歳月が経ち、この間に中国は飛躍的な発展を遂げ、両県省の経済協力も相互理解から実質的な相互協力と相互補完の関係へと、着実に深化してきた。

世界で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症が3年余経過する中、2022年の中国経済を見る主要指標値である国内総生産(GDP)は、目標値の前年比5%増を下回ったものの、前年比3%増、121兆207億元(約2,192兆円)となり、2022年通年でプラス成長を維持した。また、2022年末時点の中国の総人口は、中国の国家統計局によると、前年より85万人減り、14億1,175万人になり、日本と同様に人口減少時代に突入したとみられる。

浙江省を含む長江デルタ経済圏(3省1市)の2022年の域内総生産(GRP)は、約29兆元(約525兆円)で、全国比約24%を占め、長江デルタ経済圏は今や中国経済の牽引に欠かせない重要地域となっている。その中でも浙江省の域内総生産(GRP)は前年比3.1%増の7兆7,715億元(約140兆8,196億円)で、長江デルタ経済圏の域内総生産(GRP)の約27%を占めるようになり、浙江省は同経済圏の重要な経済の一翼を担っている。

日中双方の未来志向の協力関係を展望すると、今起きているデジタル化の技術革新や産業構造変革のチャンスを掴むために、日中双方は産業トレンドに立脚して、双方の経済・社会の新たな発展に重要な役割を果たしていくことが期待される。また、少子高齢化や環境問題など、共通して直面する課題の解決に向けて、互いの知見、経験を大いに活用しつつ、医療・ヘルスケア、介護等の新たな分野での協力を推進していくことで、双方の生活向上に寄与することが期待される。

こうした経済情勢、産業情勢を踏まえて、本県との友好関係にある「浙江省」を、有望なビジネス展開地域、ビジネスパートナーとして検討・研究できるように、『ヒト』・『モノ』・『カネ』・『情報』から、変貌する浙江省の産業経済の今の姿を取り上げ、中国ビジネスへのアプローチとなるように、『浙江省経済・投資環境調査』としてまとめた。

最後に、関連資料の収集、編集にご協力いただいた静岡県日中友好協議会に謝意を表したい。

2023年3月

静岡県

【目 次】

I 浙江省の基本概要

1. 産業資源、立地条件に恵まれる浙江省	—————	P02
2. 新時代の浙江省をフォーカス	—————	P09
3. 長江デルタ経済圏と浙江省の位置	—————	P22
4. アクセス・インフラ	—————	P31

II 最新経済動向

1. 上海市の「ロックダウン(都市封鎖)」の影響	—————	P41
2. 浙江省の越境EC最前線	—————	P46
3. 浙江省が推進する「デジタル浙江」	—————	P61
4. 浙江省が取り組む「一帯一路」	—————	P64
5. 浙江省の人口と経済	—————	P68

・参考為替レート：1元≒約18.12円、1ドル≒約131.87円で換算表記しています。

免責事項 当報告書に掲載されている情報の正確性については、万全を期しておりますが、静岡県は利用者がこの情報を用いて行う一切の行為について、何らの責任を負うものではありません。また、様々な文献等から引用・参照して文章を作成しており、一部中国文記事等の直接翻訳（中国語原文から日本語訳文）箇所も含まれ、事実と異なる可能性があることから、あくまでも参考としていただきますようお願いいたします。

I 浙江省の基本概況

I 浙江省の基本概要

1. 産業資源、立地条件に恵まれる浙江省

浙江省は、中華文明発祥地の一つとして知られ、古来『魚米之郷、絲茶之府、文物之邦、旅游勝地(水産・農産物など自然資源が豊かな地域、絹とお茶を産出する地域、悠久の歴史と文化を有する地域、観光・景勝地に恵まれる地域)』と称され、東は東シナ海、南は福建省、西は江西省、安徽省、北は上海市、江蘇省と隣接し、長江デルタ経済圏の重要な一翼を担っている。

(1) 地理

①**地形**：南西が高く、北東が低く、南西から北東へ傾斜する地形であり、北東部は沖積平原が広がっている。主な山には、雁蕩山、雪溪山、天目山、天台山、仙都山等があり、最高峰(1,929m)は麗水市龍泉の黄茅尖である。主な湖には、杭州市の西湖、紹興市の東湖、嘉興市の南湖、寧波市の東錢湖、中国最大の人造湖として知られる杭州市の千島湖がある。また、錢塘江、甌江、楠溪江等の河川があり、京杭大運河(北京－杭州)が省内北東部を通っている。

②**面積**：省内の陸域面積は10.55万Km²(全国面積の約1%)、中国で最も面積が小さな省の一つである。そのうち、山間地が74.6%、水面が5.1%、平野部が20.3%の割合となっている。耕地面積は129万ha、海域面積は26万Km²、海岸線の総距離は6,715Kmである。

(2) 気候

亜熱帯モンスーン気候に属し、季節風の影響を受け、降水量も季節によって大きく変化する。緯度の低い沿海部に位置し、地形の起伏が激しく、更に偏西風と偏東風による影響を受けることから、台風、暴雨、旱魃、寒波、強風、雹害、冷害、竜巻等が多い地域である。年平均気温は15～18℃の間、無霜期間は230～270日の間、年平均降水量は1,100～2,000m³の間である。

(3) 人口

浙江省統計局が実施した2022年末の5%人口抽出調査によると、浙江省の常住人口※1)は6,577万人である。男女別構成比は、男性は3,436万人で52.2%、女性は3,141万人で47.8%を占めた。第7回人口センサス(2020年)では、浙江省の常住人口は6,456万人、前回(第6回人口センサス2010年)に比べ、10年で18.6%増の1,014万人増え、年平均では1.72%増えた。

(4) 行政区画

杭州市、寧波市、温州市、嘉興市、湖州市、紹興市、金華市、衢州市、舟山市、台州市及び麗水市、計 11 の地級市※2)がある。省都は杭州市であり、杭州市と寧波市は副省級都市となっている。地級市の中に、33 の県、20 の県級市、37 の市管轄区がある。

(5) 資源

- ① **自然資源**: 水量総量 908 億 m³ は全国第 4 位となっている。森林被覆比率は 61.2% に達し、経済森林、竹林資源が豊富にあり、お茶、桑、柑橘等は広く知られている。特に、クルミ、カヤの実は全国生産高の 70% 以上を占め、また孟宗竹の生産高は全国トップである。“生きた化石” イチョウ等の希少野生植物が植生し、全国野生保護動物の 1/3 が生息している。
- ② **鉱物資源**: 鉱物資源は、非金属鉱物が主である。12 種類の鉱物埋蔵総量は全国第 3 位であり、そのうち石煤、明礬石、葉蠟石、セメント用凝灰岩は全国第 1 位、ホタル石は全国第 2 位である。大陸棚には石油と天然ガスの埋蔵資源がある。
- ③ **漁業資源**: 舟山群島は、中国最大の海洋漁業基地となっている。海岸線の総距離は 6,715Km あり、当該海域は中国最大の漁場となっている。

(6) 歴史

寧波市郊外の河姆渡で発見された 7,000 年前の遺跡群は、中華文明のルーツの一つとして知られ、また水稻文化の発祥地でもある。この河姆渡遺跡から見つかった籾の DNA はジャポニカ種であることが判明したことから、日本の稲作伝来のルーツの地と見なされている。また、春秋時代には越の都、五代十国時代には呉・越の都が、宋時代には南宋の都が置かれたことから、杭州市には径山寺や靈隠寺、寧波市には天童寺、台州市天台县には国清寺等の有名な寺院があり、中でも国清寺は天台宗、天童寺は日本の曹洞宗のルーツとして、径山寺は静岡茶の始祖・聖一國師が修行した寺として知られている。

(7) 経済

- ① **経済規模**: 2022 年の浙江省の域内総生産(GRP)は、前年比 3.1% 増、7 兆 7,715 億元(約 140 兆 8,196 億円)となり、産業別では第一次産業、第二次産業、第三次産業はそれぞれ前年比 3.2% 増、3.4% 増、2.8% 増、金額ベースではそれぞれ 2,325 億元(約 4 億 2,129 億円)、3 兆 3,205 億元(約 60 兆 1,674 億円)、4 兆 2,185 億元(約 76 兆 4,392 億円)だった。情報、環境、健康、観光、アパレル、金融、機械装備、文化娯楽は、いずれも出荷額 1 兆元(約 18 兆円)を超える規模であり、浙江省の産業基盤となっている。

② **対外貿易**：2022年の浙江省の貿易総額は、前年比13.1増、4兆6,800億元(約84兆8,016億円)になり、そのうち輸出は前年比14.0%増、3兆4,325億元(約62兆1,969億円)、輸入は前年比10.7%増、1兆2,511億元(約22兆6,699億円)になった。輸出入、輸出、輸入の規模は、それぞれ全国第3位、第3位、第6位となった。

③ **投資誘致**：2022年、新設の外国投資企業件数は、前年比△18.0%減、2,910社だった。外国企業による省内直接投資額は契約ベースでは前年比12.7%増、433.9億ドル(約5兆7,218億円)だった。実行ベースでは前年比5.2%増、192.9億ドル(約2兆5,437億円)だった。

(8) 産 業

①産業インフラ

ア 大湾区(グレーターポート)

浙江省が環杭州湾大湾区(グレーターポート)として位置付けた杭州湾を中心とした一帯に、自由貿易試験区、国家級経済技術開発区等の対外開放プラットフォームがある。この大湾区に中国(浙江)自由貿易試験区や、「1つのセンター、3つの基地、1つのモデルエリア(グローバル石油製品取引センター、国際石油製品貯蔵運輸基地、国際海事サービス基地、国際石化基地、大口商品越境貿易・人民元クロスオーバー決済モデルエリア)」がある。

イ 大花園(グレーターガーデン)

浙江省は、広域ガーデン化構想により各種整備を進めている。『詩・絵』の境地に称えられる浙江省は、環境産業や、緑化整備に力を入れている。

ウ 大通道(グレーターチャンネル)

浙江省は、省内『1時間交通圏』を目指して、陸路・海路・空路を多元的かつ立体的にリンクさせた交通運輸ネットワークの整備を進めている。その内、義烏—寧波—舟山を結ぶ大通道(グレーターチャンネル)は、中国の「一带一路」構想に呼応し、東は寧波—舟山港と欧州を結ぶ「海のシルクロード」につながり、西は浙江省の金華市(義烏)からスペイン・マドリードに至り、シルクロード経済圏や長江デルタ経済圏とつながる「陸のシルクロード」がある。

エ 大都市(グレーターシティ)

浙江省は、「杭州市」、「寧波市」、「温州市」、「金華市」の4都市を拠点都市として、拠点都市を囲む農村部の都市化への脱却を進めている。

②産業の特徴

ア 地域経済

浙江省は、経済特色が顕著な産業集積を形成し、例えば、ハイエンド機械装備、省エネ、環境保護、新エネルギー自動車(次世代自動車)、情報通信、モノのインターネット(IoT)、新エネルギー、新材料等の戦略的新興産業分野や、繊維、衣類、皮革、家電、製紙、装備、金属製品、日用雑貨品等の伝統産業分野で、主要製品70種類以上が国内市場において市場シェア30%を超えている。省内に42の近代産業クラスターモデルエリアがあり、そのうち、年間売上1,000億元(約1兆8,000億円)を超えるモデルエリアが8カ所、産業基地が15カ所ある。杭州市の機械装備、寧波市の服装・文具、寧波市(慈溪)の家電、温州市の靴業、温州市(樂清)の工業電気、嘉興市(海寧)の皮革、紹興市の紡織、紹興市(嵊州)のネクタイ、金華市(永康)の金属工具・部品、金華市(義烏)の日用雑貨といった専門市場が形成され、特に、舟山市の船舶は知名度の高い地域ブランドとなっている。

イ デジタル経済

浙江省は、インターネット、モノのネットワーク(IoT)、ビッグデータ、人工知能(AI)等を重点に、デジタル産業を大々的に発展させるデジタル経済の振興・普及に力を入れている、2027年時点で、浙江省のデジタル経済の規模を7兆元(約126兆8,400億円)に引き上げることを目指している。現在、人々は財布を持参しないで、バス、地下鉄、食事、買物等をモバイル決済で済ませているほどデジタル経済が身近になりつつある。

ウ 情報経済

浙江省は、ここ数年来、毎年、「世界インターネット大会」を定期的で開催する等、インターネットを中心とした情報経済を発展させている。浙江省の情報インフラの整備、電信業務の収入、インターネットの利用者数、ウェブサイトの数はいずれも国内上位にある。情報通信、コンピュータ・ネットワーク、電子部品・材料、機械電機、応用電子、ソフトウェア・情報サービス業等において生産額でも国内上位にある。特に電子商取引(EC)、クラウド、ビッグデータ、モバイルネット等の新興産業が急速に発展し、阿里巴巴(Alibaba)、華三通信(H3C Technologies)、海康威視(Hikvision)等、国内外に知られる有名企業が次々と誕生している。

エ 専門市場

浙江省は、『市場大省』として中国国内で広く知られ、商品取引の専門市場が約985カ所あり、特に日用雑貨専門市場の「義烏中国小商品城」、織物専門市場の「中国輕紡城」は規模が大きく、その専門市場の影響範囲も広い。浙江省の専門市場は、消費品市場を中心にした専門市場に特色があり、また生産資材の専門市場も産業チェーン要素

とした総合商品取引ネットワークを構築している。2021年の専門市場による取引総額は2兆3,271億元(約42兆1,670億円)になり、その規模は浙江省の域内総生産(GRP)の約31.7%に相当する。浙江省の卸売・小売事業者は、中国各地で「浙江商城」、「温州街」といった専門市場を開設したり、ロシア、南アフリカ、中東、南米等においても海外専門市場を開設したりしている。

[注釈]

※1) 常住人口：ある調査の時刻に、調査の地域に常住している場所(常住地)で調査する方法で把握した人口を指す。

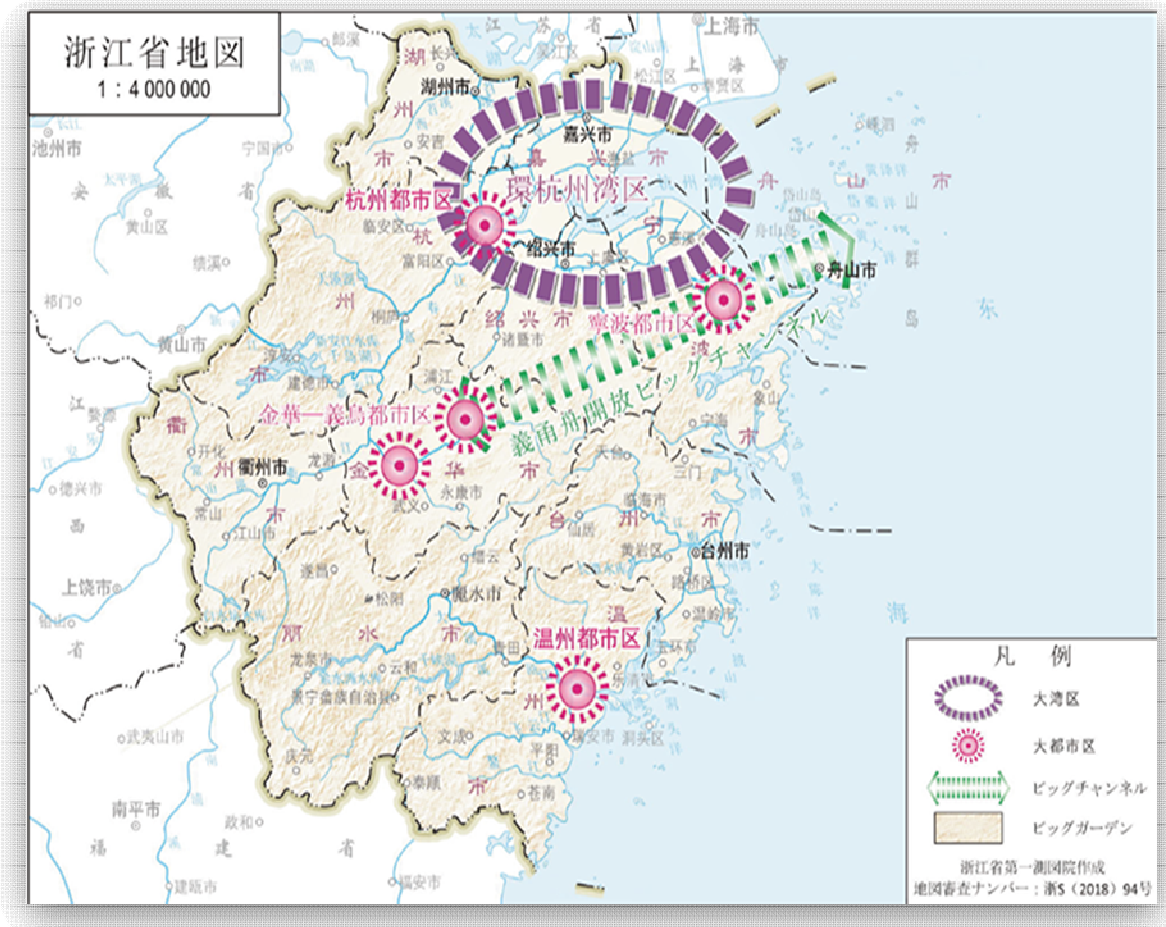
※2) 地級市：中国の行政区分によると、市は直轄市、地級市、県級市の3つに区分される。そのうち、直轄市、地級市は他国で用いられている市とは概念が違い、面積は広大で、農村部の人口も含んでいるために中心都市部の人口と比較し数倍の人口規模となっている。ほとんどの地級市は県や県級市やその他の自治体をも含んでいる。

[出典]

※浙江年鑑、浙江統計年鑑の統計データを引用、参照

※浙江省商務庁、杭州税関、浙江省統計局、浙江省市場監督管理局の公表記事を引用、参照

中国行政区画地図



(出典：浙江省商務庁作成資料)

浙江省行政区划地图(地级市)



Copyright © 旅行のとも、ZenTech

『魚米之郷、絲茶之府、文物之邦、旅游勝地』



魚米之郷 (太湖南岸・漁勞)



絲茶之府 (杭州・龍井茶)



文物之邦 (杭州・良諸玉器)



旅游勝地 (杭州・西湖)

2. 新時代の浙江省をフォーカス

浙江省は、以前知られている浙江省のイメージとは違い、大きな変貌を遂げている。特に、浙江省の産業・経済は、「人の利、地の利、時の利」を活かして長足の勢いで発展していることがあげられる。

(1) グローバル化が進む浙江省の産業・経済

浙江省の産業・経済は浙江省の域内総生産(G R P)で見ると、2022年は7兆7,715億元(約140兆8,196億円)の規模になり、中国の国内総生産(G D P)の6.4%を占めた。貿易総額は4兆6,837億元(約84兆8,686億円)に達し、全国の11.1%を占めた。そのうち、輸出額は3兆4,325億元(約62兆1,969億円)となり、全国第3位の14.3%を占めた。外国企業誘致(2021年時点)は外国投資企業の設立件数では累計23,544社、外国投資企業の実行ベースでは累計183億ドル(約2,413億円)、全国第5位となり、10年累計では累計1,227億ドル(約1兆6,180億円)あった。省内企業の海外直接投資の届出額(2021年時点)は10年間累計で1,061億ドル(約1兆3,991億円)、承認又は届出された海外企業・機関数は6,039社あった。

浙江省は、産業・経済のグローバル化を進めるため、世界的イベント(国際会議)の開催を相次いで誘致に成功した。2014年から「世界インターネット大会」※1)が毎年定期開催されるようになり、2016年にG20サミット(20カ国・地域首脳会議)や、2018年に第1回「世界地理情報大会」が開催され、また2023年に第19回「アジア競技大会」が開催される。

(2) 活力ある民営経済

浙江省経済の最大の特徴は、活力ある民営経済※2)であり、平均して8人に1つの市場、23人に企業1社あると言われている。2022年に公表された「中国民営企業500強」に、浙江省の民営企業107社がランクインし、24年連続で全国第1位となった。国内証券取引市場の上場企業数は622社で、広東省に次いで全国第2位となっている。阿里巴巴(Alibaba)、物産中大(Wuchan Zhongda)、浙江榮盛(Rongsheng)、浙江吉利(Geely)、青山(Qingshan)、浙江恒逸(Hengyi)、浙江省交通投資(Transportation Investment)、杭州鋼鉄(Iron and Steel)、海亮(Hailiang)の9社は、米国経済誌のフォーチュンが発表している『Global(グローバル)』500にランクインしている。

(3) 急成長するデジタル経済

浙江省は、デジタル経済「第一工程(ファーストプロジェクト)」事業を最重点として実施し、2021年、同省のデジタル経済・付加価値は3兆5,700億元(約64兆6,884億

円)に達し、同省の域内総生産(G R P)の 48.6%を占め、年平均成長率は 15.7%で、同時期の域内総生産(G R P)の年平均成長率を大幅に上回っている。

現在、「都市頭脳(シティブレイン)」、「数字大湾区(デジタルグレートベイ)」等のシンボルプロジェクトが推進されている。中国初の国家新型インターネット交換センターの試験運用がスタートし、浙江省に「国家デジタル経済革新発展試験区」の設置が承認されている。

(4) 環境配慮型に転換をはかるグリーン経済

浙江省は、「緑の水・青い山こそ金山・銀山である」の環境スローガンを実践し、環境に考慮したグリーン経済、カーボンニュートラルを推進している。また、国家生態省から初めて「美しい中国」モデルとして環境整備の実証・実験地となり、更に「アリの森林」活動※3)が国連環境計画(UNEP)から『地球衛士賞(Champion of the Earth Award)』を授与された。グリーン経済の地方振興策として、麗水市では農村商品ECのモデルエリアによる振興に取り組み、舟山市では浙江国際農産物貿易センターの機能を拡充する等、農村経済の振興を図っている。

(5) 拡充する交通体系・インフラ

①海の港

2022年の寧波―舟山港の貨物取扱量は12.3億トン、14年連続で世界第1位となった。コンテナの取扱量は初めて「3,000万TEU」※4)の大台を突破し、3,335万TEUとなり、世界3大コンテナ港の地位を不動にした。

②陸の港

金華市・義烏と欧州を結ぶ「義新欧」国際貨物専用列車は、2021年比36%増、1,399便運行した。義烏駅からマドリード、ロンドン、プラハ、モスクワ等37カ国・地域を経由し、到着停車駅で荷役業務を担っている。貨物輸送、物流、商業貿易等の機能を一体化した「一帯一路」チェコ駅の運営受託を行い、アラブ首長国連邦のドバイ駅の運営一体化プロジェクトをスタートさせた。

③空の港

2022年、省内主要7空港の旅客取扱延べ人数は7,000万人を超え、民用航空貨物取扱量は50万トンを超えた。国際航空路線拠点は72の空港に達し、杭州市、寧波市、温州市にある3空港は年間1,000万人クラスの旅客輸送の主要国際空港になっている。

④情報の港

浙江省は、国内取引EC、海外取引ECを拡充するサポート機能として、中国(杭州市、寧波市、金華市・義烏、温州市、紹興市)越境EC総合試験区、義烏国際貿易総合改革試験区、温州市鹿城区市場購買貿易方式試行ステーション等を急速に整備し、また

世界電子貿易プラットフォーム/eWTP (ELECTRONIC WORLD TRADE PLATFORM) の事務所を誘致し、杭州市に常駐している。

(6) 経済を牽引するソフトパワー

① 文化遺跡：

^{じょうざん}上山文化(約 10,000 年前)、^{かぼと}河姆渡文化(約 7,000 年前)、^{りょうしよ}良渚文化(約 5,000 年前)

② 伝統産業：

緑茶、シルク、醸造酒、漢方薬、木彫、石刻、文房、青磁、宝剣

③ 世界遺産：

^{せいこ}西湖(杭州市)、^{こうろうざん}江郎山(衢州市)、^{けいこう}京杭大運河(杭州市)、^{りょうしよ}良渚古城遺跡(杭州市)

④ 文化娯楽：

浙江出版連合集団、浙江新聞媒体、宋城演芸、華策影視等のクリエイティブ企業が「全国文化企業 30 強」にランクインし、そのランクイン数は全国第 2 位である。華誼兄弟、電魂ネット、美盛文化、千乘電映、新麗媒体等の文化娯楽企業が国家級文化輸出重点企業にランクインしている。また、中国(浙江)影視産業国際合作実験区※5)が国家文化輸出基地に認定され、国家短視頻基地(ショートビデオ制作所)が杭州市に設置されている。

⑤ 中医交流(漢方交流)：

温州医科大学がタイ、ポーランドで中国初の漢方薬海外診療所を開設している。また、浙江中医薬大学も日本、オーストリア、米国等 40 以上の教育機構、研究機構、医療機関と、漢方薬プロジェクトの協力関係を樹立している。

⑥ 人材誘致：

省内 11 市全てが他省・他市から高度人材を誘致している。この 5 年間で省外大学からの新卒生 150 万人が転入し、省外から転入者 1,444 万人の純増となった。省外からの受入人材が当地で起業する等により、後にユニコーン企業となった螞蟻金服(Ant Financial)、執御(Jollychic)、微医(WeDoctor)、挖財(Wacai)、塗鴉(Tuya Smart)、数夢工廠(Shumengchang)、連連数字(Lianlian)、丁香園(DXY)等が誕生している。

⑦ 企業創業：

浙江省は、経済発展の基盤となる「市場化」・「法治化」・「国際化」といった面でのビジネス環境の改善を進め、「民間企業評価ビジネス環境調査(2021 年、全国工商聯実施)」で全国第 1 位となった。中国の市場経済の主役・市場主体※6)は急速に増え、登録市場主体は 868 万 5,000 社(事業者)、常住人口で計算すると、平均 7.5 人に 1 人の市場主体があることになる。そのうち、企業数は 313 万 8,000 社、自営業者は 549 万 2,000 事業者だった。国内証券取引所・上場企業は 606 社、そのうちマザーボード※7)は

434 社、マザーボード上場企業総数の 13.8%を占め、全国第 2 位となった。

⑧高等教育：

省内には、国内外に知名度が高い浙江大学、中国美術学院等がある。また、「之江実験室」(AI、センサー、スマート等最先端分野のラボ)、「阿里達摩院」(DAMO Academy、アリババグループの基礎研究を行うグローバル研究院)、「西湖大学」(私立理系研究大学)、「中国医学科学院腫瘍病院センター実験室」(腫瘍研究ラボ)、「基礎医学研究所」(基礎医学研究)等の科学研究機構がイノベーションキャリアとして研究分野の発展を支援している。

(7) 都市・農村の調和

2022 年、浙江省の 1 人当たり平均域内総生産(GRP)は、129,376 元(約 2,047,560 円)で、全国第 6 位だった。世界銀行の最新国別所得グループ基準の高所得経済体レベル 13,200 ドル(約 1,740,684 円)を大幅に上回り、ポーランドに相当し、中等先進国レベルに近い。住民一人当たり可処分所得と一人当たり域内総生産(GRP)の比は 50.9%、全国(43.4%)の 7.5 ポイントを上回り、一人当たり平均域内総生産(GRP)が 15,000 ドル(約 1,978,050 円)を超えた 7 つの省・市の中で、実質全国第 1 位となった。エンゲル係数は 27.7%に低下し、生活が豊かな地域に入った。ちなみに、日本は総務省の「家計調査」によると、2019 年のエンゲル係数の平均は 25.4%となっている。

(8) ワンストップサービスの行政サービス

浙江省は、「最多跑一次(1回で手続きが済むワンストップサービス)」の行政サービスで法人向けでは経営関連の行政手続きの利便化を図り、市民向けサービスでも「一証通弁(身分証で各種申請)」、「一网通弁(ネットで各種申請)」※8)の行政手続きはそれぞれ 91%、85%に達し、公共プラットフォーム上で、市民は「浙江外売在線(浙江食品配達オンライン)」、「浙江 e 行在線(浙江電子旅行オンライン)」、「車両検査測定(車検ワンセット)」等のサービスを利用している。

【注釈】

※1)「世界インターネット大会」:中国インターネット界の 3 大巨頭、阿里巴巴(Alibaba)・百度(Baidu)・騰迅(Tencent)の創始者が提案して開催が始まり、「相互接続、共有・共治」というテーマで、毎年、嘉興市(烏鎮)で国際会議を定期開催している。

※2) 民営経済:中国では、所有制に基づく経済区分として「国有経済」と「民営経済」、或いは「公有(制)経済」と「非公有(制)経済」という概念が用いられる。民営経済の主力となる民営企業には、個人経営事業者、私有企業、外資企業が含まれる。

※3) アリの森林活動:公衆が炭素排出量を削減することを目的とした公共福祉プロジェクトへの参加を、「グリーンエネルギー」と見なす低炭素行動であり、具体的には携帯電話のアプリから「グリーンエネルギー」が一定のレベルまで蓄積されると、生態系の回復が緊急に必要な地域に本物の樹木を植えることを申請したり、生物多様性の保護が緊急に必要な地域で保護権を「主張」したりすることができる

行動。

※4) TEU(20 フィートコンテナ換算)：コンテナ船の積載能力やコンテナターミナルの貨物取扱数等を示すために使われる、貨物の容量のおおよそを表す単位。

※5) 中国(浙江)影視産業国際合作実験区：この実験区は中国初の国際合作を目的とする国家レベル映像産業区で、①国際的な映像人材育成、②国際的な映像マーケット、③国際映像交流、④映像の翻訳及びプロモーション、⑤映像科学技術研究、⑥映像産業投資及び融資といった6つの機能を持つ、全国の映像業界の国際化発展のプラットフォーム。

※6) 市場主体：中国において営利を目的として経営活動に従事する自然人、会社、非会社企業法人、パートナーシップ企業及び外国会社の分支機構(支店・駐在員事務所)等。

※7) マザーボード：中国の証券取引所の主要企業を対象とした市場。

※8) 「一証通弁」、「一网通弁」：身分証明書で行政関連手続きができ、最近ではモバイルのネット上で各種申請・手続きが可能となりつつある。

[出典]

- ・袁家軍省長が手渡す新時代の浙江省「7枚の名刺」雪花新聞記事 2018-03-08 を引用、参照
- ・「数看“浙”十年之高质量發展十大高地(浙江省の10年間の高品質發展の10大事項を見る)浙江省統計局HP掲載記事 2022-10-13」を引用、参照

※ 図表で解説 ※

浙江省の経済規模(2022年)

表1 中国と浙江省の経済規模(2022年)

項目	単位	中国	浙江省	浙江省の中国全体 に対する割合
面積	万km ²	960.00	10.18	1.06%
人口	万人	141,175	6,456	4.57%
中国:国内総生産(GDP)	億元	1,210,207	77,715	6.42%
浙江省:域内総生産(GRP)	億元	21,928,951	1,408,196	同上
対前年比伸び率	%	3.0	3.1	—
第一次産業	億元	88,345	2,325	2.63%
	億元	1,600,811	42,129	同上
第二次産業	億元	483,164	33,205	6.87%
	億元	8,754,932	601,675	同上
第三次産業	億元	638,698	42,185	6.60%
	億元	11,573,208	764,392	同上
[一人当たり平均] 中国:国内総生産(GDP) 浙江省:域内総生産(GRP)	元	113,392	120,376	1.06
	ドル	16,386	17,395	同上
	円	784,673	833,005	同上
社会消費品小売総額	億元	439,733	30,467	6.93%
	億元	7,967,962	552,062	同上
都市住民の一人当たりの 可処分収入	元	49,283	71,268	0.45
	円	893,008	1,291,376	同上
農村住民の一人当たりの 純収入	元	20,133	37,565	1.87
	円	364,810	680,678	同上
輸出入総額	億元	420,678	46,837	11.13%
輸出額	億元	239,654	34,325	14.32%
輸入額	億元	181,024	12,511	6.91%
輸出入総額	億元	7,622,685	848,686	11.13%
輸出額	億元	4,342,530	621,969	14.32%
輸入額	億元	3,280,155	226,699	6.91%

出典:中国統計局、浙江省統計局

表2 浙江省の域内総生産(GRP)の推移

	1985年	1995年	2005年	2010年	2015年	2020年	2021年	2022年
単位:億円	7.701	63.837	242,174	493,317	777,094	1,170,788	1,332,110	1,408,196
単位:億元	425.00	3,523.00	13,365.00	27,225.00	42,886.00	64,613.00	73,516.00	77,715.00
単位:億ドル	111.84	400.34	1,650.00	4,125.00	6,547.48	9,909.97	11,397.83	11,230.49
換算(1ドル)	3.80	8.80	8.10	6.60	6.55	6.52	6.45	6.92

出典:浙江省統計局

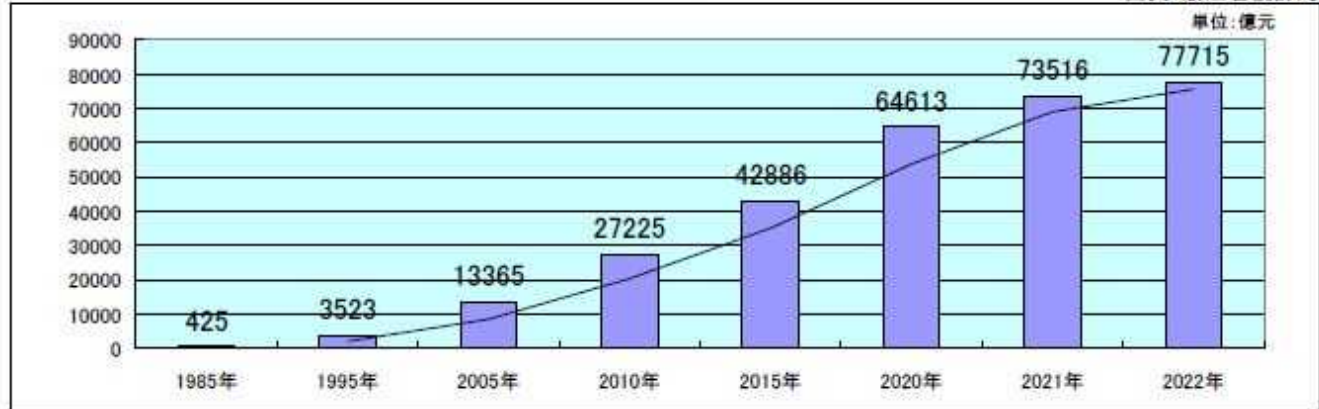


表3 浙江省の域内総生産(GRP)四半期伸び率の推移

単位: %	2021年				2022年			
	第1半期	第2半期	第3半期	第4半期	第1半期	第2半期	第3半期	第4半期
季別	19.5	13.4	10.6	6.5	5.1	2.5	3.1	3.0
通年	8.5				3.1			

出典:浙江省統計局

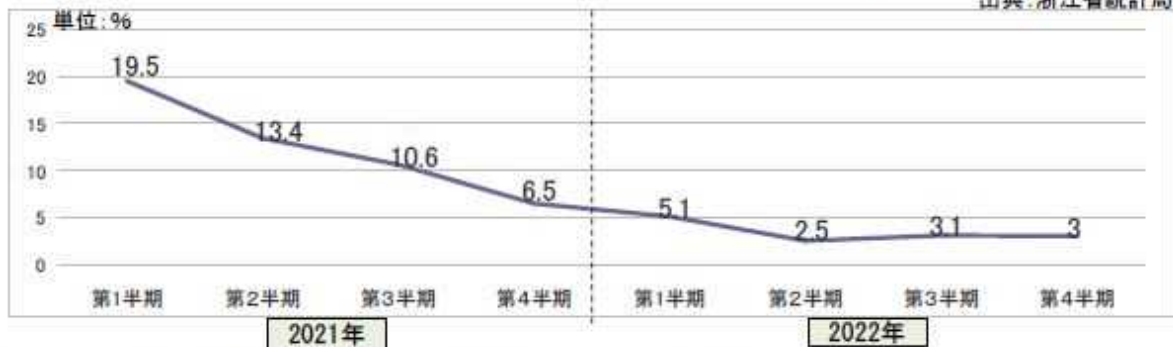


表4 浙江省の一人当たり平均域内総生産(GRP)の推移

	1985年	1995年	2005年	2010年	2015年	2020年	2021年	2022年
単位:円	19,262	146,301	499,242	803,350	1,410,841	2,001,354	2,036,851	2,181,213
単位:元	1,063	8,074	27,552	44,335	77,861	110,450	112,409	120,376
単位:ドル	280	918	3,401	6,717	11,887	16,485	17,428	17,395
換算(1ドル)	3.80	8.80	8.10	6.60	6.55	6.52	6.45	6.92

出典:浙江省統計局



表5 産業構造別域内総生産(GRP)の推移

(単位:億円)	1985年	1990年	2005年	2010年	2015年	2020年	2021年	2022年	前年比±
第一産業	2,229	4,077	15,819	24,643	33,214	39,302	40,027	42,129	2.6%増
第二産業	3,588	7,393	129,504	255,873	19,707	26,413	565,145	601,675	6.8%増
第三産業	1,884	4,802	96,851	212,801	386,790	652,882	726,938	764,392	6.6%増
合計	7,701	16,272	242,174	493,317	439,710	718,597	1,332,110	1,408,196	3.1%増

出典:浙江省統計局

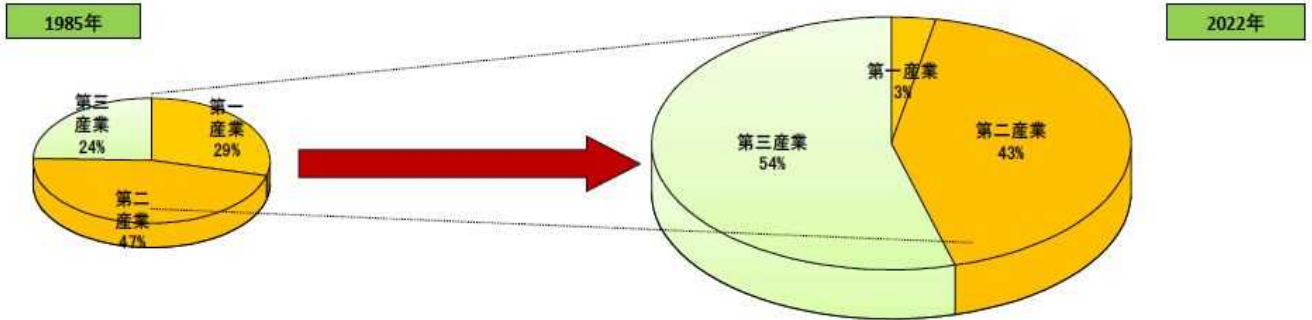


表6 対外貿易の推移

(単位:億ドル)	2000年	2010年	2015年	2019年	2020年	2021年	2022年	前年比±
輸出入	36,660	334,290	457,985	606,734	775,923	847,001	848,668	11.1%増
輸出	25,583	238,025	364,752	454,028	601,459	615,833	621,969	14.3%増
輸入	11,077	96,265	93,232	152,705	174,464	231,168	226,699	6.9%増

出典:浙江省商務庁



表7 外国企業投資認可件数の推移

(単位:件)	2000年	2010年	2015年	2019年	2020年	2021年	2022年	前年比
	1,642	1,944	1,778	3,580	2,821	3,547	2,910	△18.0%減

出典:浙江省商務庁

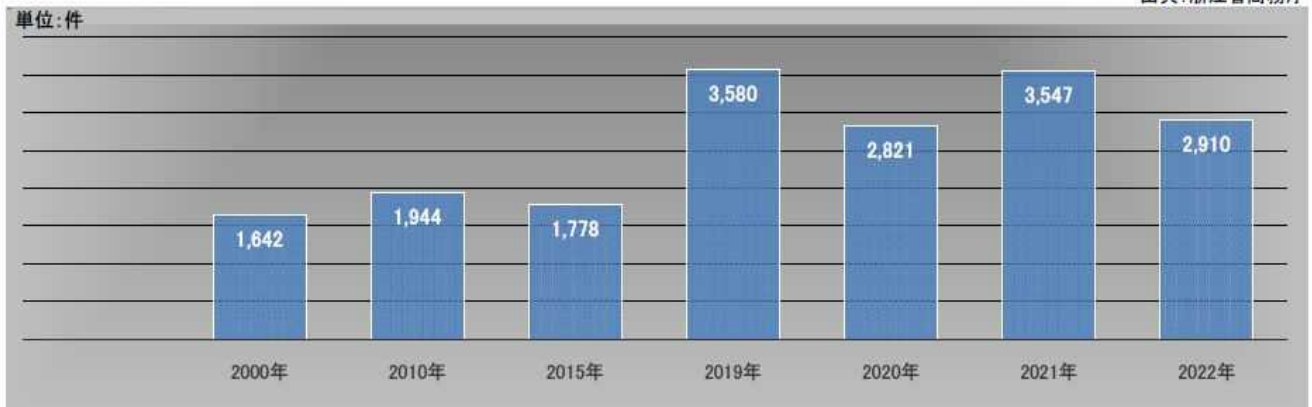


表8 中国の對外貿易上位省・市の金額

単位:億元	貿易総額	輸出	輸入
中国	420,678	239,654	181,024
広東省	83,103	53,323	29,780
江蘇省	54,455	34,816	19,639
浙江省	46,837	34,325	12,511
上海市	41,903	17,134	24,769
北京市	36,446	5,890	30,555
山東省	33,325	20,356	12,969
福建省	19,829	12,141	7,688

出典:浙江省商務庁

単位:億円	貿易総額	輸出	輸入
中国	7,622,689	4,342,530	3,280,159
広東省	1,505,825	966,220	539,605
江蘇省	986,723	630,860	355,863
浙江省	848,679	621,976	226,703
上海市	759,278	310,472	448,806
北京市	660,393	106,727	553,665
山東省	603,847	368,847	235,000
福建省	359,293	219,986	139,307

出典:浙江省商務庁

単位:億元

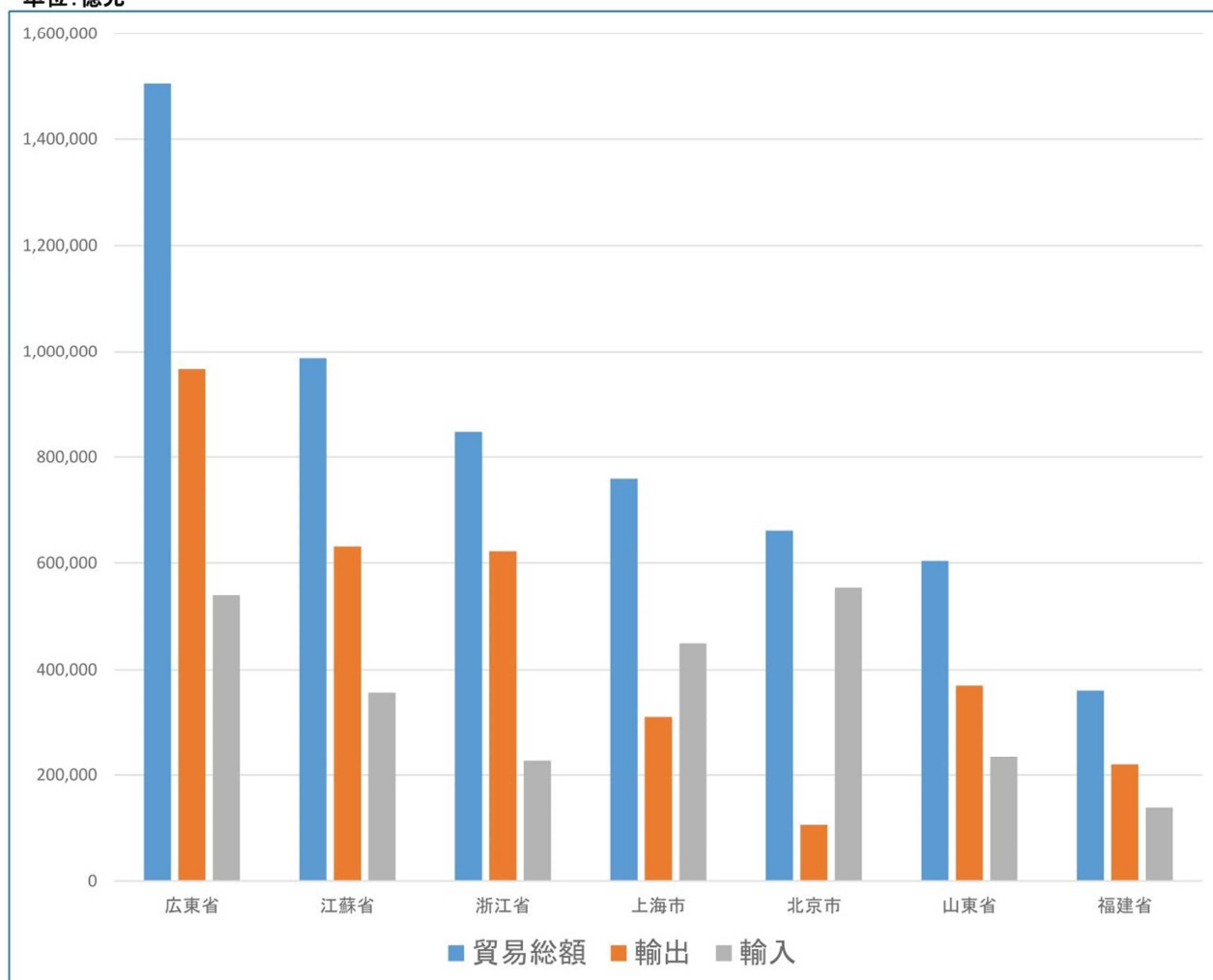


表9 省内11市の経済データ(2022年)

①一人当たり平均域内総生産(GRP)

	域内総生産(GRP)		常住人口		一人当たり平均域内総生産(GRP)	一人当たり平均域内総生産(GRP)
	単位: 億元	割合%	単位: 万人	割合%	単位: 元	単位: 円
浙江省	77,715	100	6,577	100	118,162	2,141,091
杭州市	18,109	24.6%	1,238	18.7%	146,327	2,651,441
寧波市	14,595	19.9%	962	14.6%	151,746	2,749,632
温州市	7,585	10.3%	968	14.7%	78,366	1,419,983
嘉興市	5,510	7.5%	555	8.4%	99,252	1,798,453
湖州市	6,355	8.6%	341	5.2%	186,209	3,374,100
紹興市	6,795	9.2%	535	8.2%	126,944	2,300,221
金華市	5,355	7.3%	713	10.9%	75,142	1,361,581
衢州市	1,876	2.6%	229	3.5%	81,904	1,484,099
舟山市	1,704	2.3%	117	1.8%	145,607	2,638,396
台州市	5,786	7.9%	668	10.2%	86,646	1,570,020
麗水市	1,710	2.3%	252	3.8%	67,992	1,232,016

出典: 浙江省商務庁

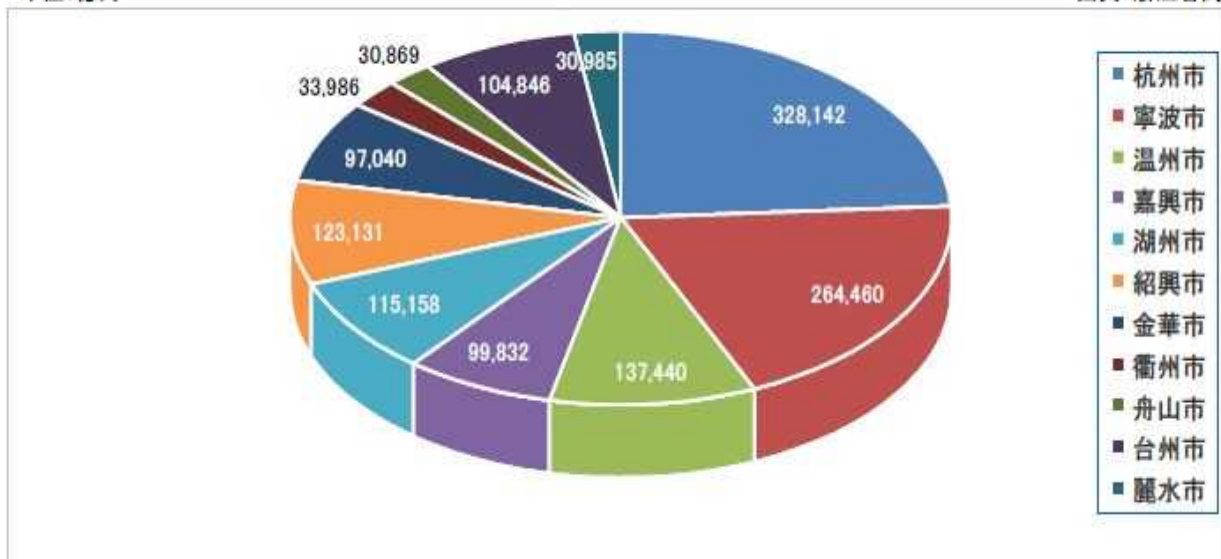
②産業別域内総生産(GRP)

単位: 億円

	域内総生産(GRP)		第一次産業		第二次産業		第三次産業	
		±%		±%		±%		±%
浙江省	1,408,196	3.1	37,998	3.2	481,394	3.4	610,427	2.8
杭州市	328,142	1.5	6,270	1.8	101,833	0.4	231,704	2.0
寧波市	264,460	3.5	6,922	4.1	134,333	3.2	143,307	3.8
温州市	137,440	3.7	3,220	4.6	61,260	3.5	81,024	3.8
嘉興市	99,832	2.5	2,609	2.4	67,399	2.9	52,109	2.0
湖州市	115,158	3.3	2,919	4.6	35,629	2.7	31,215	3.8
紹興市	123,131	4.4	4,414	3.4	65,192	5.8	63,589	3.2
金華市	97,040	2.5	2,932	1.9	42,192	3.0	55,668	2.1
衢州市	33,986	4.8	16,888	3.6	15,840	6.2	18,774	3.8
舟山市	30,869	8.5	3,097	3.7	17,221	15.0	15,040	3.3
台州市	104,846	2.7	5,981	2.9	47,820	1.5	55,657	3.8
麗水市	30,985	4.0	2,133	4.4	12,791	4.3	18,252	3.9

単位: 億円

出典: 浙江省商務庁



③ 対外貿易(元ベース)

単位：億元	輸出入総額	前年比±%	輸出額	前年比±%	輸入額	前年比±%
浙江省	46,836.6	11.1	34,325.4	14.3	12,511	6.9
杭州市	7,564.8	3.1	5,140.6	10.6	2,424	38.8
寧波市	12,671.3	3.8	8,230.6	8.0	4,441	37.3
温州市	2,949.6	5.2	2,502.0	22.9	448	27.3
嘉興市	4,400.0	3.2	3,213.1	14.7	1,187	33.8
湖州市	1,629.6	4.5	1,500.1	10.6	130	13.7
紹興市	3,691.9	4.2	3,409.0	23.7	283	7.9
金華市	6,838.7	3.3	5,956.6	11.8	882	24.3
衢州市	612.5	5.3	401.9	27.3	176	30.4
舟山市	338.2	4.1	115.5	49.0	223	41.0
台州市	2,771.8	3.9	2,526.7	1.0	245	40.3
麗水市	324.6	4.7	289.3	0.8	35	3.9

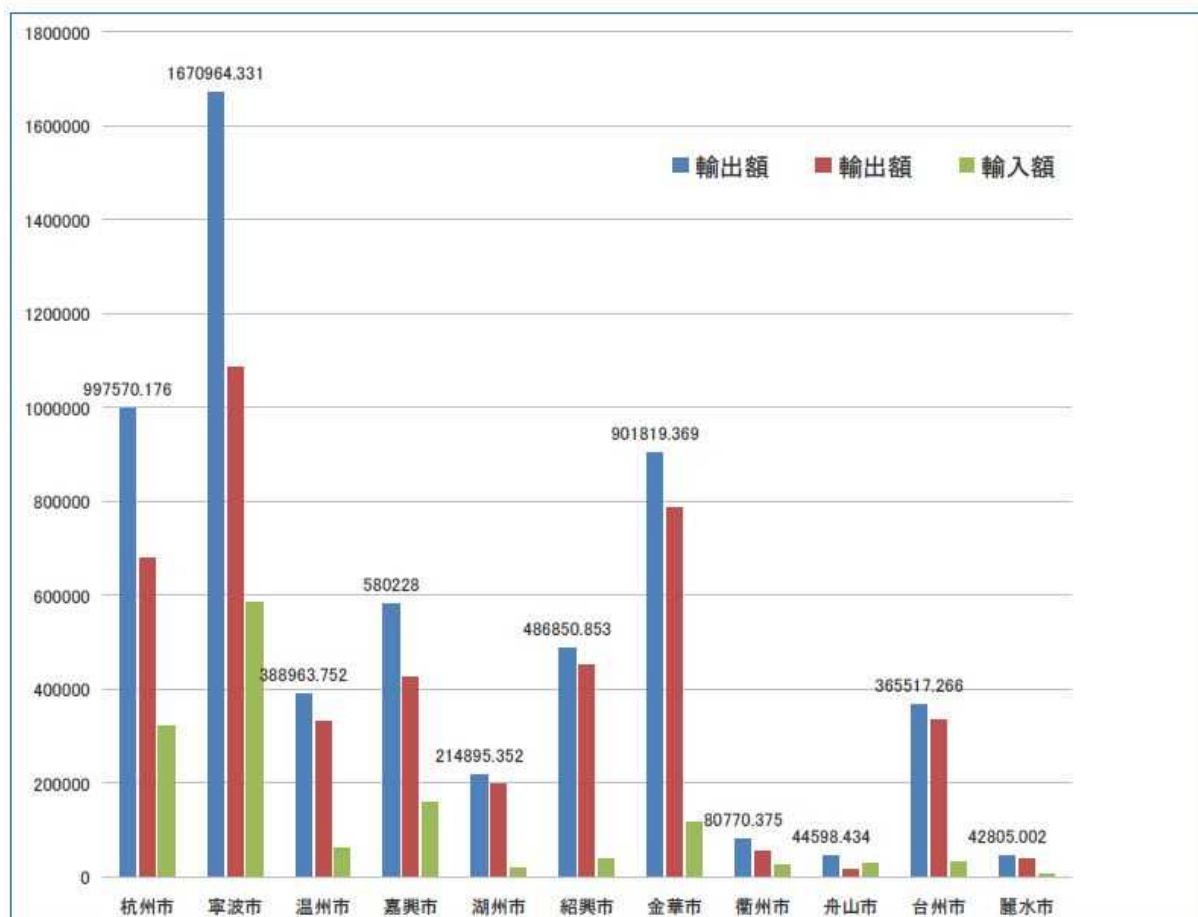
出典：浙江省商務庁

③ 対外貿易(円ベース)

単位：億円	輸出入総額	前年比±%	輸出額	前年比±%	輸入額	前年比±%
浙江省	848,679	11.1	621,976	14.3	226,703	6.9
杭州市	137,074	3.1	93,148	10.6	43,927	38.8
寧波市	229,604	3.8	149,138	8.0	80,465	37.3
温州市	53,447	5.2	45,336	22.9	8,111	27.3
嘉興市	79,728	3.2	58,221	14.7	21,507	33.8
湖州市	29,528	4.5	27,182	10.6	2,347	13.7
紹興市	66,897	4.2	61,771	23.7	5,126	7.9
金華市	123,917	3.3	107,934	11.8	15,984	24.3
衢州市	11,099	5.3	7,282	27.3	3,182	30.4
舟山市	6,128	4.1	2,093	49.0	4,035	41.0
台州市	50,225	3.9	45,784	15.0	4,441	40.3
麗水市	5,882	4.7	5,242	0.8	640	3.9

出典：浙江省商務庁

単位：億円



④外国企業投資(元ベース)

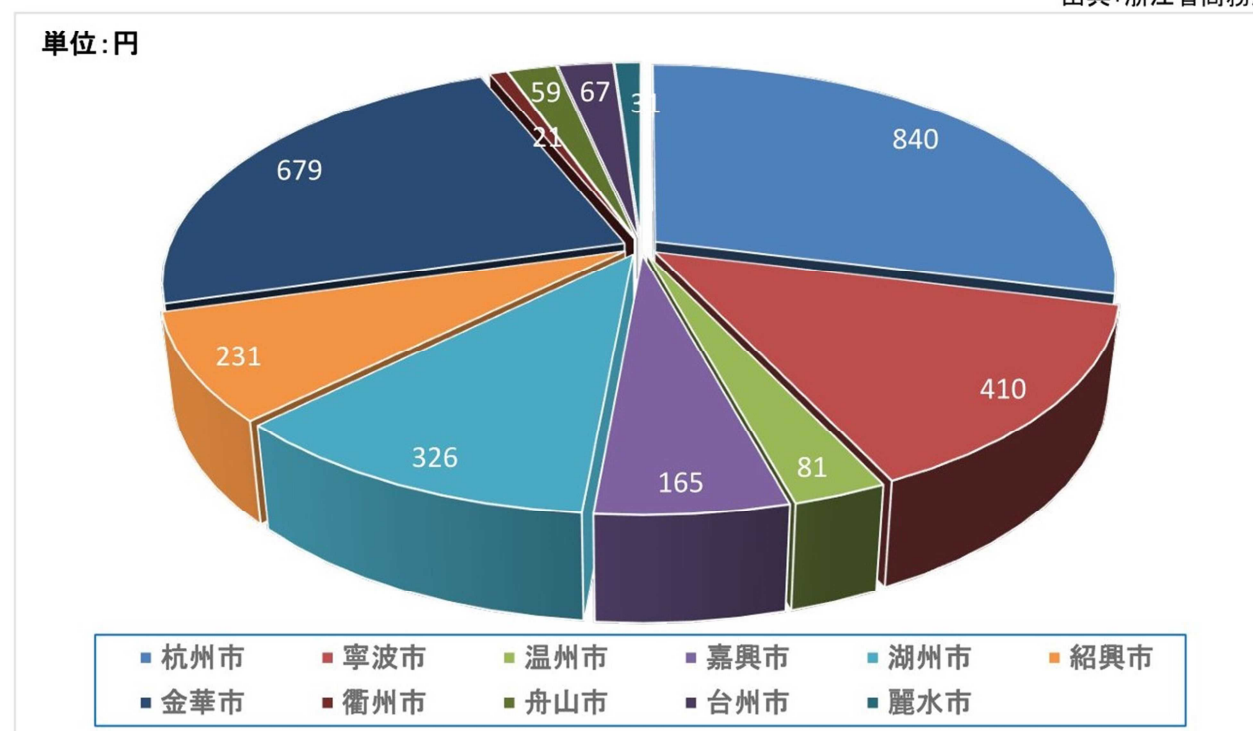
単位: 万ドル	2022年実績			前年同期比増減%		
	件数	契約ベース	実行ベース	件数	契約ベース	実行ベース
浙江省	2,910	4,339,798	1,929,978	△ 18.0	12.7	5.2
杭州市	840	1,348,919	781,238	△ 15.1	35.8	△ 4.4
寧波市	410	574,618	326,658	△ 27.3	△ 33.5	13.8
温州市	81	169,417	61,244	△ 29.6	17.4	12.5
嘉興市	165	719,137	157,713	△ 35.0	31.5	48.9
湖州市	326	630,118	315,760	△ 8.4	6.0	3.8
紹興市	231	209,631	101,773	6.9	7.9	34.0
金華市	679	185,984	46,830	△ 18.8	55.5	9.2
衢州市	21	118,193	10,470	△ 16.0	231.3	36.4
舟山市	59	32,188	46,276	△ 9.2	105.8	11.7
台州市	67	366,620	24,143	△ 17.3	△ 50.7	△ 50.0
麗水市	31	25,373	11,873	△ 32.6	△ 80.3	38.6

出典: 浙江省商務庁

④外国企業投資(円ベース)

単位: 円	2022年実績			前年同期比増減%		
	件数	契約ベース	実行ベース	件数	契約ベース	実行ベース
浙江省	2,910	572,289,162	254,506,199	△ 18.0	12.7	5.2
杭州市	840	177,881,949	103,021,855	△ 15.1	35.8	△ 4.4
寧波市	410	75,774,876	43,076,390	△ 27.3	△ 33.5	13.8
温州市	81	22,341,020	8,076,246	△ 29.6	17.4	12.5
嘉興市	165	94,832,596	20,797,613	△ 35.0	31.5	48.9
湖州市	326	83,093,661	41,639,271	△ 8.4	6.0	3.8
紹興市	231	68,339,706	13,420,806	6.9	7.9	34.0
金華市	679	24,525,710	6,175,472	△ 18.8	55.5	9.2
衢州市	21	15,586,111	1,380,679	△ 16.0	231.3	36.4
舟山市	59	4,244,632	6,102,416	△ 9.2	105.8	11.7
台州市	67	48,346,179	3,183,737	△ 17.3	△ 50.7	△ 50.0
麗水市	31	3,345,938	1,565,693	△ 32.6	△ 80.3	38.6

出典: 浙江省商務庁



3 長江デルタ経済圏と浙江省の位置

「長江デルタ経済圏」は「環渤海経済圏(北京市、天津市の2直轄市と河北省、山東省、遼寧省)」、「珠海デルタ経済圏(広東省・広州市、仏山市、肇慶市、深圳市、東莞市、惠州市、珠海市、中山市、江門市)」と並んで、中国3大経済圏の一つに位置付けられ、活発な地域経済、開放性、革新能力を兼ね備え、域外から最も人材を受け入れている地域であり、交通条件の利便性も高く、広大な後背地を持ち、多くの中核都市が密集していることから、中国経済を牽引する重要なエンジンとなっている。

(1) 長江デルタ経済圏の経済規模

長江デルタ経済圏は、長江下流域の浙江省、江蘇省、安徽省、上海市(直轄市)の3省1市(上海、江蘇省[南京、蘇州、無錫、常州、南通、塩城、揚州、鎮江、泰州]、浙江省[杭州、寧波、嘉興、湖州、紹興、金華、舟山、台州]、安徽省[合肥、蕪湖、馬鞍山、銅陵、安慶、滁州、池州、宣城]の26中核都市)で構成され、域内面積は350,800 km²(日本の総面積にほぼ匹敵)、2022年の域内人口は、2億3,519万人の規模になった。2022年の域内総生産(GRP)は前年比2.3%増(全国の成長率より0.7ポイント低い)、29兆287億元(約526兆円)の経済規模となり、中国全体の約24%を占めている。中国政府・国務院は、全国沿岸経済ベルト、長江経済ベルトと「一帯一路」戦略の交差点(要衝)にあることから、2019年12月、長江デルタ地域の一体的な発展を目指す国家戦略「長江デルタ地域一体化発展計画綱要」を発表した。

(2) 長江デルタ経済圏の域内総生産(GRP)は全国の約24%

「長江デルタ地域一体化発展計画綱要」により、浙江省、江蘇省、安徽省、上海市の3省1市の域内総生産(GRP)の全国シェアは年々上昇し、2022年には長江デルタ経済圏の域内総生産(GRP)は全国の約24%を占め、中国経済の成長エンジンを担っている。長江デルタ経済圏は、地域ビジネス環境において最適化を図り、国際競争力の新たな優位性を強化している。

2021年5月、長江デルタ自由貿易試験区連盟が設立され、2021年の浙江省・江蘇省・安徽省・上海市の自由貿易試験区の貨物輸出入総額は3兆1,000億元(約56兆1,100億円)になり、全国自由貿易試験区の46.2%を占め、外国企業の直接投資の実行ベースの外資使用総額は1,042億6,000万元(約1兆8,919億円)となり、全国自由貿易試験区の48.9%を占めた。3省1市の域内総生産(GRP)は前年比8%超の伸び率だった。41市中、18市が全国域内総生産(GRP)市別ランキング50強に入った。

2022年の長江デルタ経済圏の輸出入総額は15兆730億元(約273兆1,223億円)に達し、全国の35.8%を占め、2018年より27.7%増えた。長江デルタ全域の固定資産

投資は前年比 8.1%増えた。長江デルタ経済圏の工業増価値、社会消費財小売総額、地方一般公共予算収入はそれぞれ全国値で 25.6%、25.3%、26.6%となり、1/4以上を占めた。

（３）産業集積クラスターの形成が加速

現在、長江デルタ経済圏の産業集積クラスターの形成が加速している。集積回路産業の規模は全国の 60%を占めている。また、生物医薬、人工知能(AI)産業の規模はいずれも全国の 1/3を占めている。自動車の生産量は全国の 1/4を占め、新エネルギー自動車(次世代自動車)の生産量も全国の 38%を占めている。

主要中核都市群の経済指標値は、いずれも好実績をあげ、第 2 都市群の紹興市、金華市の域内総生産(GRP)成長率も顕著である。域内 41 市のうち、上海市、蘇州市、杭州市、南京市、寧波市、無錫市、合肥市、南通市の 8 市が域内総生産(GRP) 4 兆元(約 72 兆 4,800 億円)クラブに入った。上海市の 2022 年域内総生産(GRP)は前年比△0.2%減でも 4 兆元(約 72 兆 4,800 億円)を越えた。4 兆元(約 72 兆 4,800 億円)はどんな概念か、中国全体でこの実績をあげているのは半分の省だけであり、世界でも約 20 の国・地域だけがこの域内総生産(GRP)の数値を上回っている。

（４）域内都市間の競争と協力

上海市に続く「最強の地級市」と呼ばれる蘇州市の域内総生産(GRP)は 2 兆 2,718 億元(約 41 兆 2,806 億円)だった。2021 年の蘇州市の一定規模以上工業の総生産額は初めて 4 兆元(約 72 兆 4,800 億円)に達し、16%前後を増えた。これは、蘇州市が深圳市、上海市を超えて、全国第一の工業都市であることを意味している。蘇州市には、技術革新ボードの新規上場企業数が全国 1 位、「灯台工場(ライトハウス工場)※1)」数も全国 1 位である。

杭州市、南京市、寧波市、無錫市等も良好な域内総生産(GRP)実績をあげている。長江デルタ経済圏の域内総生産(GRP) 1 兆元(約 18 兆 1,200 億円)クラブ※2)の中で唯一ランクインした安徽省の合肥市は、2020 年に初めて域内総生産(GRP)が 1 兆元(約 18 兆 1,200 億円)を越えてから、引き続き成長の勢いを維持し、1 兆元(約 18 兆 1,200 億円)を超える長江デルタ経済圏の中で、域内総生産(GRP)成長率の伸び幅が第 1 位になった。

主要中核都市の順位が安定しているのに比べ、域内総生産(GRP)5,000 億元(約 4 兆 5,300 億円)から 1 兆元(約 18 兆 1,200 億円)の「第 2 位」都市の構造に変化が生じている。常州市の域内総生産(GRP)成長率は 9.1%に達し、1 兆元(約 18 兆 1,200 億円)達成目標からはわずかに差があり、徐州市と温州市の差は依然として 500 億元(約 9,060 億円)前後を維持している。この 3 つの市はいずれも「第 14 次 5 年計画

(2021-2025年)」で、経済規模A水準と評価される1兆元(約18兆1200億円)クラブを突破する目標を掲げている。域内総生産(GRP)が5,000億元(約4兆5,300億円)から7,000億元(約1兆2,840億円)の都市のうち、金華市の2021年の域内総生産(GRP)は5,000億元(約4兆5,300億円)を越え、前年比9.8%の成長率に達し、初めて長江デルタ経済圏での第2位都市の仲間入りを果たした。紹興市の順位は揚州市を超えた。揚州市の2021年の域内総生産(GRP)成長率は7.4%で、第2位都市の中では下位に位置し、塩城市との差も縮小している。

※国家戦略「長江デルタ地域一体化発展計画綱要」概要（「計画概要」を翻訳）

1. 中小都市と鎮の定住制限を全面撤廃

都市・農村住民を身分的に平等とする戸籍登録制度を策定する。都市部における基本的な公共サービスは、全ての居住人口を網羅し、都市の包容性を高め、農村からの転入人口の市民化を秩序立てて推進する。上海市という超大都市の特色に適した戸籍管理制度や、南京市・杭州市等の特大都市におけるポイント制による定住制度を策定し、中心エリアのその他都市の人口集約力を高め、II型大都市・中小都市・鎮の定住制限を全面的に撤廃する。また、条件が整った発展の可能性が大きい城鎮・特色ある小鎮・中心村に移動し、比較的集中した形での居住や起業を行えるようにする。都市部の人材が双方向に流動するよう促し、都市の人材が故郷に戻って起業するよう奨励する。

2. 上海自由貿易区に新エリアを設置

上海自由貿易区の大治河以南、金匯港以東、小洋山島、浦東空港南側地域に新エリアを設置する。初期面積120km²のエリアで多国籍企業の地区運営・管理、発注センター、決算センター等の「本部経済(本社機能)」を重点的に発展させ、生物医薬、集積回路、産業のインターネット、先端装備製造業等先端産業を発展させる。また、大口商品、金融サービス、デジタル貿易等の新型国際貿易を発展させ、国際業務、グローバル金融サービス、先端技術の研究開発、グローバルサービス貿易等の統一化を推進し、開放型経済集中機能を強化する。

3. 「都市圏一体化通勤」を実現

2025年までに、圏外隣接地域や都市・農村等地域の一体化発展をハイレベルまで到達させる。都市圏一体化による一体化通勤圏を整備し、そのため都市間鉄道ネットワーク整備の推進を加速させ、市内鉄道の周辺中小都市への延伸を推進する。また、率先して都市圏における公共交通化旅客輸送サービスを実現し、スピーディーで簡便な都市通勤圏を構築する。高速鉄道による宅配・電子商取引の専用列車の発展を支援する。長江デルタ地域の民間航空協同発展戦略計画を制定・実施し、地域の航空国際競争力を引き上げる。南通新空港の整備計画を進め、上海国際航空拠点の重要な構成要素とする。杭州市、南京市、合肥市エリアの航空拠点機能を最適化・向上させ、寧波市や温州市等の地域航空サービスを増強し、蘇南碩放国際空港での地域拠点空港整備を支援する。航空貨物輸送施設、合肥国際航空貨物輸送集散センターや淮安航空貨物輸送拠点、嘉興航空連携輸送センターの整備を計画する。

4. 長江デルタ地域一体化戦略と 2025 年までの発展目標

- ・都市・農村の協調発展：中心エリアにおける都市・農村住民の所得格差を 2.2 : 1 以内に抑え、中心エリア域内総生産(G R P)と全域住民 1 人当り域内総生産(G R P)の格差を 1.2 : 1 まで縮小、居住人口の都市化率 70%以上達成する。
- ・インフラ整備：鉄道網の密度 507 km/万km²以上を達成、高速道路の密度 5 km/百km²以上を達成、5 G ネットワークのカバー率の 80%以上達成する。
- ・公共サービス：住民 1 人当り公共財政支出 21,000 元(約 217,440 円)以上を達成、生産年齢人口の教育修業年限平均 11.5 年以上を達成、平均寿命 79 歳以上を実現する。

5. 中核都市 27 市の経済的基盤が寄与

当経済圏では、デジタル経済の推進により、商業、人材、民生サービス、行政、技術等、幅広い分野でのデジタル一体化の構築を加速する。上海市、浙江省、江蘇省、安徽省の中核都市 27 市は、全国 10%の人口、全国 20%の域内総生産(G R P)、1 人当たりの平均域内総生産(G R P)は中所得国水準を超え、こうした数字から、当地域の技術革新の推進とデジタル経済発展の潜在力を持っている。中国のデジタル一体化政策の牽引役として、デジタル経済時代のツール類（ビッグデータ、クラウド、インターネット）を利用した生産・経営プラットフォームをベースにして、地域の要素資源の配置一体化、商業と産業の協同一体化、公共サービスの一体化、社会整備の一体化、地域総合競争力を高め、世界トップの高品質システムの形成と位置付ける。

6. 一体化による大きな発展潜在力

当経済圏の振興は、国家戦略に昇格され、高品質・高規格の発展要求の下で、長江デルタ経済圏が国を代表する新しいグローバル協力と競争に参画し、中国経済発展の成長軸となり、また技術革新をはかるトップランナーとして、長江経済ベルトの発展を牽引し、国家戦略に寄与することを目指す。当経済圏は、全国の経済量が最も大きい都市群であり、全国の人口の 10%、域内総生産(G R P)の 20%、輸出入総額の 25%、貨物取扱量の 34%を占めるようにする。また、2016 年から、長江デルタ経済圏の中核都市の 1 人当たり平均域内総生産(G R P)は 13,652 ドル(約 1,800,562 円)になり、いわゆる「中所得国の罫」を乗り越え、全体的に高収入の段階に入り、中核都市は、2023 年には 1 人当たり平均域内総生産(G R P)が 20,000 ドル(約 2,637,800 円)を超えるようにする。

7. デジタル経済を全国トップレベルに

当経済圏の高品質一体化を実現するために、デジタル経済を推進力として、デジタル一体化を実現する必要があり、電子商取(E C)、新業態小売業を始めとして、工業インターネット、スマート都市の経済業態が次第に成熟していく中で、デジタル経済が商業、産業等地域経済の重要分野における変革に寄与するようにする。中核都市のデジタル経済指数で見ると、杭州市と上海市がトップランナーであり、蘇州市、南京市、寧波市、金華市、合肥市、嘉興市、温州市、常州市が続くようにする。「デジタル経済の第一都市」として杭州市は、現在既に他の都市をリードし、杭州市のデジタルインフラ、デジタルビジネス、デジタル行政、デジタル民生の 4 指標においていずれも第 1 位となっている。

8. デジタルツールによって一体化を加速

当経済圏一体化の深化、デジタル経済一体化の深化がキーポイントであり、伝統的な一体化発展の境界と阻害を打破することが、資源要素の自由や効率的流通を促進することになる。空間的一体化を例にすると、地域一体化の最も直観的な具現として、交通分野においてナビゲーション等のモバイルデジタル技術の普及であり、一部都市では既に都市間移動の制約を緩和されているが、域内の交通分野での運用・監督管理をより細かく、より便利になるようにして、効率的な空間的一体化を推進する。

[注釈]

※1) ライトハウス工場：世界経済フォーラムが第4次産業革命をリードする先進的な工場を指定する取り組み「ライトハウス・Lighthouse」として評価・選出している。

※2) 1兆元クラブ：中国では、域内総生産(GRP)が1兆元を超える省(市、区)、または都市を指し、域内総生産(GRP)1兆元クラブを地元のGRPを測定するための閾値と見なし、地域経済発展の水準を測るA基準として認められている。

[出典]

1. 央視網：2021年長三角地区域内総生産(GRP)占全国24.1% 正加速成為經濟強勁活躍增長極 2022-08-17 (2021年には、長江デルタ地域の域内総生産(GRP)は中国全体の24.1%を占め、強力で活発な経済成長極になるために加速している)を引用、参照

2. 上観新聞：長三角41城全年域内総生産(GRP)実績単出炉：这几个城市進步 2022-02-17(長江デルタ41都市の年間域内総生産(GRP)実績表が発表、これらの都市の進步は最も速い2022-02-17)を引用、参照

浙江省及び周辺省・市地図



※ 図表で解説 ※

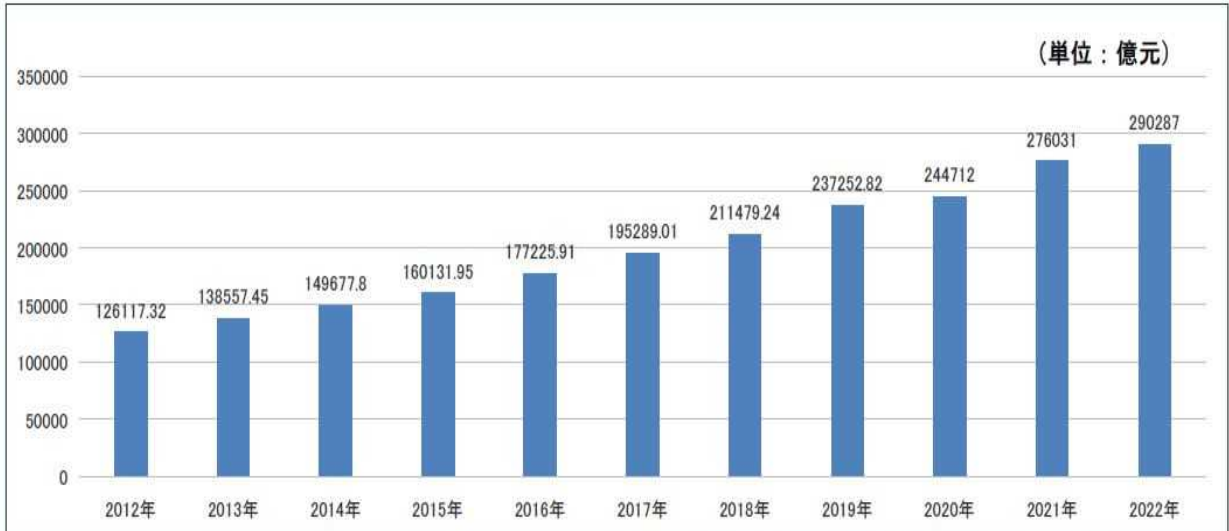
長江デルタ経済圏の経済規模

表1 3省1市の経済規模(2022年)

項目	単位	中国	浙江省	割合	江蘇省	割合	安徽省	割合	上海市	割合	3省1市(総量 又は割合)	全体に対する 割合
面積	万km ²	960.00	10.18	1.06%	10.26	1.07%	14.01	1.46%	0.28	0.03%	34.73	3.62%
人口	万人	141,175	6,577	4.66%	8,505	6.02%	6,127	4.34%	2,489	1.76%	23,698	16.79%
中国:国内総生産(GDP) 浙江省:域内総生産(GRP)	億元	1,210,207	77,715	6.42%	122,875	10.15%	45,045	3.72%	44,652	3.69%	290,287	23.99%
	億円	21,928,951	1,408,196	同上	2,226,495	同上	816,215	同上	809,094	同上	5,260,000	同上
対前年比伸び率	%	3.0	3.1	—	2.8	—	3.5	—	-0.2	—	2.3	—
第一次産業	億元	88,345	2,097	2.37%	4,959	5.61%	3,513	3.98%	97	0.11%	10,666	12.07%
	億円	1,600,811	37,998	同上	89,857	同上	63,656	同上	1,758	同上	193,268	同上
第二次産業	億元	483,164	26,567	5.50%	55,888	11.57%	18,588	3.85%	11,458	2.37%	112,501	23.28%
	億円	8,754,932	481,394	同上	1,012,691	同上	336,815	同上	207,619	同上	2,038,518	同上
第三次産業	億元	553,977	33,688	6.08%	62,027	11.20%	22,943	4.14%	33,097	5.97%	151,755	27.39%
	億円	10,038,063	610,427	同上	1,123,929	同上	415,727	同上	599,718	同上	2,749,801	同上
[一人当たり平均] 中国:国内総生産(GDP) 浙江省:域内総生産(GRP)	元	113,392	118.162	1.04	144,474	1.27	73,519	0.65	179,397	1.58	122,494	8.03%
	ドル	16,386	17,075	同上	20,878	同上	10,624	同上	25,924	同上	18,625	同上
	円	784,673	817,679	同上	999,759	同上	508,750	同上	1,241,430	同上	847,661	同上
社会消費品小売総額	億元	439,733	30,467	6.93%	42,752	9.72%	21,518	4.89%	15,932	6.50%	110,669	25.17%
	億円	7,967,962	552,062	同上	774,666	同上	389,906	同上	288,688	同上	2,005,322	同上
都市住民の一人当たりの 可処分収入	元	49,283	71,268	0.45	60,178	0.22	45,133	0.92	84,034	1.71	65,153	15,870
	円	893,008	1,291,376	同上	1,090,425	同上	817,810	同上	1,522,696	同上	1,180,577	同上
農村住民の一人当たりの 純収入	元	20,133	37,565	1.87	28,486	1.41	19,575	0.97	39,729	1.97	31,339	11,206
	円	364,810	680,678	同上	516,166	同上	354,699	同上	719,889	同上	567,858	同上
輸出入総額(元ベース)	億元	420,678	46,800	11.12%	54,500	12.96%	7,530	1.79%	41,900	9.96%	150,730	35.83%
輸出額	億元	239,654	34,300	14.31%	34,800	14.52%	4,763	1.99%	17,100	7.14%	90,963	37.96%
輸入額	億元	181,024	12,500	6.91%	19,700	10.88%	2,767	1.53%	24,800	13.70%	59,767	33.02%
輸出入総額(円ベース)	億円	7,622,685	848,016	11.12%	987,540	12.96%	136,444	1.79%	759,228	9.96%	2,731,228	35.83%
輸出額	億円	4,342,530	621,516	14.31%	630,576	14.52%	86,306	1.99%	309,852	7.14%	1,648,250	37.96%
輸入額	億円	3,280,155	226,500	6.91%	356,964	10.88%	50,138	1.53%	449,376	13.70%	1,082,978	33.02%

出典:中国統計局、上海市統計局、江蘇省統計局、浙江省統計局、安徽省統計局

表2 長江デルタ（3省1市）の域内総生産（GRP）の推移



出典:上海市統計局、江蘇省統計局、浙江省統計局、安徽省統計局

表3 長江デルタ（3省1市）の年別域内総生産（GRP）の推移

単位:億元

年	上海市	江蘇省	浙江省	安徽省	小計
2012年	20,182	54,058	34,665	17,212	126,117
2013年	21,818	59,753	37,757	19,229	138,557
2014年	23,568	65,088	40,173	20,849	149,678
2015年	25,123	70,116	42,886	22,006	160,132
2016年	28,179	77,388	47,251	24,408	177,226
2017年	30,633	85,870	51,768	27,018	195,289
2018年	32,680	92,595	56,197	30,007	211,479
2019年	38,155	99,632	62,352	37,114	237,253
2020年	38,700	102,719	64,613	38,680	244,712
2021年	43,214	116,342	73,516	42,959	276,031
2022年	44,652	122,875	77,715	45,045	290,287

出典:上海市統計局、江蘇省統計局、浙江省統計局、安徽省統計局

単位:億元

年	上海市	江蘇省	浙江省	安徽省	小計
2012年	365,693	0	628,136	311,882	1,305,711
2013年	395,345	0	684,149	348,436	1,427,930
2014年	427,047	0	727,935	377,779	1,532,761
2015年	455,237	0	777,103	398,742	1,631,082
2016年	510,597	0	856,195	442,266	1,809,058
2017年	555,070	0	938,041	489,566	1,982,677
2018年	592,159	0	1,018,292	543,724	2,154,175
2019年	691,374	0	1,129,818	672,506	2,493,698
2020年	701,244	0	1,170,788	700,882	2,572,913
2021年	783,038	0	1,332,110	778,417	2,893,565
2022年	809,094	0	1,408,196	816,215	3,033,505

出典:上海市統計局、江蘇省統計局、浙江省統計局、安徽省統計局

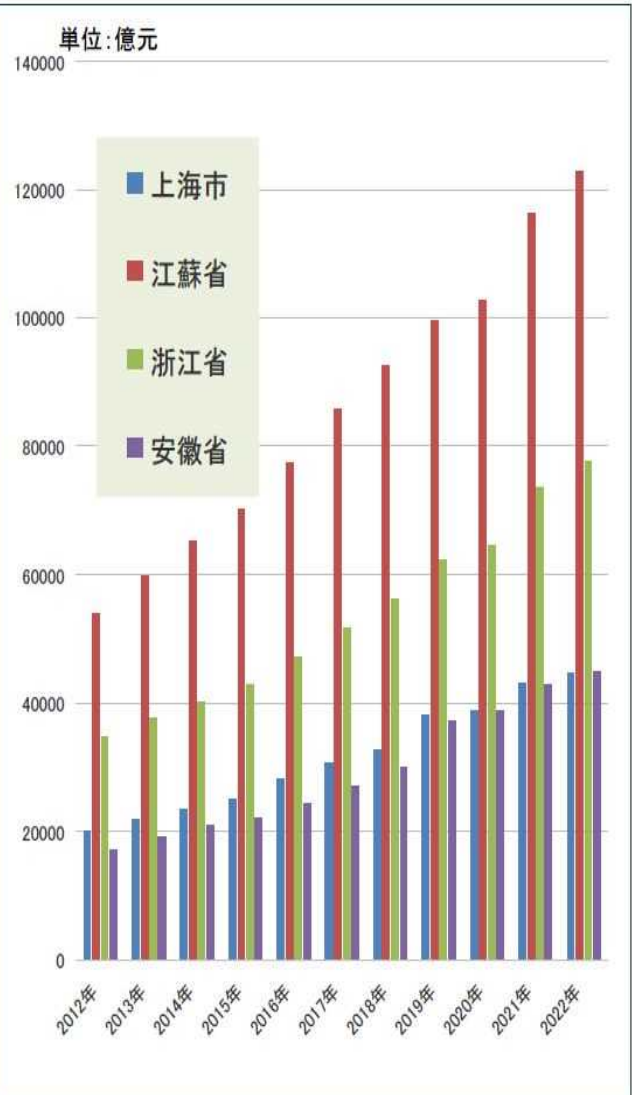


表4 長江デルタ(3省1市)の常住人口の推移

(単位:万人)	上海市	江蘇省	浙江省	安徽省	合計
2012年	2,347	7,899	5,463	5,968	21,677
2013年	2,380	7,920	5,477	5,988	21,765
2014年	2,415	7,939	5,498	6,030	21,882
2015年	2,426	7,960	5,508	6,083	21,977
2016年	2,415	7,976	5,539	6,144	22,074
2017年	2,420	7,999	5,590	6,196	22,205
2018年	2,418	8,029	5,657	6,255	22,359
2019年	2,424	8,051	5,737	6,324	22,536
2020年	2,428	8,070	5,850	6,366	22,714
2021年	2,424	8,051	6,324	6,324	23,123
2022年	2,487	8,474	6,456	6,102	23,519

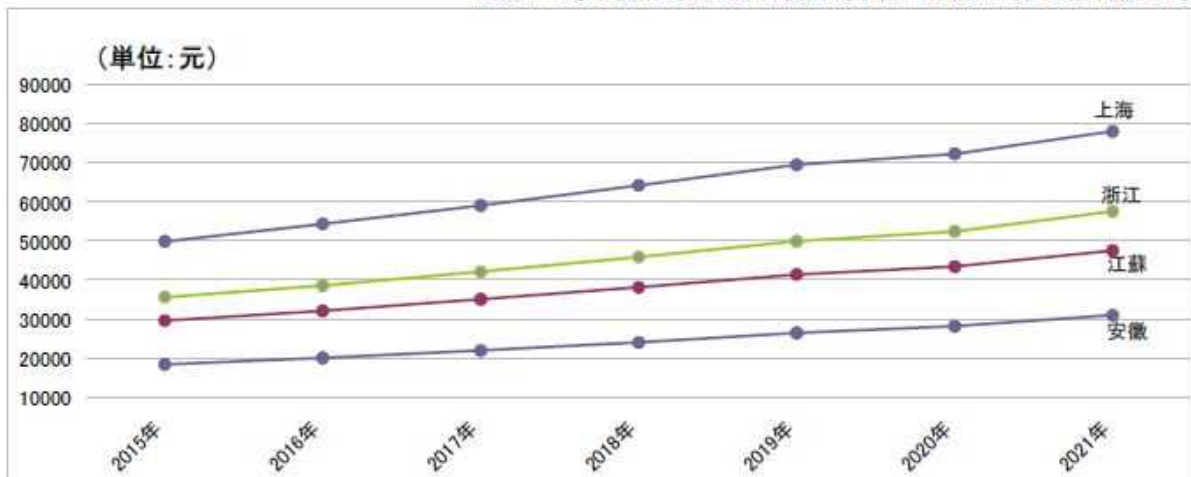
出典:上海市統計局、江蘇省統計局、浙江省統計局、安徽省統計局



表5 長江デルタ(3省1市)の1人当たり平均所得の推移

(単位:元)	上海市	江蘇省	浙江省	安徽省	合計
2012年	42,174	24,776	29,775	15,154	27,970
2013年	42,174	24,776	29,775	15,154	27,970
2014年	45,966	27,173	32,658	16,796	30,648
2015年	49,867	29,539	35,537	18,363	33,326
2016年	54,305	32,070	38,529	19,998	36,226
2017年	58,988	35,024	42,046	21,863	39,480
2018年	64,183	38,096	45,840	23,984	43,025
2019年	69,442	41,400	49,899	26,415	46,789
2020年	72,232	43,390	52,397	28,103	49,031
2021年	78,027	47,498	57,541	30,904	53,493
2022年	79,610	49,862	60,302	32,745	55,630

出典:上海市統計局、江蘇省統計局、浙江省統計局、安徽省統計局



4. アクセス・インフラ

(1) 港湾(海上輸送)

浙江省には、寧波一舟山港を主軸に、北側の嘉興港と南側の台州港・温州港を両翼とする4つの主要港湾があり、「一体・両翼・多聯」(一体化・スマート化・エコ化)港湾の整備を進めている。

① 港湾一体化の浙江省海港集団

2020年、浙江省は、省内港湾一体化を加速するため、浙江省海港集団傘下の浙江海港嘉興港務有限公司(「嘉興港」)と、温州港集団有限公司(「温州港」)、浙江義烏港有限公司(「義烏港」)、浙江閩門港務有限公司(「閩門港/台州」)を組み入れ、寧波一舟山港股份有限公司(寧波一舟山港)との株式持ち合いによる、浙江省海港集団を誕生させた。

② 寧波一舟山港 (両港合併再編)

ア 2006年に、両港合併再編された寧波一舟山港は、太平洋に面し、長江と錢塘江の流域といった立地に加えて、深水良港(主要航道水深22.5m以上、30万トン級貨物船舶の無制限入出港、40万トン巨大船舶の潮流入出港可能)、年間作業可能日350日前という、条件に恵まれ、世界有数の大型港湾となっている。

イ 寧波一舟山港は、寧波港域と舟山港域に分けられ、寧波港域は北侖、鎮海、甬江、大榭、穿山、梅山、象山、石浦の8港区、舟山港域は定海、老塘山、金塘、馬巖、沈家门、六横、高亭、衢山、泗礁、緑華山、洋山等19港区で構成され、内航港と外航港が一体化され、大・中・小の荷役バースを有する多機能型近代港湾となっている。

ウ 寧波一舟山港は、世界100ヶ国の国・地域、600ヶ所の港湾と結び、貿易往来に寄与している。大陸部の石油、鉄鉱石、コンテナ等の中継・貯蔵基地であるだけでなく、華東地域の石炭、食料、雑貨等の中継・貯蔵基地でもある。

エ 寧波一舟山港のコンテナ取扱量は、2022年は初めて「3,000万TEU」の大台を越え、2021年の「2,900万TEU」から3,355万TEUになり、上海港に次いで第2位となった。1984年にコンテナ取扱が始まり、1991年にはコンテナ専用バースが設けられ、昨今では1年単位で100万TEU上乗せている。

オ 寧波一舟山港は、「海鉄聯運(海上・鉄道連接輸送業務)」を開始し、2019年に湖州市、金華市、常州市、麗水市の4つの海上・鉄道連接輸送経路拠点と結び、15の省(区、

市)、50の地級市を結ぶ貨物輸送網を形成した。寧波—舟山港の「海鉄聯運」取扱量は、2022年は前年比25%増、145万TEUになり、青島港に次いで全国第2位となった。



(出典：浙江省海港集团提供資料)

(2) 空港(航空輸送)

省内には、寧波櫟社国際空港、温州龍湾国際空港、舟山普陀山国際空港、台州路橋国際空港、義烏国際空港、衢州国際空港等の空港施設がある。長江デルタ地域を代表する大規模空港である杭州蕭山国際空港は、年間延べ乗客数 4,000 万人(2019 年)を超えたが、その翌年 2020 年からのコロナ禍の影響を受けて激減し、2022 年は 2,000 万人となっている。杭州蕭山国際空港、寧波櫟社国際空港、温州龍湾国際空港は、富士山静岡空港等日本の空港との間に定期路線がある。(2022 年 12 月現在、富士山静岡空港路線は運休)



(出典：浙江省政府)

浙江省内空港一覧

名称	用途	所在地	開港年
嘉興空港	軍用/民用	嘉興市	2021
台州路橋国際空港	軍用/民用	台州市	1987
寧波櫟社国際空港	民用	寧波市	1990
温州龍湾国際空港	民用	温州市	1990
義烏国際空港	軍用/民用	義烏市	1991
衢州空港	民用	衢州市	1993
舟山普陀山国際空港	民用	舟山市	1997
杭州蕭山国際空港	民用	杭州市	2000

(出典：浙江省政府)

(3) 通信網

① ネットが急速に普及

2021年、浙江省のネット利用者数は5,506万人に達し、2020年に比べ約185万人増加し、ネット普及率は80.9%になった。そのうち、モバイルネットユーザー数は5,496万人になり、省内ネットユーザー総数の99.8%を占めた。ネットユーザー数増加には、浙江省の通信インフラ整備の加速と改善があり、2021年末時点で、5G基地局が113,600ヶ所、5G端末ユーザーは約2,300万人いる。杭州市は、国内初の5G実証都市に選ばれ、杭州市、寧波市、温州市等の都市が5Gカバーエリアとして整備されつつある。

② デジタル化、スマート化が進む

デジタル経済を推進する浙江省は、スマートAIチップ等の技術分野を強化し、5Gと組み合わせた最先端技術が研究開発段階からモノのネット技術(IoT)の実験実証応用段階が始まっている。2019年に浙江省のデジタル経済の中核産業が域内総生産(GRP)の10%を占めるようになり、電子商取引(EC)をリードし、オンライン売上高が急速に伸びている。

(4) 道路(高速道路)

省内初の高速道路は、1996年12月6日開通した杭甬高速道路(杭州—寧波、145km)であり、2020年時点で総距離約5,000km以上が既に開通している。浙江省は、『2縦・2横・18連・3環状・3専用道』の高速道路網を、2035年までに総距離9,000kmとする『9縦9横5環5通路多連』の高速道路網へ整備する予定である。そのため、現在、浙江省は長江デルタ経済圏の主要都市や省内11市を結ぶ高速道路網を拡張、整備している。2008年には「杭州湾跨海大橋」の開通によって、上海市から寧波市までの距離は304kmから179kmに短縮され、所要時間も2時間程度に短縮された。また、道路付設高機能サービスとして、5G、AI、IoT、ビッグデータ、全地球測位システム(GPS:Global Positioning System)、地理情報システム(GIS:Geographic Information System)、道路建設の計画、調査、設計段階から3次元モデル利用システム(BIM/CIM)等の技術を利用した機能を拡充した国内初のスマート高速道路「杭紹甬高速道路」を建設中であり、同道路はスマート、スピーディー、グリーン、安全といった要素を備え、自動料金収受システムやスマート交通管理システムを導入する。

(5) 高速鉄道網(新幹線)

① 滬杭高速鉄道(上海から杭州まで)

上海—杭州旅客輸送専用線とも呼ばれ、2010年に運行が開始され、設計時速は350km/hで、浙江省には嘉善南、嘉興南、桐郷、海寧西、余杭、杭州東の6つの駅が設置さ

れた。上海・昆明高速鉄道の上海・杭州区間である。

② 杭甬高速鉄道（杭州から寧波まで）

杭州－寧波旅客運専用線とも呼ばれ、2013年に運行を開始し、時速350km/hの設計を行い、全線に杭州東、杭州南、紹興北、紹興東、余姚北、莊橋、寧波の7つの駅が設置された。

③ 寧杭高速鉄道（南京から杭州まで）

南京－杭州旅客輸送専用線とも呼ばれ、2013年に運行が開始され、設計時速は300km/hで、浙江省には長興、湖州、徳清、杭州東の4つの駅が設置された。

④ 杭長高速鉄道（杭州から長沙まで）

杭州－長沙旅客輸送専用線とも呼ばれ、2014年に運行が開始され、時速350km/hの設計が行われ、浙江省には杭州東、杭州南、諸暨、義烏、金華、龍游、衢州、江山の8つの駅が設置された。上海・昆明高速鉄道の杭長区間(杭州－長沙)である。

⑤ 杭黄高速鉄道（杭州から黄山まで）

杭州－黄山旅客輸送専用線とも呼ばれ、2018年に運行が開始され、設計時速は250km/hで、浙江省には杭州東、杭州南、富陽、桐廬、建徳、千島湖の6つの駅が設置された。杭州－南昌高速鉄道の杭黄区間である。

⑥ 合杭高速鉄道（合肥から杭州まで）

合杭旅客輸送専用線とも呼ばれ、2020年に運行が開始され、時速350km/hの設計が行われ、浙江省には杭州東、徳清、湖州、安吉の4つの駅が設置されている。

⑦ 湖杭高速鉄道（湖州から杭州まで。建設中）

湖州－杭州旅客輸送専用線とも呼ばれ、2019年に建設が開始され、時速350km/hの設計が行われ、湖州、徳清、杭州西、富陽西、桐廬東、桐廬の6つの駅が全線にわたって設置されている。

⑧ 杭温高速鉄道（杭州から温州まで。建設中）

杭州－温州旅客輸送専用線とも呼ばれ、2017年に建設が開始され、設計時速は350km/hで、浙江省には杭州西、富陽西、桐廬東、桐廬、義烏、横店、磐安、仙居、楠溪江、永嘉、温州南の11カ所の駅が設置されている。

⑨ 杭紹台高速鉄道（杭州は紹興を経て台州に至る。建設中）

杭州—紹興—台州都市間鉄道とも呼ばれ、2017年に建設が開始され、設計時速は350km/hで、浙江省には杭州東、杭州南、紹興北、東関、三界、新昌、天台、臨海、台州中心、温嶺、温嶺西、玉環の12の駅が設置されている。

杭州駅を起点とする高速鉄道網



(出典：高鉄網)

※ 図表で解説 ※

浙江省の港湾物流

表1 寧波—舟山港 コンテナ取扱量の推移

単位: 万TEU

年	2001	2002	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
取扱量	121	188	1,617	1,735	1,945	2,063	2,156	2,461	2,635	2,753	2,872	3,108	3,335
増減±		55.4%	14.0%	7.3%	12.1%	6.1%	4.5%	14.1%	7.1%	4.5%	4.3%	8.2%	7.3%

出典: 中国港湾集装箱網

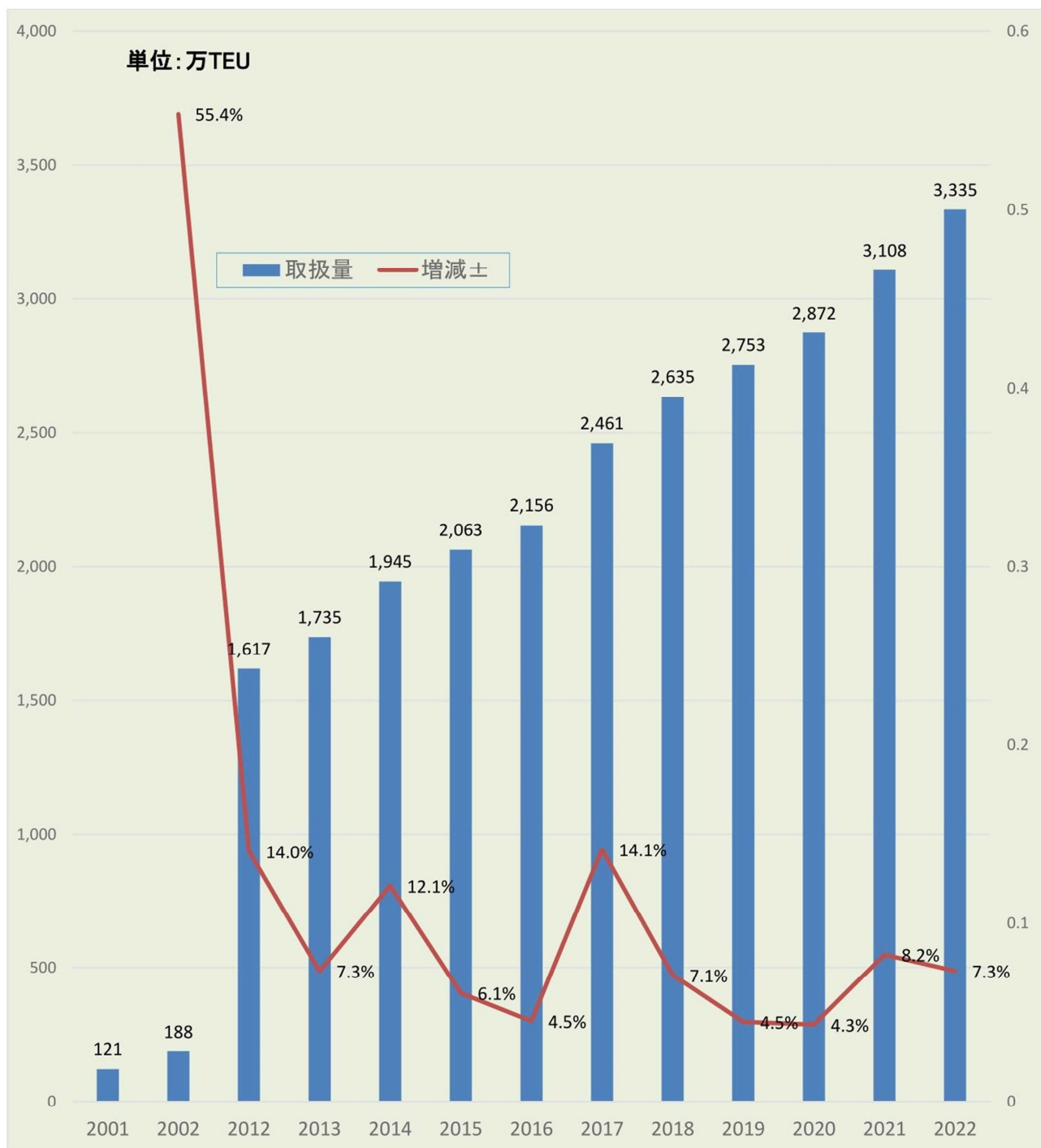
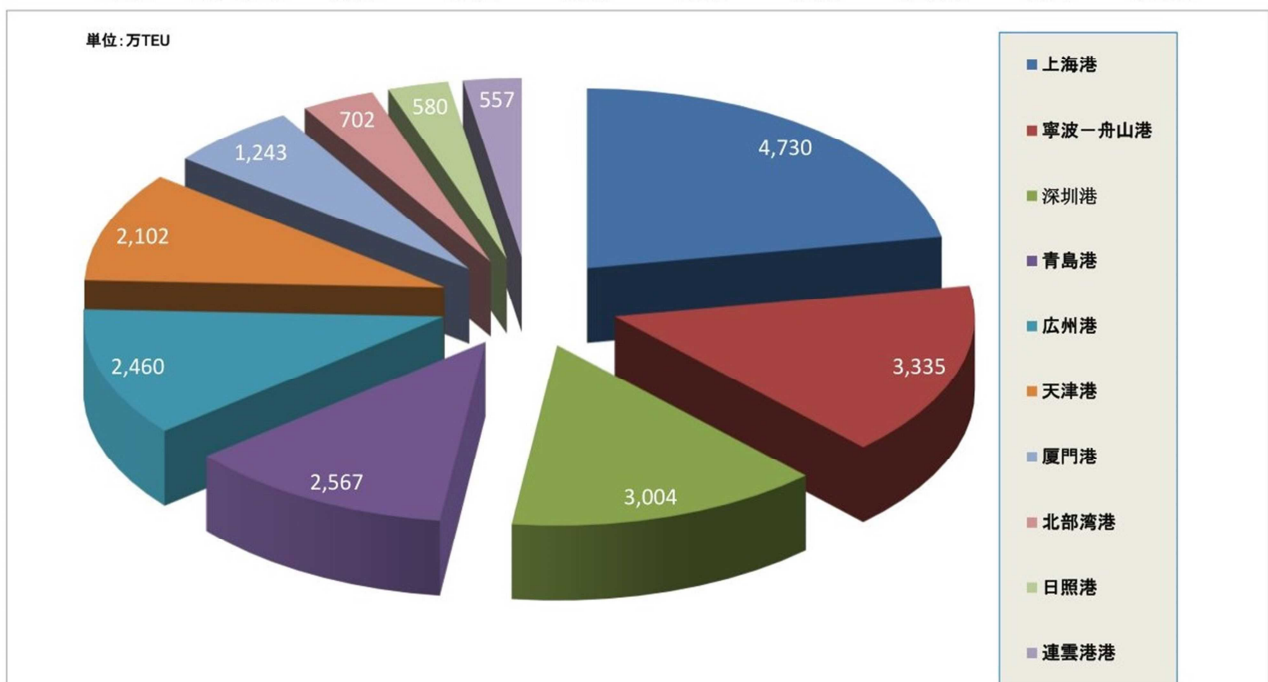
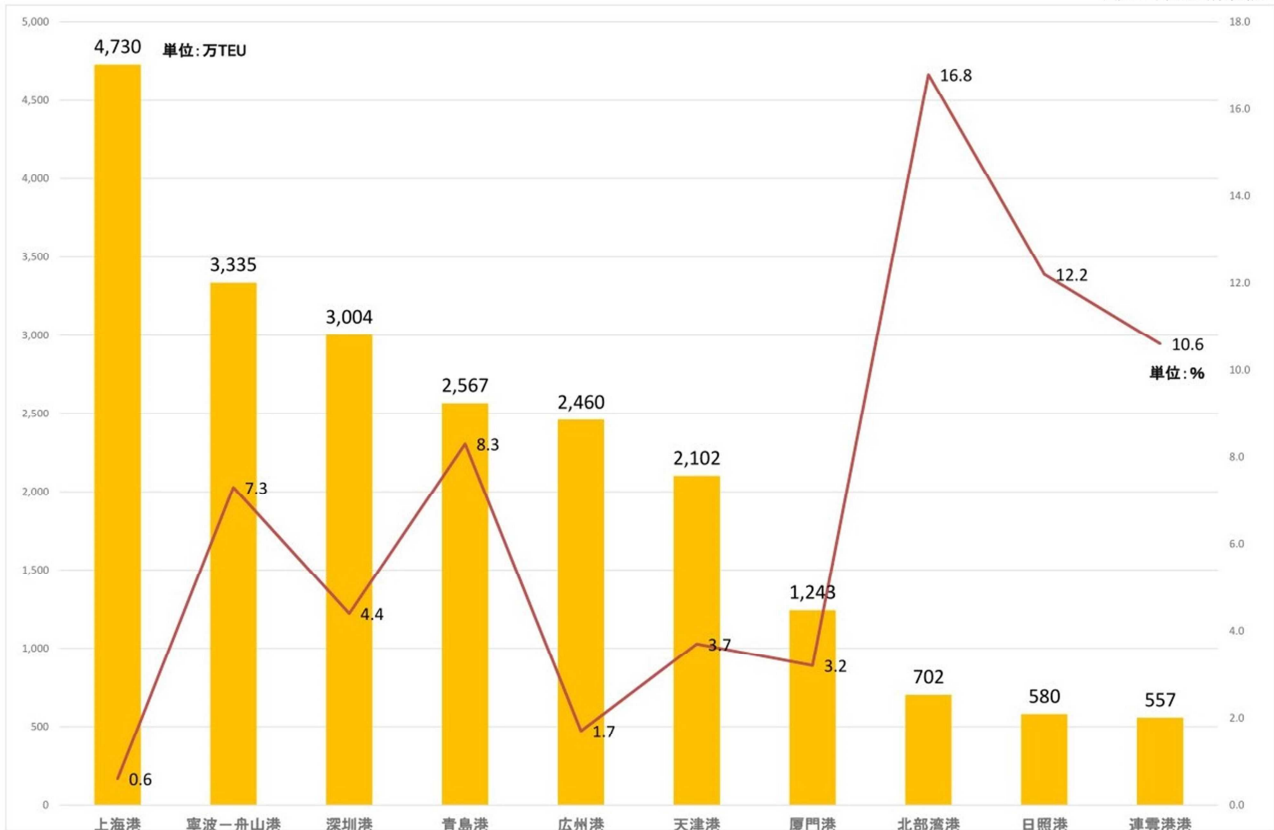


表2 主要港湾コンテナ取扱量の推移

単位:万TEU		上海港	寧波-舟山港	深圳港	青島港	広州港	天津港	厦門港	北部湾港	日照港	連雲港港
2022年	取扱量	4,730	3,335	3,004	2,567	2,460	2,102	1,243	702	580	557
	対前年比(%)	0.6	7.3	4.4	8.3	1.7	3.7	3.2	16.8	12.2	10.6
2021年	取扱量	4,703	3,108	2,877	2,371	2,418	2,027	1,205	601	517	502
	対前年比(%)	8.1	8.2	8.4	7.8	4.4	10.4	5.6	19.0	6.4	4.8

出典：中国港湾集装箱網



Ⅱ 最新經濟動向

Ⅱ 最新経済動向

1. 上海市の「ロックダウン(都市封鎖)」の影響

(1) 経済活動に多大な影響

2022年3月末から5月末にかけて続いた上海市の「ロックダウン(都市封鎖)」は、上海市が中国最大の経済、工業、金融、対外貿易、海運の中心都市でもあることから、市民2,490万人に影響しただけではなく、全中国の14億人が、ひいては全世界の注目を集めた。

「以商興港、由港興市(経済で港湾を繁栄、港湾で都市を繁栄)」と言われるほど、港湾で台頭する都市としての上海市は、例えば、2021年に上海港のコンテナ取扱量は4,700万TEU、12年連続で世界第1位となっていることから、世界のサプライチェーンの中で非常に重要な位置にある。同年、長江デルタ地域の企業は上海港を通じて8兆1,800億元(約148兆2,216億円)の輸出入を行い、上海港の輸出入総額の約81%を占めていることから、長江デルタ経済圏は上海市に立脚していることがわかる。

長江デルタ地域と上海市とは、「唇と歯」のような、切っても切れない関係で互いに依存しているだけでなく、中国経済と上海市の密接度も想像を超えている。輸入から言えば、中国が輸入する約70%の時計、約60%のアパレル、約50%の化粧品・医薬品・医療機器、約30%の自動車・ダイヤモンド・ワイン・乳製品は、上海港を経て中国の消費者の手に渡っている。

上海市の域内総生産(GRP)は、長年にわたって中国の都市トップに立ってきた。2021年の上海市の域内総生産(GRP)は4兆3,200億元(約78兆2,784億円)になり、1人当たり平均域内総生産(GRP)17万3,600元(約314万5,632円)は、江蘇省の1人当たり平均域内総生産(GRP)の1.26倍、広東省の1.77倍に相当する。また、上海市で一般的に知られているのは「国際金融センター」の地位である。2021年、数多くの金融市場と金融機関が集積する上海市の金融市場の取引総額は2,500兆元(約4京5,300兆円)を超え、上海市は、中国経済を支える資金という「血液」を送り出す「心臓」のようなポンプの機能を担っている。

ロックダウンにより、上海市が陥った心肺機能停止状態は中国全体の輸出入に大きな影響を与え、長江デルタ地域にとっても、中国経済全体にとっても大きな打撃を受けた。上海市では、新型コロナを封じ込めるためのロックダウン措置が2022年3月から

続き、主要な経済指標が軒並み大幅に悪化した。上海市統計局の公表データによると、2022年4月の工業生産額は前年同月比61.6%減、1,364億1,700万元(約2兆4,718億円)、また同月の消費品小売総額も同48.3%減、716億9,700万元(1,299億1,496億円)だった。

その間、人の移動・往来も厳しく制限され、多数の企業が営業や生産の停止に追い込まれた。上海市に依存度が高い周辺都市は、その影響でほとんどゼロ成長かマイナス成長になった。中国人民銀行のデータによると、2022年4月の融資残高は、上海市だけではなく、中国全土で顕著な減少を見せた。

(2) 日系企業を含む企業活動へも連鎖反応

上海市とその周辺は、世界のサプライチェーン(供給網)の一角を担う重要な拠点である。その生産と物流が2カ月ほぼ停止した打撃は甚大であり、日本の自動車メーカーも減産を余儀なくされ、日本の家電販売店でも洗濯機、エアコン、冷蔵庫等の在庫が品薄になった。上海市は、2022年4月16日に「上海市工業企業操業再開防疫対策ガイドライン(第1版)」(その後5月3日に第2版に更新)を出すと共に、自動車、医療・医薬、半導体等、操業再開を認める重要企業666社のホワイトリストを発表し、その後も条件を満たした企業について操業再開を順次認めていった。しかしながら、上海日本商工クラブの調査によると、操業許可が下りている企業は37%にすぎず、また稼働している工場についても通常の3割以下の生産にとどまっている。取引先(サプライヤー及び納入先)の稼働状況や物流の影響のほか、従業員の工場出勤には、居住地管轄の居民委員会に許可が必要であり、その上で操業再開の前提として求められる「閉環」管理の条件、例えば従業員を工場の敷地内にて寝泊まりさせ、PCR検査を毎日実施する等の要件を満たすことも求められたことなどが、企業の本格的な稼働再開に向けたハードルになった。

(3) 国内産業・地域への影響

上海市のロックダウンは、物流サプライチェーンの寸断・停滞が深刻になり、その影響は中国全土に広がり、自動車関連のサプライチェーンにおいても同様に停滞した。上海市と、浙江省、江蘇省等隣接周辺地域は「唇と歯がまっ青になる」ような状態になり、長江デルタ経済圏全体の景気が冷え込んだため、大きな影響を受けた。上海市経済の動向は、浙江省、江蘇省等隣接の周辺地域、長江デルタ地域、更には中国全体にとっても最も重要であることを実感する機会となった。

① 業界レベルでの影響

業界の面から見ると、上海市では、機械修理、リースサービス、配送・保管、石油コ

ーキング、居住者向けサービスが高い割合で利用されている。その中で、機械修理、リースサービス、配送・保管業はそれぞれ 11.0%、7.9%、5.1%が上海市で利用されている。したがって、上海市のロックダウンは、この業界に対して大きな影響を与えた。

リースサービス、機器配送、機械修理、科学研究、技術サービスは、上海市からの供給に依存しているため、上海市のロックダウンに対して最も脆弱であることが露呈したと言える。リースサービスでは売上に占める上海市からの供給比率が最も高く、約 6%に達する。機械機器業界では、上海市からの供給が売上に占める割合は 5.2%を占めている。自動車関連企業も上海市からのサプライチェーンの停滞に高い懸念を示した。機械修理、科学研究、技術サービスでは、総生産量に対する上海市からの供給量の比率はそれぞれ 4.8%、4.6%、3.8%を占める。上海市の化学製品、配送機器、卸売・小売、配送・倉庫保管、金融・リースのビジネスサービスは、中国の様々な産業の生産に利用されている。

② 地域レベルでの影響

浙江省、北京市、山西省、遼寧省、吉林省の上海市向け中間製品の生産量は、総現地生産量の高い割合を占め、上海市の需要に大きく依存していることを示している。その中で、吉林省、浙江省、北京市が上海市で使用する中間製品の生産量はそれぞれ現地総生産量の 1.8%、1.2%、0.9%を占めている。

浙江省から見ると、浙江省の非金属鉱物製品産業は、上海市の需要に大きく依存している。浙江省の非金属鉱物製品産業で使用される上海市の中間製品は、売上の 28.5%を占めている。更に、浙江省の他の製造業や石油コークス産業も上海市の需要に大きく依存している。

北京市から見ると、北京市の石油とガスの探査、水道、機械修理産業は、上海市の需要に大きく依存している。その中で、上海市の石油・ガス探査、水産業、機械修理産業に使用される中間製品は、それぞれ総生産量の 7.9%、5.0%、4.5%を占めている。

上海市からの供給は、北京市、新疆ウイグル自治区、浙江省の総生産量のそれぞれ 2.3%、2.1%、1.8%を占めている。北京市から見ると、北京市の技術サービス産業、輸送機器産業、健康福祉産業はいずれも上海市からの納入に大きく依存している。上記の3つの供給のうち、上海市からの納入はそれぞれ 4.3%、4.2%、3.5%を占めている。新疆ウイグル自治区から見ると、新疆ウイグル自治区の設備製造業は上海市の供給に大きく依存している。このうち、納入設備、一般設備、特殊設備の供給と産出のうち、上海市からの供給の割合はそれぞれ 7.1%、5.1%、4.5%である。浙江省から見ると、

浙江省の輸送機器、金属製錬、計装産業は、上海市からの供給に大きく依存している。上記の3つの産業の生産量に占める上海市からの供給の割合は、それぞれ5.1%、3.2%、3.1%に達している。

(4)上海市経済、その後3カ月でV字回復

長期にわたって経済総量の第1位を占めてきた上海市は、約2カ月間のロックダウンで、3億元の差で初めて北京に逆転された。しかし、北京のトップはわずか3カ月しか続かなかった。第3四半期の都市の域内総生産(GRP)ランキングでは、上海市は3兆元(約54兆円)の成績で再びトップに戻り、2位の北京を1,000億元(約1兆8,000億円)以上リードした。

わずか3カ月で、上海市の経済はどのように急速に回復したのか。中国経済の長期的な牽引役として、他の都市に比べて産業構造上いったいどんな優位性があるのか。北京市や他の都市は再び上海市の地位に挑戦する機会があるのだろうか。上海市のどの産業が高速で回復したのか。

上海市が約2カ月間のロックダウンで、1つの大都市の経済発展が大きく下振れしたことは言うまでもない。2021年、上海市の年間域内総生産(GRP)は4兆3,215億元(約78兆3,055億円)、北京市は4兆270億元(約72兆9,692億円)、双方の差は2,945億元(約5兆3,364億円)だった。しかし、ロックダウンの影響は上海市だけではなく、北京市もその後数カ月同様の影響を受けたが、その影響は上海市よりずっと小さい。北京市は約3,000億元(約5兆4,000億円)しかリードしておらず、上海市は巨大な経済マスで短期的にこの差を埋めるのは確かに難しいことではない。上海市の基幹産業である高機能装備製造業や金融業はロックダウンの影響を受けにくく、ロックダウン後、速やかに回復することができたとみられる。経済成長率を比較すると、北京の第3四半期のGRP成長率は0.8%増で、上半期より0.1%増、上半期に上海市を上回ったのは北京市経済が成長したからではなく、上海市が下落したにすぎない。

上海市の年間域内総生産(GRP)の産業構造を見ると、工業が23%と最も占めていることが改めてわかった。ロックダウン期間、上海市の自動車工業の停滞は、一時、中国自動車の「生産停止論」を投げかけた。しかし、伝統的な製造業は上海市全体のロックダウンの中で比較的影響を受けない業界であり、ロックダウン後の回復が最も速い分野であった。データによると、ロックダウン後の上海市の工業生産額は既に4カ月連続の増加を実現し、同時に第3四半期の規模以上の工業増加値は前年同期比14.9%増加し、そのうち9月の工業総生産額は4,041億元(約7兆3,226億円)に達し、過去最高を記録した。

もう一つは、急速に回復している業界は金融センターとしての金融業界である。金融の上海市と言われ、域内総生産(G R P)の伸びは2011年の11%から20%近くに上昇している。ロックダウン後、864の金融機関や証券会社は他に先駆けて営業を再開している。今年1月から8月までの上海市のクロスボーダー人民元決済※1)の額は13兆1,000億元(約370兆584億円)で、中国第1位を維持し続けている。また、2022年のほとんどの業界がマイナス成長にあることを背景に、上海市の金融業界は6.2%の成長率を維持した。第3四半期の上海市では、情報伝送ソフトウェア・情報技術サービス業、広義のインターネット業界もプラス成長していた。近年、上海市では「コラージュ」、「小紅書」、「B 駅」等大手インターネット企業が誕生し、ロックダウン後、上海市の経済を取り戻すための大黒柱となった。上海市は、再び活気ある「上海灘」(シンボル)を取り戻した。2カ月間の上海市のロックダウンで「回復的消費」の速度はあまり速くないと予言したメディアがあったが、9月までに上海市の社会消費財小売総額はプラス成長になり、当地経済が好転していることが証明された。

[注釈]

※1)クロスボーダー人民元決済:基本的に通貨の流通循環プロセスに基づいて制定され、国境を越えた取引および国境内の取引において人民元が流通・決済されること。

[出典]

- ・経済情勢報告網:上海疫情对国内行业和区域的影响分析 2022-06-07(上海のコロナ禍の国内業界と地域への影響分析 2022-06-07)を引用、編集
- ・投資者網 HP 記事:投資者網上海疫情对中国经济影响有多大? 2022-04-11(投資家網の上海のコロナ禍、中国経済に与える影響はどれくらいか。2022-04-11)を引用、編集
- ・聯合早報記事:上海G R P 第二季萎缩近14% 第一经济大市排名输给北京 2022-07-11(上海G R P 第2四半期14%近く縮)

2. 浙江省の越境EC最前線

(1) 浙江省の電子商取引(EC)概要

① 越境ECが急成長

浙江省商務庁発行の『2021 浙江省 EC 発展報告書』によると、浙江省は、越境 EC を対外貿易の競争力を高め、貿易取引の成長を加速させる重要な方法と位置づけ、自由でオープンで包括的な「グローバルトレードプラットフォーム」の構築を目指している。2021 年、浙江省の越境 EC の輸出入は前年比 30.7%増、3,302 億 9,000 万元(約 5 兆 9,848 億円)になり、全国の約 1/6 を占めた。そのうち、輸出は前年比 39.3%増、2,430 億元(約 4 兆 4,031 億円)になった。浙江省の主な第三者プラットフォーム※1) 上のネットショップは 14.9 万店舗に達し、2020 年末より新たに 3 万店舗増えている。

浙江省の国内取引・EC、海外取引・越境 EC といった電子商取引は、EC 事業者の継続的な増加、販売規模の急速な拡大、産業チェーンの継続的な改善、多角的な経営動向の改善、地域集積群の形成、様々な実験実証事業の実施により、電子商取引の発展レベルは全国トップレベルとなっている。

② 「越境 EC + 産地製造」の実験実証

2021 年、浙江省は産業クラスター形成と結び付けた越境 EC 実験実証事業を開始し、省内各市では、「越境 EC + 産地製造」の産業クラスター事業を推進している。例えば、金華市(義烏)は日用雑貨品産業クラスター、金華市(永康)は金属部品産業クラスター、湖州市(安吉)はエコホーム産業クラスター、温州市(平陽)はペット用品・皮革製品・マッサージ器具産業クラスター等がある。

③ 第三者越境 EC プラットフォーム

第三者越境 EC プラットフォーム(ネットモール)は、浙江省の主要越境 EC 販売ネットショップチャンネルであり、総売上高の約 95%を占め、トップ 5 の第三者越境 EC プラットフォームは、「速売通(AliExpress)」、「eBay」、「Amazon」、「wish」、「敦煌網(DHgate)」である。もう 1 つは、自社構築プラットフォームを通じた EC 企業による越境 EC 販売であり、ネットショップチャンネル販売の割合は約 5%であり、代表的な企業に「全麦(Whole Again)」、「執御(Jollychic)」等がある。

④ 越境 EC に次々参入

EC 事業者から見ると、陶宝(Taobao タオバオ)の国内 EC 事業者や、伝統的な外国貿易企業も越境 EC 事業に次々に参入し始めた。また、伝統的な製造・製造企業は、特

に外国貿易、EC小売の基盤を持つ独自の外国貿易ネットショップチャンネルを構築するために、越境EC企業を利用している。越境ECの運用経験に依拠して、産業クラスターと組み合わせて、越境ECをワンストップサービスで提供し始めている。

商品種別から見ると、①アパレル・靴類・バッグ、②ホームリビング・日用品、③3Cデジタル商品(パソコン、携帯電話、家電)の商品は、それぞれ38.4%、16.7%、10.7%を占め、ネット小売売上高の65.8%を占めている。販売地域は、米国、ヨーロッパ、ロシア、ブラジル等200の国・地域に広がっている。

越境ECの物流方法は、第1は、国際速達便、航空小包等を通じて郵便配達を行い、税関申告を経て、越境ECの輸出9,610項目の下で統計に含まれる。第2は、国際一般貨物輸送を通じて「海外倉庫」に輸送し、その後、物流企業からバイヤーに配送する。第3は、国際宅配便、小包、その他の国際郵便の手段を通じてバイヤーに直接配送する方法であり、これは現在、物流の最大のシェアとなっている。

(2) 浙江省の越境ECの特徴

① 越境ECの市場主体が拡大

2017年末までに、省内には「速売通(Aliexpress)」、「wish」、「eBay」、「Amazon」等大手企業の越境ECプラットフォームがあり、67,000の輸出アクティブオンラインショップが様々なカテゴリを持っている。また、国内最大の越境ECプラットフォームである速売通(Aliexpress)、杭州全麦(Whole Again)、杭州子不語(Zubuyu)、義烏潘朶(Pando)、義烏聚貿(Jumao)等に代表される越境ECのリーディングカンパニーが出現している。越境EC産業チェーンのリーディングカンパニーである阿里巴巴(Alibaba)、義烏聚貿(Jumao)、敦煌網(Dunhuang)等が「インターネット+越境EC+中国製」のビジネスモデルを提供し、「生産チェーン+貿易チェーン+バリューチェーン」を構築し、経済変革の原動力になっている。

② 越境EC事業者の集積化が顕著

2015年、国務院は杭州市に中国(杭州)越境EC総合試験区の設置を承認し、2016年には、寧波市が杭州市に次いで越境EC試験区の設置を承認した。杭州市と寧波市の統計によると、2017年の越境EC取引額はそれぞれ99億3,600万ドル(1,310億4,590万円)、93億8,600万ドル(約1,237億9,195万円)で、輸出はそれぞれ70億2,200万ドル(926億1,315万円)、82億2,200万ドル(約1,084億3,995万円)となった。

浙江省の産業クラスター+EC事業開発は大きなメリットがあり、現在、余杭区、義烏市、その他省内25の県(県級市、区)は、地元の産業特徴を利用して、速売通

(Aliexpress)、アマゾン等のプラットフォームと協力して、越境EC事業を推進している。また、産業クラスター企業＋EC事業群を立ち上げ、販売ネットショップチャンネルを拡大し、浙江省の製造とブランドを世界に広げている。産業クラスター＋越境EC開発実証事業エリアでは、2万人以上の越境EC人材を育成し、越境EC企業5,000社以上が起業し、輸出額は720億元(約1兆3,046億円)となった。

③ 決済支援システムが改善

越境EC企業、第三者取引プラットフォームに加えて、越境ECのサービスプロバイダーも台頭し、国際物流クーリエ、貨物フォワーダーは越境ECをサポートするビジネスを開始した。また、杭州呼嘯(Pingpong)、連連銀通(Lianlian)等の域内・越境取引決済機関も急速な成長があり、中国招商銀行、貝付、深圳錢海等が越境ECの外国・越境取引決済業務を行っている。

「海外倉庫」、「物流在線(ロジスティックオンライン)」等に代表される新しい物流業態が出現した。例えば、「四方」、「専用線宝」といった企業がグローバル倉庫配置、オンラインショッピング運用支援、柔軟な物流ソリューション、高度なシステム管理、便利な流通保証、プラットフォームの相互作用をサポートし、EC販売のフロントランナー事業者を後方支援している。浙江省は、21の地方公共・海外倉庫、60以上の県級市・県にEC公共サービスセンターを構築している。2017年、浙江省商務庁は省全体の越境ECサービスシステムの構築に関する通知を出し、優れた越境ECサービス企業を選定・奨励し、育成を強化している。

④ 産業規模・発展に大きな潜在力

産業規模では、越境EC発展の潜在力は大きく、越境ECの対外貿易の変革とアップグレードの牽引的な役割が顕著になった。具体的には、メイドインチャイナ、アップグレードによるブランド、ネットショップチャンネルの構築であり、併せて浙江省の産業(主に軽工業製品)の特徴と越境ECの機能が組み合わせられた市場開拓、市場参入の機会が大幅に拡大している。

⑤ 越境ECのサービスシステム

越境ECのB2Bプラットフォームは、情報プラットフォームから取引プラットフォームにアップグレードされている。越境ECの小売は、世界中の消費者や企業が「グローバルに購入し、グローバルに販売する」ことをより自由で便利なものにするに役立っている。従来のモデル(M2B2B2C)は、C2B、またはC2M※2)にシフトし、今後は情報の非対称性に依存する従来の中間リンクは排除されていくとみられる。生産企業は、市場(消費者)のリアルタイムのニーズに応じて、カスタマイズされた

柔軟な供給を実現するために、市場(消費者)と直接接続し、グローバルなECプラットフォームと専門のサービスプロバイダーに依存した、生産とサービスのシナジーエコシステムのネットワークを形成しつつある。ビッグデータ、クラウド等を利用した越境ECのプラットフォームを中心に、越境ECを支える越境金融サービス、越境ロジスティクスサービス、外国貿易統合サービス、越境ECデリバティブサービス(代理運用、検索キーワード最適化、人材トレーニングコンサルティング等)が急速に発展していくことが予測される。

(3) 中国の輸入食品事情に変化

① 中国は世界から輸入

中国のグローバル貿易の自由化と円滑化にともない、中国市場の巨大な消費の可能性は世界から益々注目を集めている。高品質で費用対効果の高い製品に対する中国消費者の需要が益々高まっている。穀物、食肉、乳製品、植物油等の食品は、輸入に依存している。肉類と製品、水産物とその製品、乳製品が中国の食品輸入の上位3品目であり、その中で、肉類とその製品の輸入は急速に伸び、輸入額は前年比60.6%増、303.4億ドルを超え、中国の総食品輸入の28.2%を占めた。穀物・製品、果物・製品の輸入も初めて「100億ドル圏」の規模になった。

品目別では、中国食品輸入の構成が大きく変化し、2012年に中国が輸入した上位5品目は、①植物油、②水産物とその製品、③食糧と製品、④乳製品、⑤肉類と製品の順だったが、2021年は中国が輸入した上位5大輸入食品品目は①肉類と製品、②穀物と製品、③水産物と製品、④乳製品、⑤果物と製品の順だった。肉類と製品の10年平均複合成長率は25.3%に達し、雑穀、果物、製品は急速な成長傾向を示している。

2021年の中国の輸入食品の供給国・地域は181に及び、中国が上位10カ国から輸入した食品輸入額は食品輸入総額に占める割合は前年の58%から62.2%に上昇した。2021年の中国の各種食品輸入の供給国・地域のうち、地域別で見ると、輸入額の上位3位はアジア(前年比31.6%増、輸入額368.4億ドル、4兆8,580億円)、欧州(前年比13.2%増、輸入額325.1億ドル、4兆2,870億円)、南米(前年比19.6%増、輸入額244.8億ドル、3兆2,281億円)で、輸入額の前年比増加が最も高かったのは北米(前年比61.8%増、輸入額は234.7億ドル、3兆949億円)だった。国別で見ると、輸入額の上位3位は、米国(前年比90.9%増、輸入額174.7億万ドル、2兆3,037億円)、ニュージーランド(前年比26.3%増、輸入額104.1億万ドル、1兆3,747億円)、ブラジル(前年比14.1%増、輸入額104.4億万ドル、1兆3,767億円)である。

省・市別で見ると、輸入額の上位3位は広東省(前年比21%増、輸入額257.6億ドル、

3兆3,967億円)、上海市(前年比16.2%増、輸入額230.6億ドル、3兆409億円)、北京市(前年比55.8%増、輸入額173.6億ドル 2兆2,892億円)で、上位10省で輸入額の合計は87.9%を占めた。輸入額上位10省・市のうち、輸入額が前年比で最も伸びたのは北京市である。

果物を例にとると、消費者は、従来、価格を気にして国産果物、常温保存を好む傾向から、最近では賞味期限の短くても高価な輸入果物への需要が高まってきている。例えば、世界最大のサクランボ消費市場として、中国市場のサクランボの80%以上がチリ産である。毎年11月から翌年2月にかけてサクランボの消費のピークで、春節や旧正月の時期、特に消費ニーズが活発になる。

② 輸入食品が伸びている要因

ア 輸入貿易の環境は改善され、中国の農産物に対する平均輸入関税が20年前の23.2%から、現在15.2%に低下した。多くの輸入食品が中国市場にアクセスしやすくなっている。

イ 輸入食品に対する輸入業者の品質に対する意識と消費者の信頼が高まっている。2021年、中国は「輸入食品安全管理弁法」や「輸入食品海外生産企業登録管理規則」等を公布し、輸入食品の中国市場アクセスや規制・緩和措置が整備された。

ウ 輸入食品の消費の向上が進んでいる。コロナ禍が中国の消費者の健康意識の覚醒を加速させ、輸入食品EC事業者は、食事の栄養バランス、人間の免疫力、睡眠の質的改善等、次々と「人気のある製品」を輸入している。最近のトレンドとなっているライブ放送方式の越境ECの手法は、国を越えたサプライチェーンをより迅速化かつ透明化にさせ、輸入食品の消費は主流になってきている。

③ まだ少ない日本産食品

農林水産省が発表したデータによると、2021年の日本の中国向け食品輸出総額は2,224億円(18.3億ドル)に達し、2020年より35.2%増加し、初めて中国の香港と米国を抜いて日本の輸出先のトップに躍り出た。2021年の農林水産物・食品の輸出額は前年比25.6%増、過去最高の3,520億円(102.3億ドル)に達した。米国と中国の経済は新型コロナウイルスから回復し、外食需要が伸び、円安による日本産食品の低価格感や国際ECの拡大が影響している。国・地域別に見ると、中国は35.2%増の2,422億円(18.4億ドル)に達し、2001年以来初めて首位に躍り出た。中国で人気のウイスキーや日本酒、菓子等が後押ししたとみられる。2位は中国・香港で6%増の2,479億円(18.8億ドル)、3位は米国で41%増の1,965億円(14.9億ドル)である。

2021年の日本の中国向け食品のうち、上位3品目は、水海産物と製品(輸入額は前年

比 67.4%増、4.21 億ドル(555 億円)、2021 年の日本の中国向け食品輸入総額の 29.8%を占める)、雑食品※3) (輸入額は前年比 26.6%増、3.78 億ドル(498 億円)、同 26.7%を占める)、酒類(輸入額は前年比 62.99%増、1.85 億ドル (240 億円)、同 13.03%を占める)だった。食料と飲料はそれぞれ 4、5 位だった。日本の中国向け食品の品目は比較的集中しており、上位 5 位の輸入額の合計は 2021 年の日本の中国向け食品輸入総額の 88.9%を占めている。

農林水産物は、中国が日本から最も多く輸入しているのは食品類であるが、中国の日本への輸入依存度は決して高くはなく、中国の農林水産物・製品は、エクアドル、ロシア、カナダ等が主要供給地であり、上位 10 位の供給地の輸入額は 72.1%に達し、日本は 10 位以外で、輸入総額も 2.9%にとどまっている。

2021 年、中国の日本食品輸入額の省別上位 3 位は、浙江省(前年比 10.4%増、輸入額は 2.67 億ドル (約 3,520 億円)、2021 年の日本からの中国食品輸入総額の 18.8%を占める)、上海市(前年比 39.2%増、輸入額は 2.3 億ドル (約 3,072 億円)、同 16.4%を占める)、山東省(前年比 70.5%増、輸入額 1.44 億ドル (約 199 億円)、同 10.1%を占める)である。

今後、地域間での食品輸出入において着目すべき点は、2022 年 1 月から正式に発効した「地域包括的経済パートナーシップ協定」(RCEP)であり、日本・中国・韓国間で初めて直接的な自由貿易圏関係を構築したことである。RCEP は日本・中国・韓国間の貿易、投資一体化のプロセスを加速させることが期待され、地域間の相乗効果も大幅に強化されるとみられる。

【注釈】

※1) 第三者プラットフォーム：アリババ等大手が運営するネットモールサイト。中国の電子商務法により、EC 店舗開業の際に、ICP 登録と ICP ライセンスが必要となるが、第三者プラットフォームを利用する場合、不要となる。「跨境電商」：越境 EC、つまり国境を越えて通信販売を行うオンラインショップを指す。中国では、「跨境」は国境を跨る、国境を越えるという意味で、「電商」という単語は、業界内で「電子商務(EC)」を略し、この 2 つを合わせた「跨境電商」が使われている。

※2) 従来のモデル(M2B2B2C)はC2B、またはC2M：C2B—Customer to Business(企業と消費者の間で行われる)の電子商取引ビジネスモデル。C2M—Customer-to-Manufactory(顧客から工場へ)の略で、顧客から工場への電子商取引で、「短絡経済」とも呼ばれ、メーカーと消費者の両方に接続され、在庫、物流、一般販売、流通など、中間リンクを短絡してコストを削減するモデル。

※3) 雑食品：コーヒー、お茶、マテ茶等の濃縮精汁と製品、酵母、ベーキングパウダー等、調味料スープの素等の混合食品、アイスクリーム等の氷製食品、その他品目が明記されている食品。

[出典]

- ・『2021 浙江省 E C 発展報告書』(浙江省商務庁発行)を引用、参照。
- ・『2022 年中国進口食品行業報告』(「2021 年中国輸入食品産業報告」)を引用、編集
- ・全球貿易觀察(グローバル貿易觀察)を引用、編集
国際商報：哪些進口食品最受中国消費者歡迎？2021-12-07(中国の消費者に最も人気のある輸入食品は何？ 2021-12-07)を引用、編集
- ・進口食品服務平台(輸入食品サービスプラットフォーム)HP 記事を引用、参照
- ・国際商報《以隣为合，RCEP 助力日本經濟復蘇 2022-03-04》、(国際商報「近隣国と和して、RCEP が日本經濟の回復を支援する 2022-03-04」)を引用、編集
- ・環球時報《中国首次成為日本食品最大進口国-2022-02-07》環球時報「中国が初めて日本食品の最大輸出相手国になった 2022-03-04」を引用、編集
- ・農林水産省HP 「2021 年の農林水産物・食品の輸出実績」のデータを引用、編集

※ 図表で解説 ※

浙江省の越境E C/中国の海外からの輸入食品

表 1 2021年地域別 EC小売輸出の状況

	EC小売輸出(億元)	EC小売輸出(億円)	比率	前年比±	省内順位
浙江省	25,230.3	3,327,120	100.00%	11.60%	
杭州市	9,951.5	1,312,304	19.3%	—	1
寧波市	2,814.2	371,109	9.1%	—	3
温州市	2,199.8	290,088	9.1%	—	4
嘉興市	2,057.6	271,336	0.4%	—	5
湖州市	966.3	127,426	1.7%	—	7
紹興市	856.5	112,947	1.6%	—	8
金華市	3,955.3	521,585	55.1%	—	2
衢州市	504.0	66,462	0.6%	—	10
舟山市	106.5	14,044	0.2%	—	11
台州市	1,227.3	161,844	1.9%	—	6
麗水市	591.1	77,948	0.9%	—	9

出典：「浙江省越境EC発展報告（浙江省商務庁）」

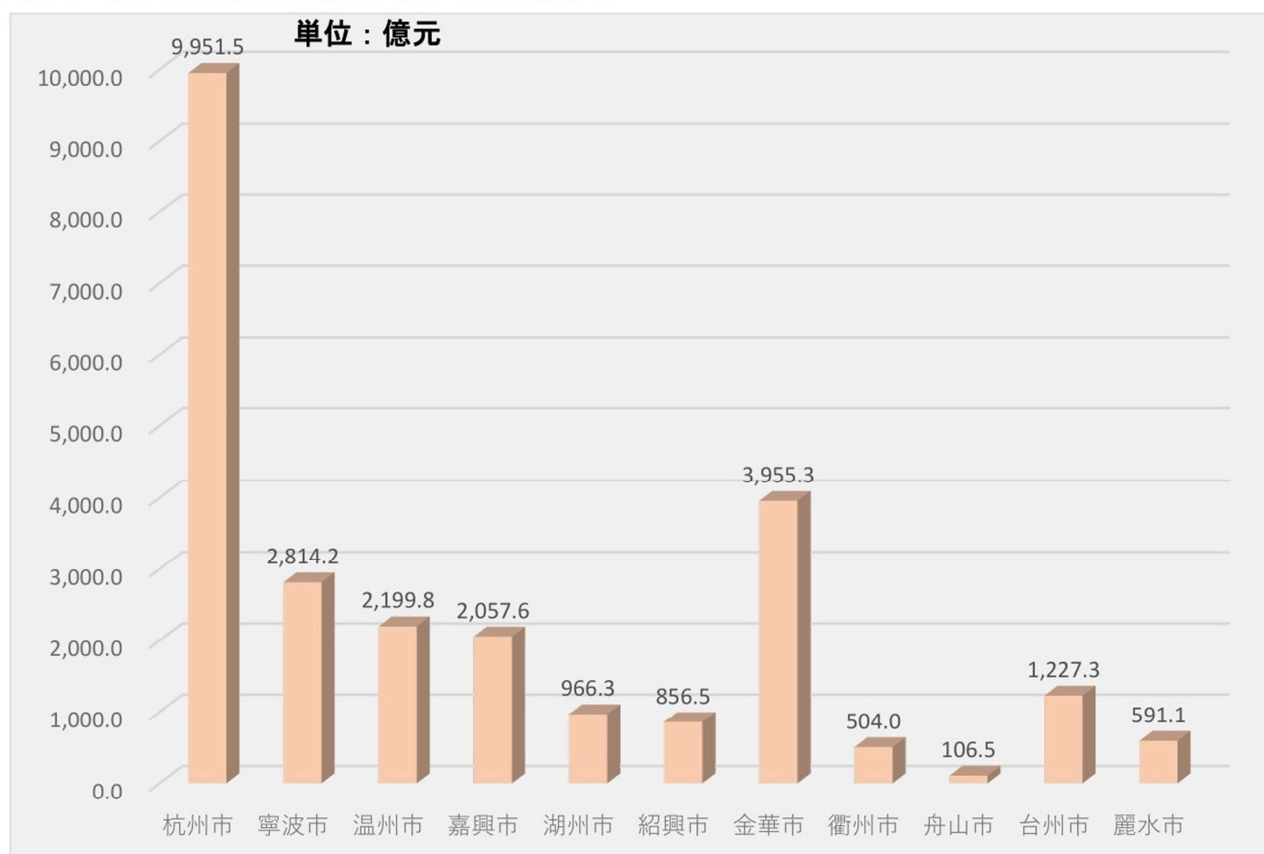


表2 2021年地域別の越境EC小売輸出の状況

	越境EC小売輸出(億元)	越境EC小売輸出(億円)	割合	前年比± (%)
浙江省	1,023.0	134,903	—	31.6
杭州市	236.4	31,174	19.3%	40.9
寧波市	119.8	15,798	9.1%	56.3
温州市	101.6	13,398	9.1%	38.8
嘉興市	7.0	923	0.4%	95.1
湖州市	23.2	3,059	1.7%	74.4
紹興市	20.8	2,743	1.6%	59.9
金華市	474.3	62,546	55.1%	18.0
衢州市	6.1	804	0.6%	32.3
舟山市	1.3	171	0.2%	7.9
台州市	23.3	3,073	1.9%	55.6
麗水市	9.1	1,200	0.9%	35.4

出典：「浙江省越境EC発展報告（浙江省商務庁）」



表3 2021年の各種産業におけるネットワーク小売の基本状況

業種	ネット小売(億元)	ネット小売(億円)	割合
ドレス・シューズバッグ	8,038.7	1,060,063	37.5%
ホームセンター	4,398.2	579,991	17.7%
3Cデジタル	3,981.3	525,014	13.1%
母子用品	2,169.4	286,079	8.5%
美容スキンケア	1,867.8	246,307	7.9%
食品衛生	1,421.3	187,427	4.6%
スポーツ アウトドア	1,102.5	145,387	3.9%
ライフサービス	607.6	80,124	2.4%
自動車・アクセサリ	462.1	60,937	1.8%
文化・娯楽	389.9	51,416	1.2%
その他	257.0	33,891	1.3%
小計	19,773.0	2,607,466	

出典：「浙江省越境EC発展報告（浙江省商務庁）」

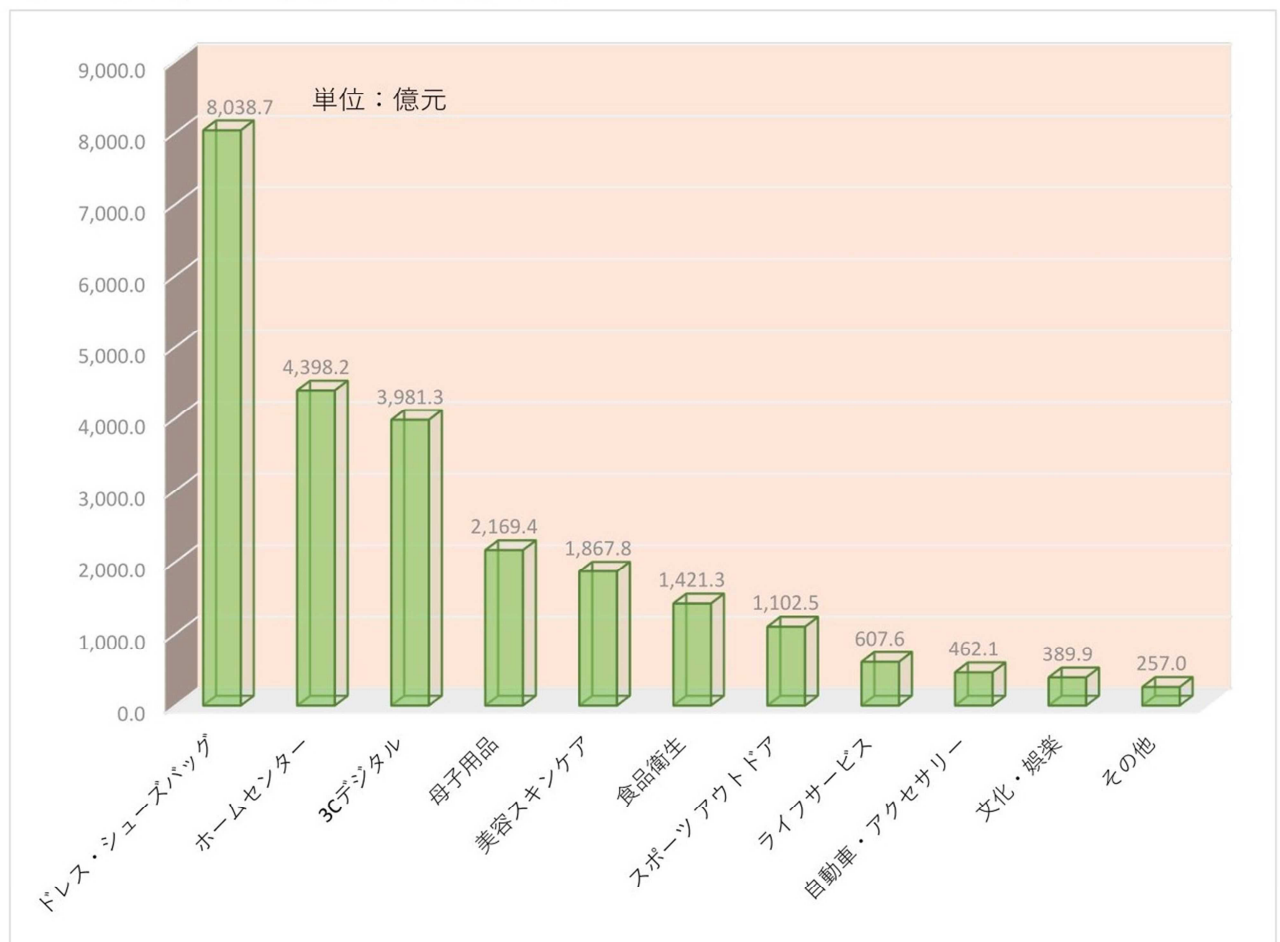


表4：2021年の日本の食品輸出先の占める金額と割合

	国・地域	金額(億ドル)	金額(億円)	増減± (%)
1	中国	18.37	2,422	35.2
2	香港	18.08	2,384	6.0
3	米国	14.90	1,965	41.0
4	台湾	—	—	—
5	ベトナム	—	—	—
6	韓国	—	—	—

出典：「2021年の農林水産物・食品の輸出実績（農林水産省）」

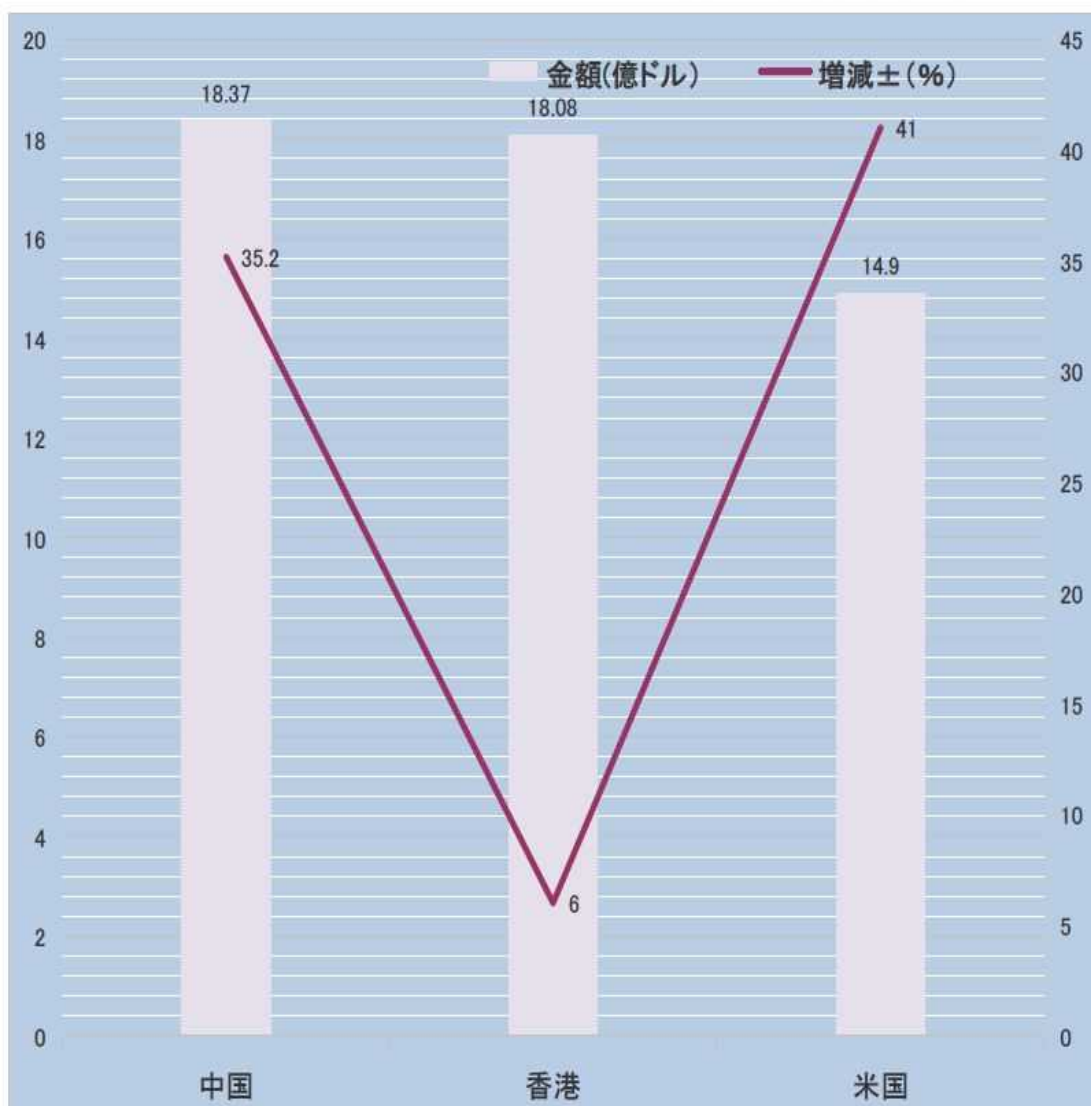


表 5 : 2021年の日本の中国向け食品の各品目の金額と割合

	品目	金額(億ドル)	金額(億円)	割合(%)
1	水海産物及び製品	4.21	555.26	29.67
2	雑食品	3.78	498.54	26.65
3	酒	1.85	244.00	13.03
4	穀物	1.81	238.72	12.27
5	飲料	0.97	127.93	6.81
6	その他	11.07	1,460.02	11.07

出典：「2021年の農林水産物・食品の輸出実績（農林水産省）」

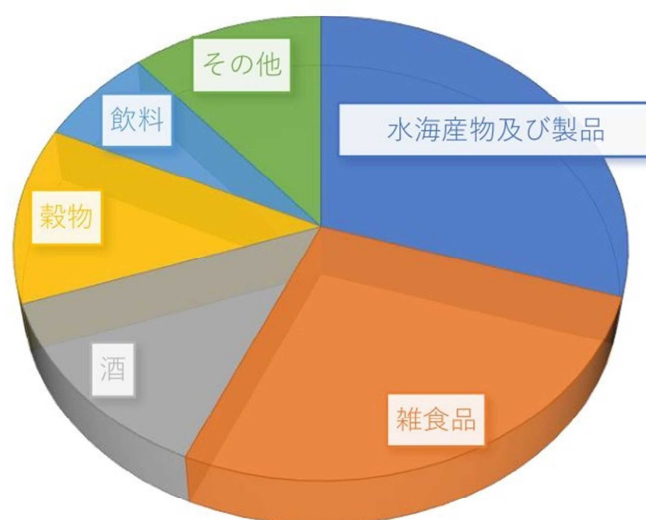
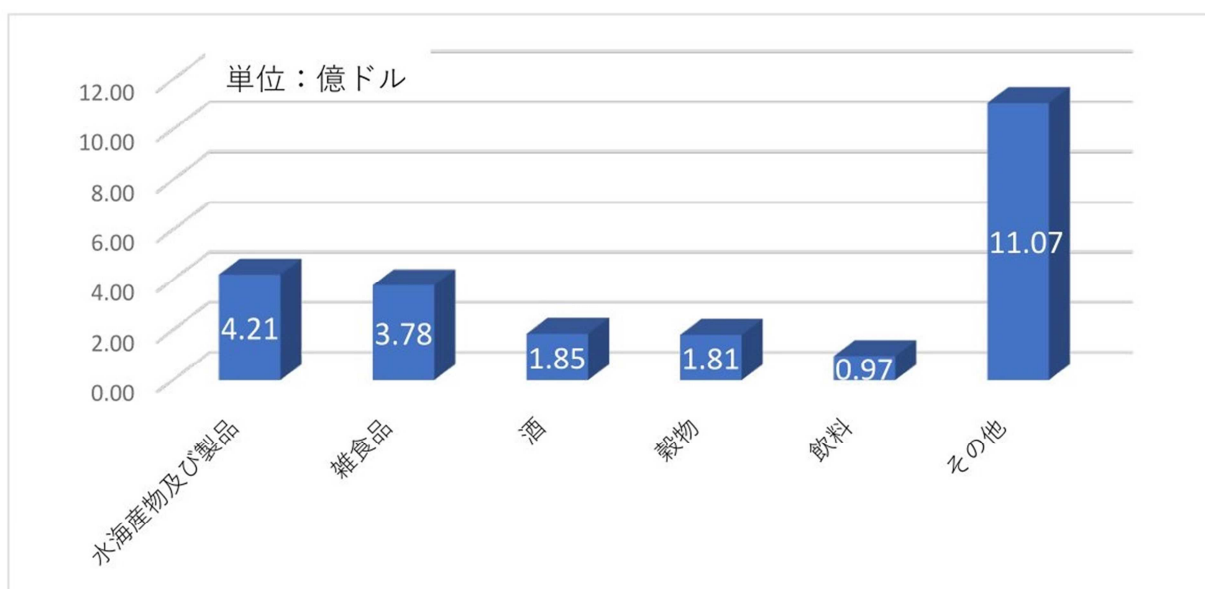


表6：2021年の中国水産物の輸入源の状況

	国・地域	金額(億ドル)	金額(億円)	割合(%)
1	エクアドル	4.21	555.26	29.67
2	ロシア	3.78	498.54	26.65
3	カナダ	1.85	244.00	13.03
4	米国、インド	—	—	72.03
5	その他	—	—	27.97

出典：「2022年中国輸入食品産業報告」

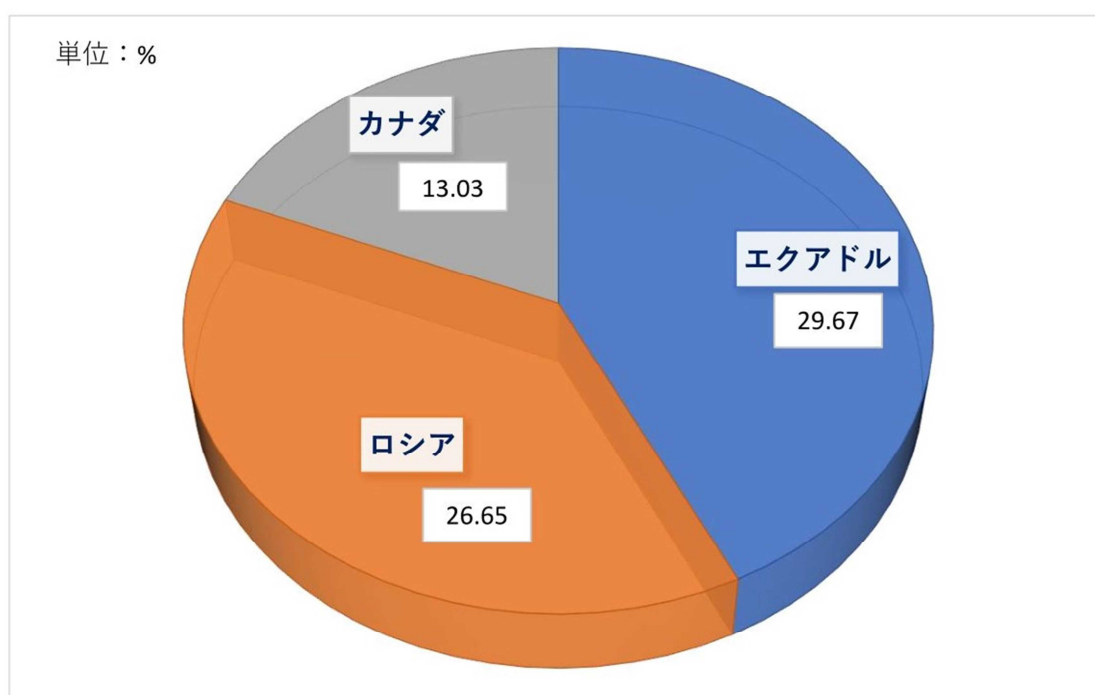
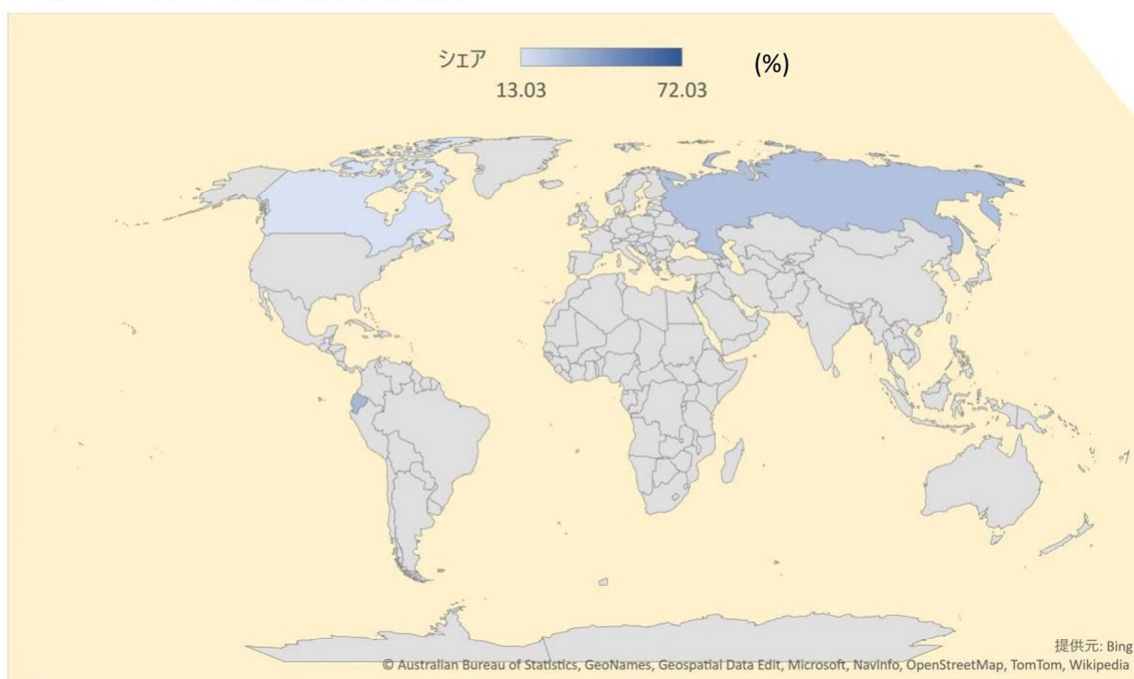
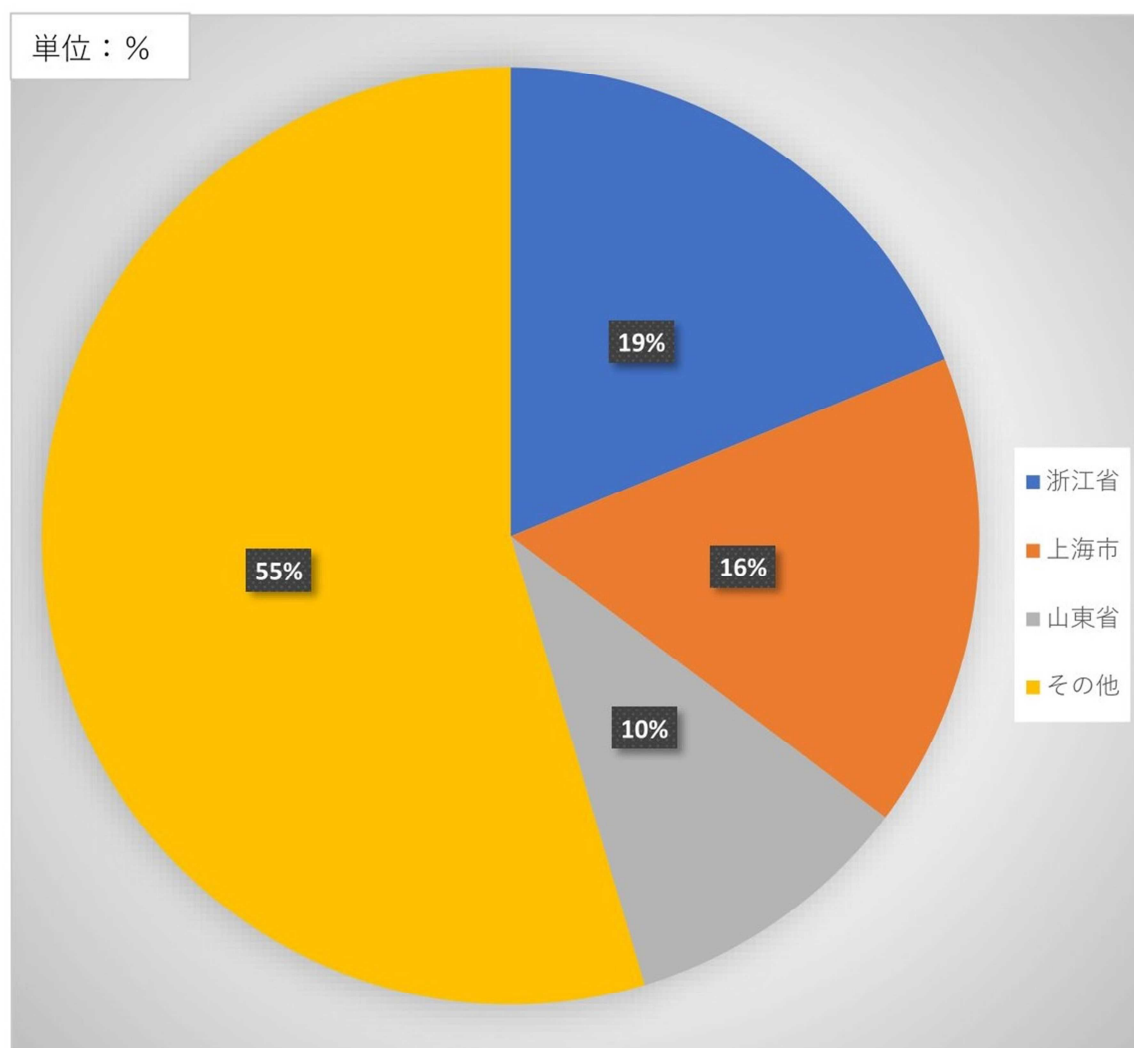


表7：2021年中国各省・市の対日輸入食品金額及び割合

	地域	金額(億ドル)	金額(億円)	割合(%)
1	浙江省	2.67	352.15	18.83
2	上海市	2.33	307.30	16.42
3	山東省	1.44	189.92	10.13
4	その他	—	—	54.60

出典：「2022年中国輸入食品産業報告」



3 浙江省が推進する「デジタル浙江」

浙江省は、デジタル経済を推進するために、「デジタル浙江」の構築を目標に、「デジタル浙江・整備計画」を打ち出し、産業全体の情報化による、ニューモード産業化の開発発展戦略を策定した。

(1) 浙江省のデジタル経済の特徴

2021 年末現在、浙江省のインターネット利用者数は 5,506 万人になり、インターネット普及率は 84.2%と全国のインターネット普及率を大きく上回っている。①高速鉄道、②オンラインショッピング、③電子決済・アリペイ※1)、④自転車シェアリングは「中国の新四大発明」として知られ、オンラインショッピングと Alipay (アリペイ) は浙江省で生まれた。2020 年、浙江省は前年比 14.3%増の 2 兆 2,608 億元(約 40 兆 9,656 億円)のオンライン小売売上高を達成した。省内の第三者プラットフォームには 660,000 を超えるアクティブなオンライン小売オンラインストア、1,970 の EC 専門ビレッジ、316 の EC タウンがある。

EC の成長は速達(EMS)の増加を促進した。2018 年、同省の速達(EMS) 事業は 100 億件を超え、これは米国の速達(EMS)産業の 80%に近く、これは日本の速達(EMS)総量の 2 倍に相当する。「クラウド」銀行、無人スーパーマーケット、モバイル決済、オンラインネット病院といったニューモードテクノロジーやニューモードモデルが浙江省で最初に生まれ、杭州市を例にとると、市民が利用する交通機関(バスや地下鉄等)、買い物のキャッシュレス化、モバイル決済が急速に浸透し、キャッシュレス都市及びモバイル決済都市となっている。

浙江省は、デジタル技術による伝統産業の包括的な転換の変革に取り組んでいる。統計によると、2018 年、浙江省の民営経済は 58.1%の税金、65.5%の域内総生産(GRP)、78%の対外貿易輸出、87%の雇用機会を生み出したが、国有企業や大手企業と比較して、省内中小企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)は、人材、資本、市場の制約により、大きな困難に直面している。したがって、中小企業のスマート化変革を促進することは、浙江省が、「機械の代替」から「モノのインターネット(IoT)」の利用を推進する上でデジタル技術は主導的役割を果たしている。2012 年末以来、浙江省は、国内での「機械代替」作業の推進を主導し、2015 年以来、杭州市は、人間、機械、物質、法律、物質の知覚のインターネットを促進するために、工場のモノのインターネット(IoT)イニシアチブの立ち上げを主導してきた。2017 年には、浙江省は「クラウド移行・10 万社」イニシアチブを開始し、企業がクラウドや ICT を利用し、生産、マーケティング、管理の効率を最適化、企業のコスト削減・効率を高めることを支援した。

2018年には、浙江省は47の省レベルの産業用インターネットプラットフォームを整備し、クラウド利用が企業の一般的な選択肢になってきている。

中国が国策として改革開放政策を実行して以来、浙江省の省民が持っている「最初に起業する能力がある」という精神を継承し、2018年末、浙江省は22の省レベルの情報経済・実験実証エリアと、27の特徴的な産業タウンを整備した。杭州市を例にとると、国内の上場インターネット企業の割合は9.2%で、国内で第4位、人材流入率は国内で1位である。杭州イノベーションモデルエリアには、杭州ハイテクエリアを中心とし、ネットワークインフラストラクチャ、インターネット、モノのインターネット(IoT)といった3つの分野に焦点を当て、独立したイノベーションを促し、産業バリューチェーンの構築を図っている。

「西科学技術大回廊」が杭州市の中核地域として、2018年に「未来科学技術城」に13,000社の登録企業が設立され、そのうちデジタル経済部門が30%を占めた。アリババ等の大手企業が主導し、デジタルエコノミー分野の企業が「未来科学技術城」が収益の86%と税収の90%を占めた。

浙江省は、地域産業振興/ミニタウンの発祥の地として知られ、例えば杭州ドリームタウン、杭州雲棲クラウドタウン、濱江インターネットオブシングスタウン、蕭山情報ポートタウン、徳清地理情報タウン等が誕生し、デジタル経済の特徴的なタウンの整備を促進することに取り組んでいる。「夢想小鎮・ドリームドリームタウン(余杭区)」を例にとると、2014年に整備スタート以来、50以上のインキュベーションプラットフォームの設立、1,519件のインターネット起業プロジェクトの立ち上げ、約13,900人の起業家人材の育成、1,157件の起業家イノベーション活動が行われ、大学生の起業機会とイノベーションのホットスポットになっている。

(2) スマホ行政窓口「掌上事務(手のひらにある)」

杭州市が提供するプラットフォームは、微信(WeChat)アプリ上で使えるミニグラムである。専用のアプリを別途ダウンロードする必要はなく、利用者は杭州市政府の公式アカウントをフォローし、個人情報が必要な場合、本人確認(身分証明書、或いは本人名義の銀行カード)を行ったうえで利用する。

杭州市は、行政サービスプラットフォームで提供されるサービスとして、住宅関係(住宅積立金、登記証明、不動産譲渡等)、社会保障、交通関係(車ナンバー抽選結果、駐車場)、出入国関係(旅券、台湾・香港・澳門通行証)、戸籍関係、教育関係(学歴証明、図書館等)、資格証明(医師、薬剤師等)、法律コンサル、医療関係(病院予約、疫病情報等)、生活関連(ごみ収集、郵便宅配、天気予報、渋滞情報)等が挙げられる。交通違反の通報といった機能もあり、誰もが携帯端末を通じて交通違反行為を警察側に通報できる仕組みである。

「多くても1回」(「最多跑一次」ワンストップサービス)による住民への行政サービスを提供するにあたって様々な革新的な試みが行われている。各種許認可に必要な書類は全てこのプラットフォームで確認でき、それに応じて必要書類を申請すればよく、文字どおり行政窓口で1回以上行かずに済むことを実現している。



スマホの杭州市行政 APP

[注釈]

※1) アリペイ：阿里巴巴が提供するキャッシュレス決済システムで、中国最大のECプラットフォームの決済手段として普及している。中国でのキャッシュレス決済では、「Alipay(アリペイ)」と「WeChatpay (ウィチャットペイ)」が多く用いられている。

4 浙江省が取り組む「一帯一路」

浙江省は、中国の国策「一帯一路」構想を重視し、歴史的チャンスと捉え、新たな発展目標として位置付け、「一帯一路」構想に意欲的に参画している。

(1) 浙江省の「一帯一路」構想

浙江省の「一帯一路」構想※1)の沿線諸国との人民元決済(2021年)は、前年比69.1%増、1,809億元(約9兆9,834億円)規模となった。国際貨物輸送路線も100路線を超え、「一帯一路」構想を通じて、いわゆる「五通」(「政策の疎通」、「施設の連結」、「妨げられない貿易」、「金融の統合」、「人と人との絆」)を推進している。

「政策の疎通」においては、「融杭連甬接滬(杭州—寧波—上海の一体化)」の計画がある。5～10年以内に杭紹(杭州市と紹興市)の一体化を目指し、紹興市は長江デルタ地域への一体化発展を加速させ、杭州市は「デジタル経済の再構築・第一都市」構想を実施し、経済発展と社会管理において、デジタル化構想の過程で成果をあげている。

「施設の連結」においては、「浙江通路(浙江チャンネル)」がある。浙江省の貨物取扱量は世界第1位を維持し、コンテナ取扱量は第3位に入った。「一帯一路」構想の国際貨物輸送路線117路線が開通し、「義新欧」中欧班列(貨物専用列車)※2)、海外倉庫の数量は全国総量の1/3を超え、また、寧波—舟山港と結ぶ国際航路は世界5大陸に通じ、陸路、海路の重要な役割を担っている。

「妨げられない貿易」においては、浙江省は、貿易の円滑化をはかるため、「浙江省の力」を結集して、デジタル貿易の方式で、貿易の質の高い発展に新しい道を切り開いた。例えば、自由貿易試験区は率先して拡大を実現し、年間の石油・ガス取引額は9,900億元(約17兆9,388億円)を超え、保税燃料油の貯蔵保管量は世界第6位である。グローバルデジタル貿易センターを構築し、越境ECネットワーク小売額は全国の16%を占めた。2021年の外国企業による直接投資の実行ベース※3)の外資利用額は183.4億ドル(約1兆7,176億円)で、全国第5位、国家級の海外経済貿易協力区が4つあり、全国第1位にランクされた。

「金融の統合」においては、浙江省は、資金融通の面で民営経済を活かした独自の「浙江モデル」を運用し、世界デジタル金融センターは杭州への誘致に成功した。2021年の人民元の国際決済額は1兆元(約18兆円)を越え、長江デルタ地域の石油・ガス取引市場の一体化が基本的に形成された。大口商品の年間取引額は1兆元(約18兆円)近くになり、海外投資保険の引き受け規模は累計296億ドル(約3兆8,829億円)に達し、

全国の各支店の第1位を維持している。

「人と人との絆」においては、浙江省は、「一带一路」構想沿線諸国に29の「シルクロード学院」を設立し、「浙江留学」ブランド事業をスタートさせている。国家中医・中薬海外センターを3カ所を設立し、200万以上の浙江省のビジネスマンが「一带一路」構想沿線64カ国で常駐している。また、浙江省出身の華僑が「中国(温州)華僑総合発展先行区」、「青田華僑経済文化協力試験区」を建設している。

紹興市の柯橋区に全国初の「中国」を冠した軽紡績専門市場である「中国軽紡績城」があり、この中国軽紡績城には、市場主体が15万軒あり、世界190余の国・地域と取引を行うなど、「糸から、生地、衣類まで」を完備した紡績産業チェーンを持つ「国際紡績の都」となっている。全国の捺染生産能力の1/3、世界の紡績製品の1/4の取引があり、年間成約額は1,000億元(約1兆8,000億円)に達し、5,500人近くの海外調達業者が常駐し、1,100社以上の海外企業代表処が常駐し、1日平均10万人の顧客が調達にきている。2022年第3四半期、柯橋の対外貿易の逆勢は上昇し、輸出は前年比25.9%増、966億元(約1兆7,503億円)に達した。「一带一路」構想沿線国への輸出額は前年比28.2%増、562億元(約1兆183億円)に達した。

(2) 「一带一路」構想、高品質化を推進

浙江省は、「五通」(「政策意思疎通」、「施設の接続性」、「妨げられない貿易」、「金融統合」、「人と人との絆」)の一環として、「一带一路」構想のデジタル革新、貿易物流、生産協力、人的交流を推進することによって、浙江省の知名度を高めている。

浙江省は、デジタルイノベーションをリードする「浙江ブランド」で、グローバルデジタル貿易センターの建設を加速させている。例えば、越境EC総合試験区、中国(浙江)自由貿易試験区は授權拡大により、デジタル自由貿易区の建設を模索している。世界銀行と協力して「世界デジタル金融センター」が杭州に設置された。国連が湖州市(徳清)に地理情報知識革新センターを設け、運営されている。浙江デジタル文化国際協力区が国家文化輸出基地に選ばれた。浙江省は、越境EC総合試験区・オンラインデジタル化総合サービスプラットフォーム、市場購買貿易ネットワークプラットフォーム、「4港」連動スマート物流クラウドプラットフォーム等を整備し、各分野でデジタルオンライン化を図っている。

(3) 「浙江通路(浙江チャンネル)」を構築

浙江省の対外貿易成長率は、全国上位を維持している。世界商品の「輸入スーパー」の構築を加速させ、寧波保税区の越境輸入貿易額は全国第1位となった。寧波-舟山港

は、「一帯一路」構想の国際航路が過去最高を記録し、スペインのアルヘシラス港、バルセロナ港、スロベニアのコペル港等と構想的協力協定を締結した。このことにより、「一帯一路」構想と、長江経済ベルト、長江デルタ地域を結ぶ一体化の連動が強化された。海の港、陸の港、空の港、情報港の「四港」連動を深化させ、金華義烏国際内陸港と舟山江海連絡輸送センターの建設がスタートしている。

(4) 民営企業が「浙江力」を結集

「一帯一路」構想に呼応した外資系企業による直接投資額は、全国第5位である。サービス分野の実行ベースの外資利用率は7割を超えた。また、民営企業の海外投資プロジェクトの件数と中国側の投資届出額はいずれも全省の海外投資の95%以上を占めた。

国家級の海外経済貿易協力区を持つ数は全国第1位で、「インドネシア青山産業園区」は中国の民営企業の海外投資の最大の産業園区となった。「恒逸ブルネイ石化プロジェクト」は過去最大の民営企業の海外投資プロジェクトとなった。海外倉庫の数は全国総量の1/3を超えた。

(5) 人的交流の「浙江窓口」を設置

「浙江留学」ブランドを構築するため、全国初の「国際学生教育指導委員会」を設立した。海外の「シルクロード学院」は累計25校になった。浙江省出身のビジネス企業を背景とした華字メディアとの協力を強化し、「1+11+N」省・市・県の英語サイトや海外ソーシャルメディアアカウントクラスターを作り、海外文化マトリックスを構築している。浙江省出身の華僑の力を十分に結集し、中国(温州)華僑の華僑総合発展先行区は国の許可を得た。

(6) 「浙江エネルギー」を発揮

浙江省は、中東欧に対して「中国-中東欧国家経済貿易協力モデル区」の建設を目指すため、浙江省で「中国-中東欧博覧会」を開催したり、税関総署と共同で中国-中東欧国家貿易指数を発表したりして、また「華僑チェーン国際」デジタル貿易プラットフォーム等、17のメカニズム・プラットフォームを設けた。併せて、東南アジアの中国・インドネシア地域総合経済回廊産業園区の協力を持続的に深化させ、クアラタンジュン港産業園区の協力了解覚書に署名している。「対アフリカ中国(浙江)中国・アフリカ文化協力交流週間及び中国・アフリカ経済貿易フォーラム」は国家級フォーラムに格上げされ、「一帯一路」構想・中国アフリカ協力産業園、アフリカステーションの建設を推進している。

【注釈】

※1) 「一帯一路」構想：かつて中国と欧州を結んだシルクロードを模し、中央アジア経由の陸路「シルクロード経済ベルト」（一帯）とインド洋経由の海路「21世紀海上シルクロード」（一路）で、鉄道や港湾などインフラの整備を進める構想。

※2) 中欧班列：中国と欧州を結ぶ貨物列車。2011年に中国・重慶とドイツ・デュイスブルクをつなぐ路線が運行を開始、その後、路線や本数を拡大した。浙江省義烏市とスペイン・マドリードを結ぶ路線の総延長距離は約1万3,000 km。新疆ウイグル自治区からカザフスタンを抜け、ロシアやドイツを経由する。

※3) 実行ベース：直接投資について使われる言葉で、契約ベースは、契約書に書かれている投資額、実行ベースは、ある時点ですでに実行された投資額

【出典】

浙江省の「一帯一路」構想を語る 新華毎日電訊 2022年11月28日記事を引用、参照



義烏駅から出発する、中欧班列（貨物専用列車） （写真：義烏市政府提供）

5 浙江省の人口と経済

(1) 中国の生産年齢人口 ～人口ボーナスから人口オーナスへ～

① アンバランスな人口構成

中国の人口は、第7回人口センサス(2020年)を見ると、人口構成のアンバランスが浮き彫りとなったことがあげられる。16～59歳の生産年齢人口は、8億9,438万人で、人口の平均年齢は38.8歳、また生産年齢人口のうち、高校以上の学歴を持つ人口は3億8,500万人で、43.79%を占め、2010年と比較して12.8ポイント増えた。この膨大な人口の規模と高学歴の労働力は、経済発展の大きな支えとなっている。

生産年齢人口は、2013年の10億582万人のピークから、22.1%減った。少子化の一つの要因として、男女比のアンバランスが指摘されている。中国では農村を中心に将来、老後の面倒を見てくれる男児を望む傾向が伝統的に根強く、男性人口は約7億2,000万人(51%)、女性人口は約6億9,000万人(49%)で、その差は3,000万人、人口性比※1)は105.07になっている。このことは、将来的に多くの成人男性が結婚できないことを意味し、出生率を抑える要因となる。2010年から差は減少しているものの、依然高い割合が続いている。

② 前年比2割近く減る出生数

2020年の出生数は約1,200万人まで減り、前年比で2割近く減少した。新型コロナウイルス感染症の影響もあって、合計特殊出生率※2)は1.3と、長期的に人口を一定のレベルに維持するための人口置換水準を大きく下回り、中国国内で少子高齢化が加速している。

都市部を中心に、住宅ローンや生活費・教育費の高騰といった経済的な理由等から、出生数は伸びておらず、経済力低下に直結する人口減少が迫っていると指摘されている。中国では、急速な経済の発展とともに、約20年の間に不動産価格が数10倍に高騰した。住宅ローンの返済、或いは不動産価格上昇につられて上がった家賃の支払いは、家計にとって大きな負担となっている。このほかに、都市部で高騰する養育コストの抑制を目指しているが、公立幼稚園が不足している現状では、解決までの道のりは長いとみられる。

中国では、「1人っ子政策」が段階的に緩和され、2016年に第2子の出産を認めた。人口センサスのデータによれば、「2人っ子政策」がスタートした2016年と2017年は、出生数が大幅に増加し、2016年は1,800万人、2017年は1,700万人を超えたが、2018

年以降は再び減少に転じた。更に一組の夫婦に子供3人までの「3人っ子政策」を実施し、関連の支援策もセットで導入すると発表した。しかしながら、総人口は予測より早く低下傾向に転じている。

③ 中国の高齢化人口 既に13.5%人口割合の推移

第7回人口センサス(2020年)によると、2020年の0～14歳の年少人口が2億5,338万人(総人口の17.9%)、15～59歳の生産年齢人口が8億9,438万人(同63.4%)、60歳以上の老年人口が2億6,402万人(同18.7%)だった。老年人口のうち、65歳以上の高齢者人口は、1億9,064万人(同13.5%)に達した。人口の平均年齢は38.8歳。2010年と比較すると、2020年の老年人口が8,637万人増えた(同5.4ポイント上昇)。

65歳以上の高齢者人口は、所得水準の上昇等に伴って増加が続いている。一般的に、高齢者の全人口に占める割合が7%を超えると高齢化社会、14%を超えると高齢社会とされるが、中国は2000年に高齢化社会に入り、2020年には高齢人口割合が13.5%、2025年には14%を超えて高齢社会、その10年後の2035年には21%を超える超高齢社会になると予想されている。

④ 「未富先老(豊かになる前に老いていく)」が現実味

省別に見ると、4割にあたる12の省では、65歳以上の構成比が全体の14%以上を占める高齢化社会に突入している。特に、就職難で若い年齢層の流出が続く東北3省(遼寧省、吉林省、黒竜江省)では、高齢化が顕著となっている。逆に、人口増加が進んでいる広東省の65歳以上の構成比は、8.6%と1桁に留まり、地域によって大きな偏りがある。農村部では、若年層を中心とする労働力の大規模な流出を背景に、高齢化は都市部よりも進んでいる。2020年、農村部における60歳以上の人口の割合は23.8%、65歳以上の人口の割合は17.7%と、それぞれ都市部より8.0ポイントと6.6ポイント高かった。農村部では、年金制度の整備が遅れており、高齢化問題は都市部より一層深刻な状況にある。

(2) 浙江省の高齢化社会と経済への影響

① 人口流入が加速

浙江省は、中国の沿海部に立地し、民営経済が最も発達していることから、省外から多くの人達が浙江省に就労の機会を求めて来省し、それによって浙江省の経済社会の発展に重要な支えとなっている。第7回人口センサス(2020年)によると、浙江省の常住人口数は全国第8位であるが、流動人口数は全国第2位と高く、人口の流動は極めて高い。2021年末、浙江省の常住人口は前年末より72万人増加し、91%が省外からの純

流入である。浙江省の常住人口のうち5人に2人が流動人口であり、省外から流入した常住人口は1,618万人に達し、省内総人口の25.1%を占めた。流入人口のうち、16～59歳の生産年齢人口は1,411万人で、総数の87.2%を占めている。言い換えれば、流入目的は主に就労である。経済の活力と発展潜在力が高いことであり、多くの若年者の流入によって、浙江省の高齢化のスピードを緩和し、人口ボーナスを引き続き享受する重要要因となっている。

② 労働力供給、資質的水準が向上

人口構造から見ると、2021年末の常住人口のうち、16～59歳の労働年齢人口は4,369万人で、4,000万人以上の高い水準を維持し、社会全体の労働力供給は充足している。構造変化の傾向を見ると、労働年齢人口の常住人口に占める割合は2010年の71.8%から2021年の66.8%に5ポイント低下した。一方で、労働力の質的水準は急速な勢いで向上している。2021年、浙江省の労働年齢人口の平均教育年数11年前後で、2010年(9.5年)より1.5年上昇し、将来の経済社会の発展は人口ボーナスに依存することから、労働力の質的水準の向上による発展潜在力は依然として高い。

③ 産業構造の変化と就業の機会

2012年末、浙江省の就労者数は3,407万人から、この10年で、2021年末の3,897万人に増え、14.4%増加し、毎年平均54万人以上増加している。産業構造の調整が進むにつれ、就労者は第一次、第二次産業から第三次産業にシフトし、就業構造も第三次産業にシフトしている。2021年、産業構造別の就労者数はそれぞれ206万人、1,727万人、1,964万人で、割合はそれぞれ5.3%、44.3%、50.4%だった。

④ 就労者の資質的水準が向上

就労者の規模が拡大する一方で、教育水準も向上している。2021年、浙江省の一定規模以上企業就労者のうち、短大以上の学歴は約462万人で、全規模以上の単位就労者の28.9%を占め、比重は2012年より12.3ポイント上昇した。職業上の技能水準を認定する職業資格制度や職業教育の推進に伴い、労働力の資質的水準は徐々に向上し、各種技術者、技能者の割合は上昇している。2021年、浙江省の一定規模以上の事業所就労者のうち、専門技術者、技術労働者の割合はそれぞれ17.2%、47.7%になり、それぞれ2012年より2.9ポイント、12.5ポイント上昇した。浙江省、特に杭州市や寧波市の省外高学歴人材に対するサイフォン現象※3)は顕著であり、大多数の高学歴年人材の流入が浙江省の労働力全体の資質水準を向上させている。

(3) 『銀髪経済(シルバー経済)』

① チャンスとリスク

中国は、2021年に高齢化率(65歳以上の人口割合)7%超の「高齢化社会」段階に突入したと言われ、「高齢化社会」から「超高齢社会」になるまで、他国より高齢化のスピードが速いと予測されている。また、出生数は前年比2割減と過去最大の落ち込みとなり、そうした少子・高齢化社会によって、経済規模の縮小、労働力不足、国際競争力の低下、社会保障制度の給付と負担のバランスが崩れる等さまざまな問題が顕在化しつつある。一方で、高齢化はこれからの比較的長期にわたる中国の基本的な国情であり、それはチャンスであり、リスクでもあると言える。中国の高齢化は、日本と同歩調で『銀髪経済(シルバー経済)』の発展を促し、高齢者向け製品・サービスの消費を拡大し、技術の進歩を推進する上でプラスになり、高齢者向けヘルスケア産業等は今後大きな発展の可能性があり、『銀髪経済(シルバー経済)』は中国の新たな経済成長ポイントの一つになるとみられる。

② 高齢者製品産業は途上段階

「銀髪経済(シルバー経済)」の重要な部分として、高齢者向け製品(養老介護器具・用品)産業は、今後大きな発展の可能性があり、高齢化の「リスク」を「チャンス」に変え、経済及び社会の発展に重要な役割を果たすと期待されている。しかしながら、中国の高齢者向け製品産業の発展には依然として問題がある。世界には約60,000種類の高齢者向け製品があると言われるが、中国市場には約2,000種類しかない。現在、中国の高齢者向け製品産業は十分に細分化されておらず、国内の高齢者人口の増大する個性化や多様化のニーズを満たしていない。また、高齢者向け製品がローエンドで、品質が低いことがあげられ、この業界の市場監督標準システムや市場アクセスシステムが整っていない。

[注釈]

※1) 人口性比：女性100人に対する男性の数。

※2) 合計特殊出生率：人口統計上の指標で、15～49歳までの既婚・未婚問わない全女性の年齢別出生率を合計したもので、女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」を意味する。

※3) サイフォン現象：ストローの中が水で満たされている場合、元々水の入っているコップの水面とストローの高さに差があると、水は低いほうに流れ続けることから、サイフォン現象といわれる。

[出典]

- ・第7回人口センサス(2020年)、第6回人口センサス(2010年)を引用、参照
- ・中国統計局HP、浙江省統計局HPの掲載記事を引用、参照

※ 図表で解説 ※

浙江省の人口動向

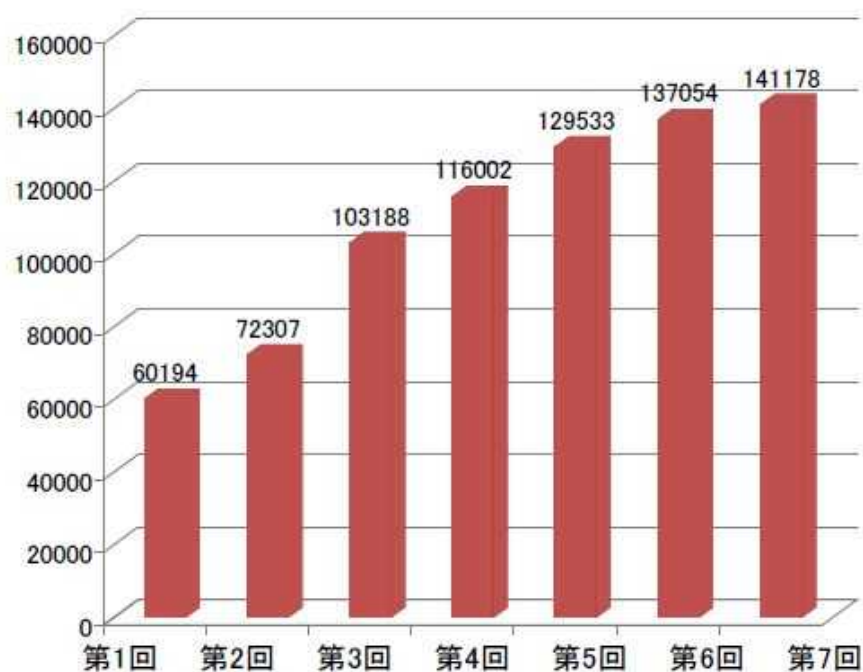
表1 中国の人口センサス推移

単位:万人	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	推計
	1953年	1964年	1982年	1990年	2000年	2010年	2020年	2022年
全 国	60,194	72,307	103,188	116,002	129,533	137,054	141,178	141,175
浙江省	2,287	2,832	3,888	4,145	4,677	5,443	6,456	6,577
割合	3.80%	3.92%	3.77%	3.57%	3.61%	3.97%	4.57%	4.66%

出典:中国統計局

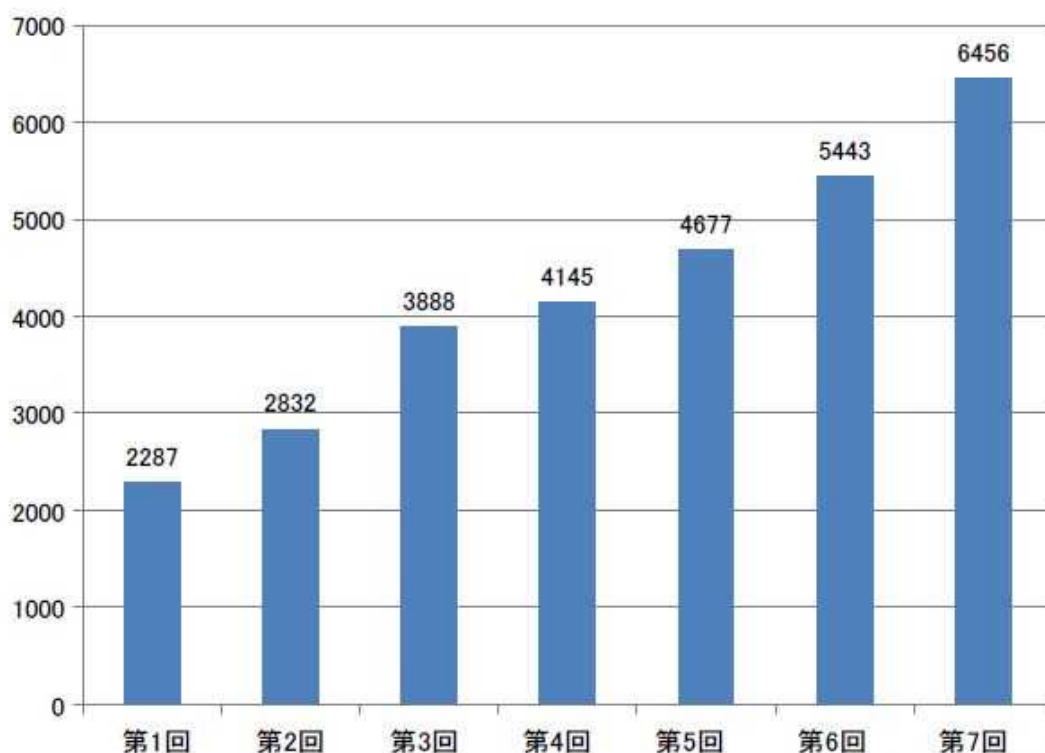
単位:万人

全 国



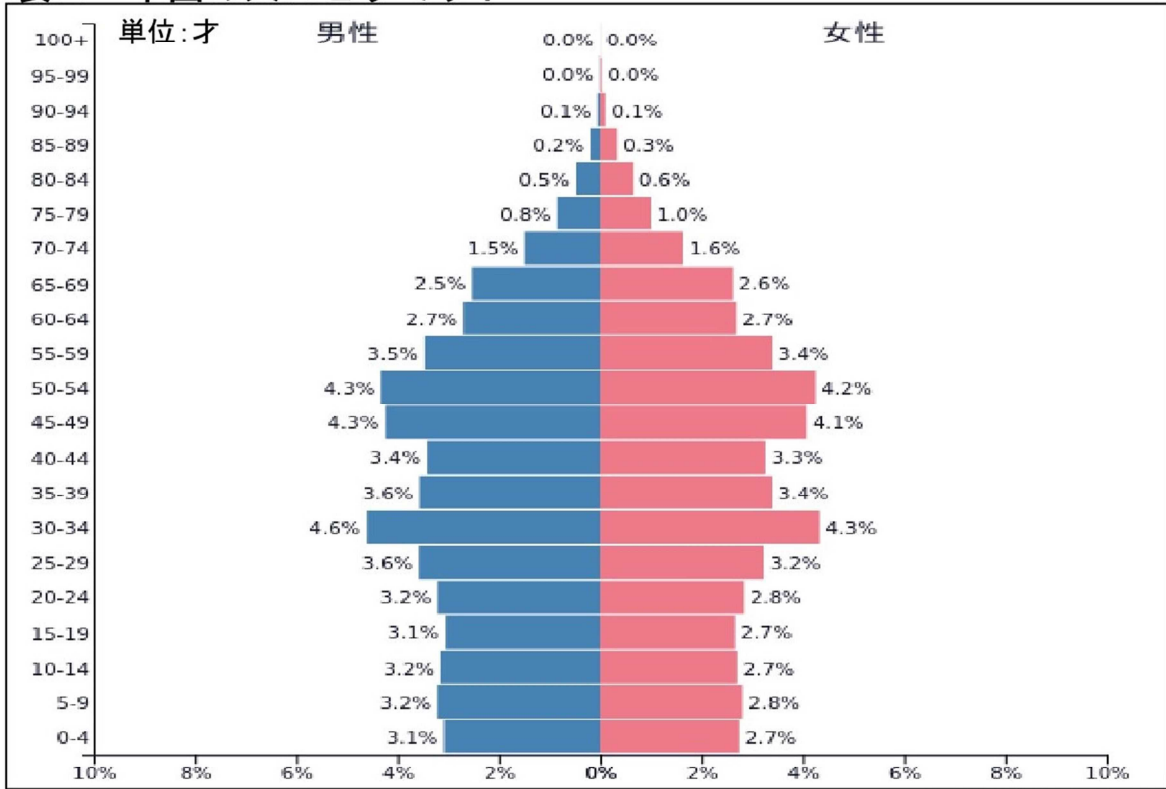
単位:万人

浙江省



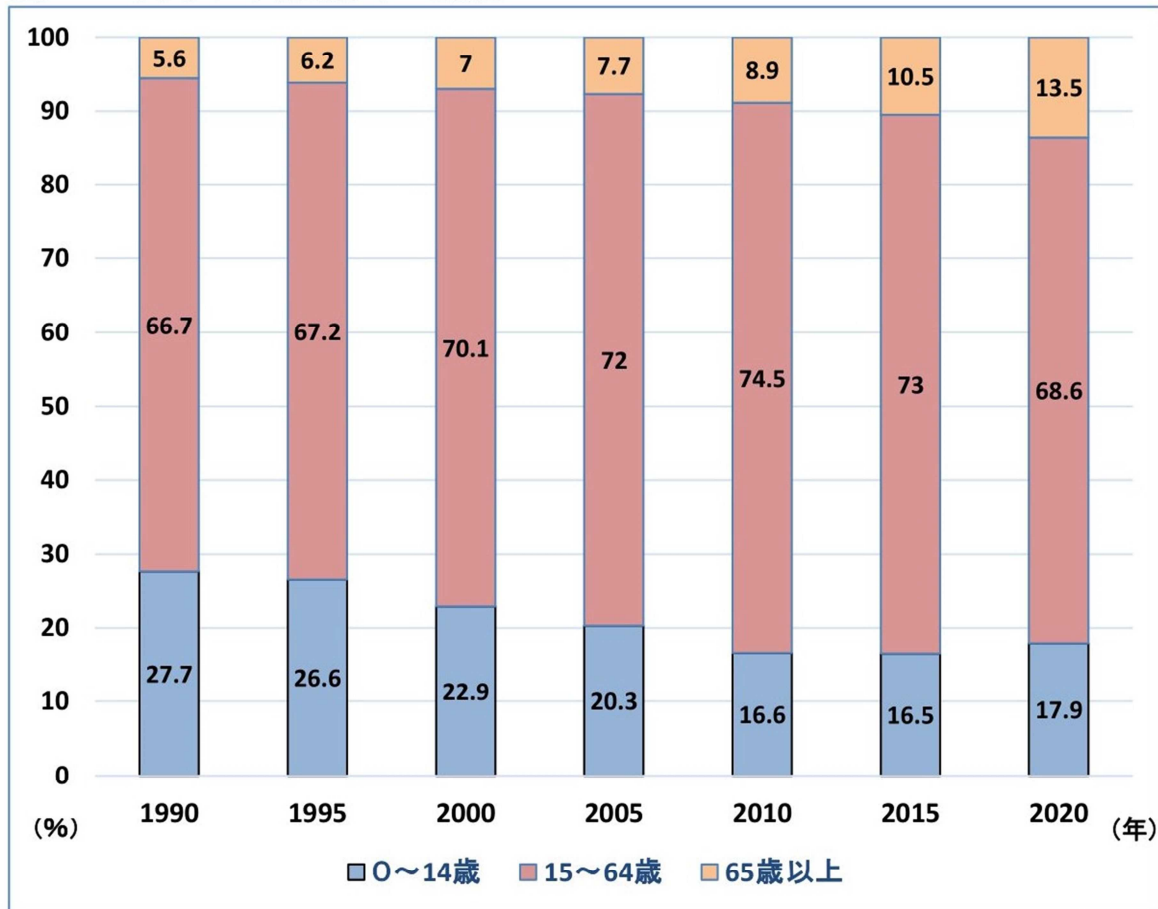
出典:浙江省統計局

表2 中国の人口ピラミッド



出典:中国統計局

表3 中国の年齢別人口構成



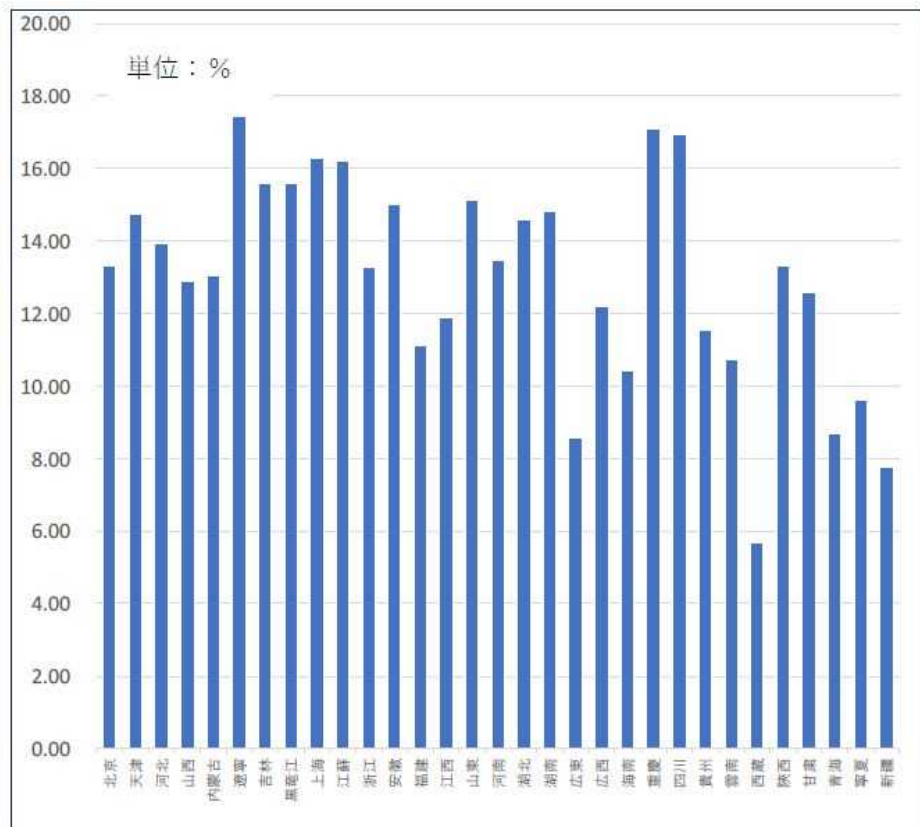
出典:中国統計局

表4 省別65歳以上の構成比

地区	65歳以上の構成比(%)
全国	13.50
北京	13.30
天津	14.75
河北	13.92
山西	12.90
内蒙古	13.05
遼寧	17.42
吉林	15.61
黒龍江	15.61
上海	16.28
江蘇	16.20
浙江	13.27
安徽	15.01
福建	11.10
江西	11.89
山東	15.13
河南	13.49
湖北	14.59
湖南	14.81
広東	8.58
広西	12.20
海南	10.43
重慶	17.08
四川	16.93
貴州	11.56
雲南	10.75
西藏	5.67
陝西	13.32
甘肅	12.58
青海	8.68
寧夏	9.62
新疆	7.76



提供元: Bing
© Microsoft, NavInfo, TomTom



出典：中国統計局

表5 浙江省の常住人口・地域別分布

単位:万人

	地区	抽出調査 2022年	第7回 2020年	増減率	増減数
※	浙江省	6,577	6,468	1.7%	109.0
1	杭州市	1,238	1,194	3.7%	44.0
2	寧波市	962	940	2.3%	21.4
3	温州市	968	957	1.1%	10.6
4	嘉興市	555	540	2.8%	15.0
5	湖州市	341	337	1.3%	4.5
6	紹興市	535	527	1.6%	8.2
7	金華市	713	705	1.1%	7.6
8	衢州市	229	228	0.6%	1.4
9	舟山市	117	116	1.1%	1.2
10	台州市	668	662	0.8%	5.5
11	麗水市	252	251	0.3%	0.8

出典:浙江省統計局

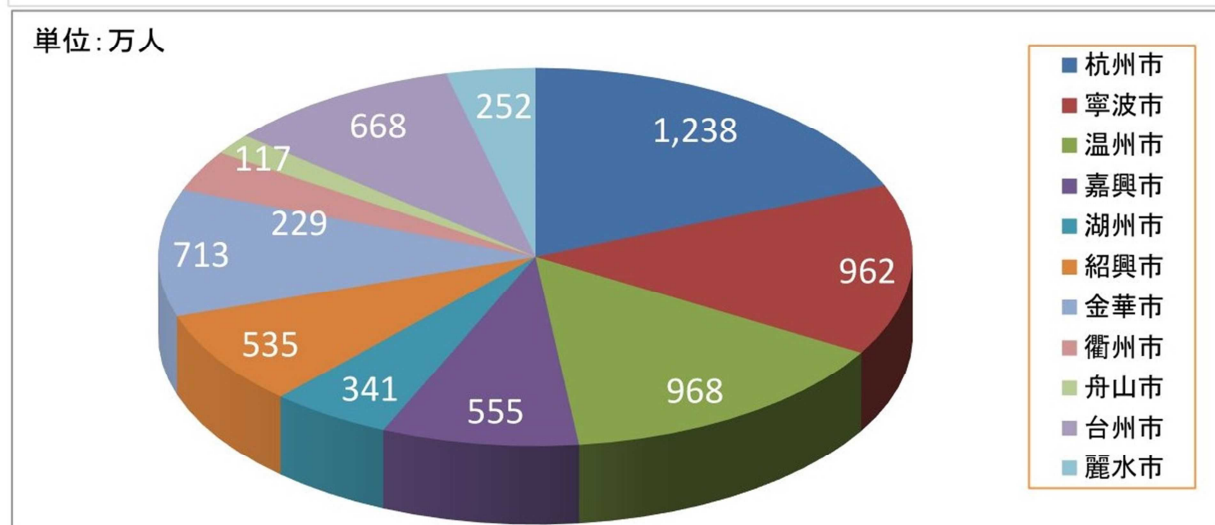
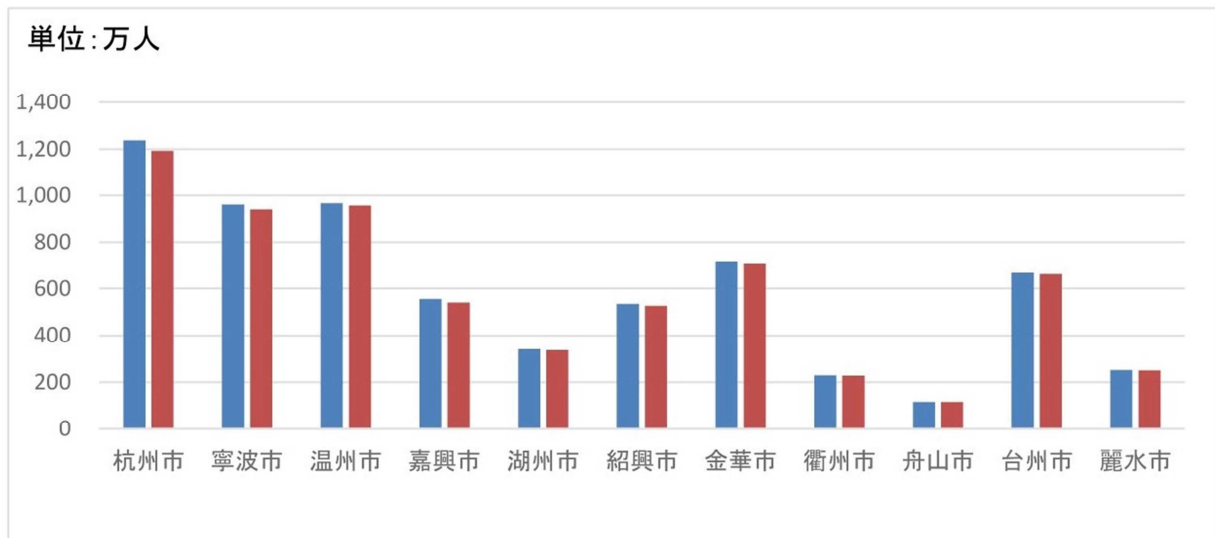
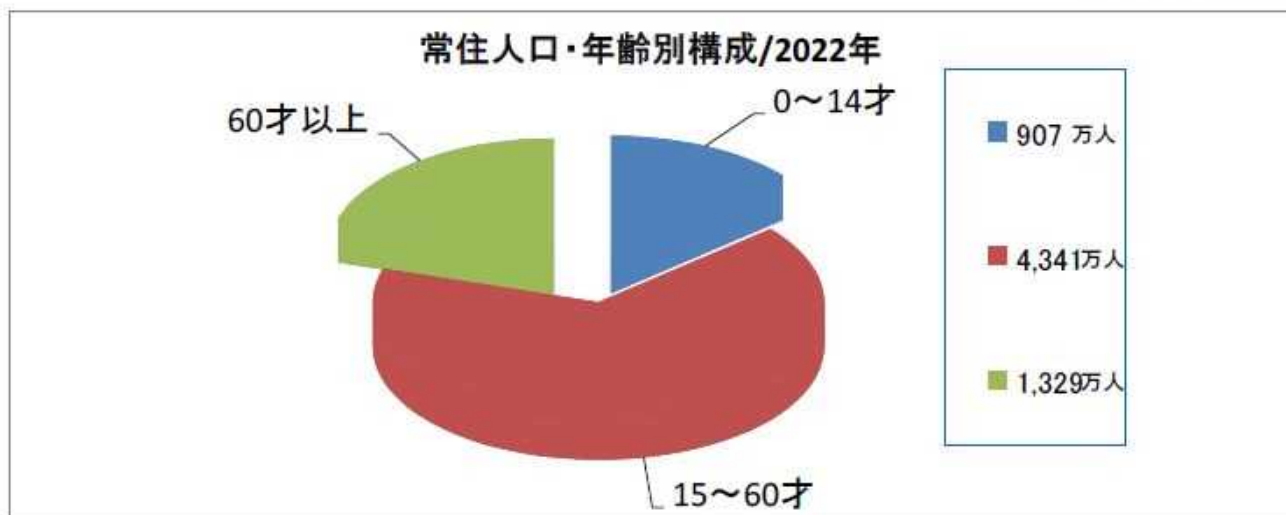


表6 浙江省の常住人口・年齢別構成

単位:万人

年齢構成	2022年	割合(%)	2010年	割合(%)
浙江省	6,577	—	5,442	—
0～15才	907	13.8%	718	13.2%
16～60才	4,341	66.0%	3,967	72.9%
60才以上	1,329	20.2%	755	13.9%

出典:浙江省統計局



単位:万人

性別構成	2022年	割合(%)	2010年	割合(%)
浙江省	6,577	—	5,442	—
男性	3,436	52.2%	2,796	51.4%
女性	3,141	47.8%	2,646	48.6%
差	295	—	150	—

出典:浙江省統計局



「浙江省經濟・投資環境調查報告書」

2023 年（令和 5 年）3 月発行

静岡県経済産業部企業立地推進課

編集・発行 静岡県日中友好協議会